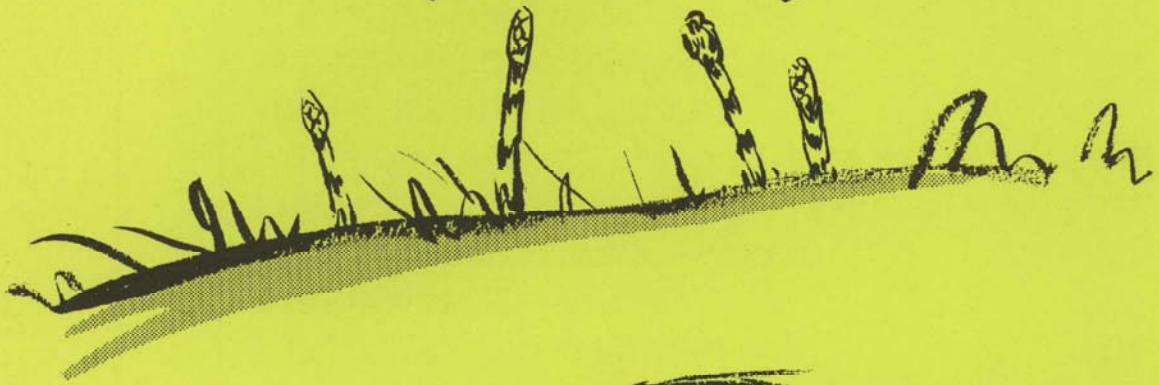


# かわせみ

kawasemi



2000. 冬号



24号

ガビチョウの進入経過  
「野鳥展」アンケート結果

八王子カワセミ会は  
浅川周辺の野鳥を観察する市民グループです





## 野鳥展

調 査	1999年 秋のサシバ渡り調査結果	・・・ 4
	1999年 浅川流域のイワツバメ営巣調査	・・・ 17
	1999年 我が家の庭に来る野鳥調査結果	・・・ 20
	1999年 片倉城跡公園の巣箱調査	・・・ 24
	ハクセキレイの集団ねぐら (1999年7月~12月)	・・・ 26
	ヒメアマツバメの動向 (1999年7月~12月)	・・・ 29
	カワセミ繁殖調査結果 (大沢橋~河原宿大橋)	・・・ 30
	1999年浅川定期カウント記録	・・・ 32
	1999年 ひよどり山・野鳥調査結果	・・・ 46
	谷地川下流域の探鳥記録	・・・ 48
	飼鳥調査・市の鳥周知度調査	・・・ 50
鳥信 (主として1999年7月~12月までのもの)		・・・ 51
探鳥会の記録 (1999年7月~12月)		・・・ 58
通 信	第12回定期総会開催される	・・・ 69
	八王子カワセミ会をめぐる動向(1999年)	・・・ 72
	15周年記念事業「野鳥展」アンケート結果 (門口一雄)	・・・ 73
	1年間に見た野鳥の種類数	・・・ 76
	多摩の鳥の王者クマタカ (粕谷和夫)	・・・ 77
	多摩川拝島橋下流のツバメのねぐら (神谷古牧・渡辺仁・粕谷和夫)	・・・ 78
	浅川流域におけるガビチョウの進入経過 (粕谷和夫)	・・・ 80
	安曇野だよりNo.10 (大関豊)	・・・ 87
「アホウドリ」を見た、あの瞬間 (倉本修)	・・・ 88	
探鳥日誌 No.5 (福島県:五百淵) (阿江範彦)	・・・ 91	

八王子カワセミ会の主な調査範囲



10月24日から31日までの期間に  
1,256人の入場者があった。

CONTENTS



開  
査

18 . . . (のちのちも目12〜目7年0001了J3主) 鳥 会



鳥 会 主 催 の 展 覧 会





## 1999年、秋のサシバ渡り調査結果

(八王子市立校加住中学校も情報提供)

取りまとめ：粕谷和夫

八王子周辺を通過するサシバの個体数を捉えることを目的に、杏林大学屋上、高尾山霞台、小仏城山山頂、城山湖ダムサイトの他に恩方松竹公園を加え5カ所で、9月18日から10月12日まで連続25日間(ただし雨天日は中止)、通過するサシバ、ハチクマ等の渡り鳥及び渡りをする蝶・アサギマダラのカウント調査を実施した。調査には第1表の通り、延べ204名の会員が参加した。

サシバは第2表の通りで、全体では509羽～937羽で羽数に幅があるのは複数ヶ所でカウントしたものの内、第2表の表側の「月日計」欄に示したとおり、最も多かった所の羽数を $X_n$ 、複数ヶ所の計を $X_m$ としその日の数を $X_n \sim X_m$ として表現し合計を $\Sigma(X_n \sim X_m)$ としたことによる。サシバが多く出た日は9月26日、27日、10月3日、4日、9日であった。10月9日は「多く出た日」としては今までで最も遅い日であった。場所別では昨年同様に松竹公園が最も多かった。経年変化は第3表の通りで本年は昨年より少なかった。

ハチクマは10羽～15羽、ハイタカは17羽～18羽、アマツバメは約500羽、ヒヨドリは約3,000羽、アサギマダラは33頭～46頭であった。アマツバメ、ヒヨドリは参考にカウントしたもので、今回の観察地がこの2種の渡りルートのどの程度をカバーしているか不明である。渡りをする蝶として有名なアサギマダラはこの時期に咲いているアキノキリンソウ、サラシナショウマ、コスモス等の花に立ち寄り吸蜜したり、ふわふわと飛んで行くものをカウントしたものである。

なお、その他のワシタカについては、トビ、オオタカ、ツミ、ミサゴ、ノスリが出たが、参考的のものとして調査したがとりまとめなかった。

(第1表) 1999年サンバの調査参加者

月	日	杏林大学	恩方松竹	高尾山霞台	小仏城山	城山湖	その他	計
9	18	.	今井、関根、渡辺	.	.	粕谷	.	4
	19	川上、佐伯	.	.	.	白川司・史、小池、横山、関根伸・光	.	8
	20	新田	今井、関根	.	.	.	.	3
	21	川上、新田、佐伯、栗原勝	千葉	.	倉本	.	.	6
	22	新田	千葉	.	.	.	.	2
	23	川上、佐伯、栗原勝、下重光・喜	関根	平井国	.	白川司・史、青木繁、小池、粕谷	.	12
	24	川上、新田、三好	渡辺、丸山	.	倉本	千葉	関根(滝の沢林道)	8
	25	新田	渡辺、丸山、白川司・史、清水、前田	.	粕谷、神谷、古山、柚木・育	佐伯、門口一	.	14
	26	佐伯、新田	関根、白川史、清水盛	千葉	青木繁、大川、丸山、門口、古山、嶋崎、石橋	.	渡辺、前田(滝の沢林道)	15
	27	新田、栗原勝	丸山	平井国・智	.	佐伯、関根、田倉	.	8
	28	川上、新田	今井、関根	.	倉本	.	.	5
	29	新田、三好	千葉	平井国・智	.	関根、今井、大川征・香	.	9
30	新田、栗原勝、青木繁	丸山、関根	.	.	.	.	5	
10	1	川上、新田、三好、井手	丸山	.	.	.	.	5
	2	川上、新田、大川征・香、栗原勝・正	関根、丸山、渡辺、今井	平井国・智	神谷、粕谷、前田	小池、青木繁、横山	今井他(北浅川・夕焼け橋付近他)	19
	3	川上、新田	関根、清水盛、白川史、大川征・香、千葉、前田	青木繁、平井国・智	粕谷	山崎悠・久、馬場裕・百	神谷(陣馬山)	18
	4	新田	今井、関根、丸山	平井国	.	.	大川征(北八公園)、三好(八幡町織物会館)	7
	5	川上、新田、三好	佐伯、関根	平井国	倉本	.	.	7
	6	新田	千葉	大川征・香	.	佐伯	.	5
	7	川上、三好	丸山、佐伯、傍島、井上、今井	.	今井、千葉	.	.	9
	8	川上、井手	丸山	.	.	関根	.	4
	9	川上、井手	今井、関根、清水盛、丸山	青木繁	.	横山、佐伯	神谷(陣馬山)、粕谷(高尾山蛇滝入口付近)	11
	10	川上、粕谷、井手、山崎悠・久	関根伸・光、清水盛、白川司・史、桑原、富田、高城	.	.	.	.	13
	11	川上、新田	丸山、山崎悠・久、清水	.	.	.	.	6
	12	.	.	.	.	馬場裕	.	1
計		58人	65人	16人	22人	34人	9人	204人

(第2-1表) 1999年の通過羽数・サシバ、ハチクマ、ハイカ、アサギマダラ、ヒヨドリ、アマツバメ

月日	天気	最高気温	サシバ							ハチクマ							
			杏林大学	恩方松竹	高尾霞台	小仏城山	城山湖	その他	最少計	最大計	杏林大学	恩方松竹	高尾霞台	小仏城山	城山湖	その他	最少計
9月18日	曇	25.2															
19日	雨	29.9	3						3	3							
20日	曇	30.8															
21日	雨	28.6		8					8	8							
22日	雨	19.8															
23日	晴	25.9	21	26	19		7		26	73	1	1				1	2
24日	曇	28.0	1	0				3	3	4		0				0	0
25日	晴	33.8	1	1		8	6		8	16		2		1		2	3
26日	曇	27.8	16	44		3		20	44	83		1		1		1	3
27日	晴	28.3	10	63	0		23		63	96							
28日	晴	29.6	2			11			11	13							
29日	曇	22.4			0				0	0							
30日	晴	31.4		3					3	3							
10月1日	曇	24.2		2					2	2	1					1	1
2日	晴	28.7	7	7	9	4	2		9	29	2					2	2
3日	雨	27.3	17	45	8	5	0	4	45	79	1		1			1	2
4日	晴	21.5	58	152	56			2	152	268							
4日								1		1							
5日	曇	20.3		4	4	2			4	10							
6日	晴	24.9		1			19		19	20							
7日	曇	25.1		2					2	2							
8日	曇	22.9		2					2	2							
9日	曇	23.1	8	45	14		20	18	73	105				1		1	1
9日								73		73							
10日	晴	23.4	11	18					18	29		1				1	1
11日	晴	26.4	14	4					14	18							
12日	晴	28.3					0		0	0							
計			169	427	110	33	77	121	509	937	5	5	1	2	1	10	15

9/24のその他3羽と9/26のその他20羽は滝の沢林道(与瀬9J)

10/3のその他4羽と10/9のその他18羽は陣馬山(与瀬3H)

10/4のその他2羽は北八公園(八王子8K) 9/26のその他1羽は滝の沢林道

10/4のその他1羽は八幡町織物会館(八王子6J)

10/9のその他73羽は高尾山蛇滝入口付近(八王子0G)

天気及び最高気温は八王子市天気相談所発行  
「八王子市気象月報」から引用



(第2-2表) 1999年の通過羽数・サシバ、ハチクマ、ミサゴ、アサギマダラ、ヒヨドリ、アマツバメ

月日	ハイタカ								アサギマダラ							
	杏林 大学	恩方 松竹	高尾 霞台	小仏 城山	城山 湖	その 他	最少 計	最大 計	杏林 大学	恩方 松竹	高尾 霞台	小仏 城山	城山 湖	その 他	最少 計	最大 計
9月18日																
19日																
20日																
21日											1			1	1	
22日																
23日																
24日												1		1	1	
25日					1		1	1			2			2	2	
26日	1			2			2	3			1	2		2	3	
27日		1					1	1								
28日				5			5	5			2			2	2	
29日																
30日																
10月1日																
2日						1	1	1			2			2	2	
3日										2	4		2	4	8	
4日										3				3	3	
5日									1	1	2			2	4	
6日					1		1	1		1	1			1	2	
7日		1					1	1								
8日										1				1	1	
9日			2				2	2	2		3			5	5	10
10日	1						1	1		2				2	2	
11日							2	2	2	4				4	4	
12日												1		1	1	
計	2	2	2	7	2	3	17	18	7	8	9	13	2	7	33	46

10/2その他1頭は高尾山3号路

10/9その他5頭は陣馬山

10/11その他2頭は高尾小下沢林道

(第2-3表) 1999年の通過羽数・サンバ、ハチクマ、ミサコ、アサギマダラ、ヒヨドリ、アマツバメ

月日	ヒヨドリ								アマツバメ							
	杏林 大学	恩方 松竹	高尾 霞台	小仏 城山	城山 湖	その 他	最少 計	最大 計	杏林 大学	恩方 松竹	高尾 霞台	小仏 城山	城山 湖	その 他	最少 計	最大 計
9月18日																
19日	4						4	4								
20日																
21日		6					6	6	23						23	23
22日																
23日			25				25	25			5				5	5
24日		10				8	10	18		3		14			14	17
25日		5		10	3		10	18				22			22	22
26日		9					9	9			19	3			19	22
27日		35	100				100	135								
28日	10	27		18			27	55	1			54			54	55
29日		4	50				50	54			5				5	5
30日	52	39					52	91								
10月1日									4						4	4
2日		42	15	30	10	30	42	127	2			89			89	91
3日		85					85	85		49	5	65		10	65	129
4日		261	80				261	341		3					3	3
5日	16	455	62	43			455	576			3				3	3
6日	99	100					100	199			4		60		60	64
7日	20	174					174	194								
8日	6				25		25	31								
9日	143	481	26		165		481	815	1				27	50	50	78
10日	76	331					331	407	4						4	4
11日	21						21	21								
12日					100		100	100								
計	447	2064	358	101	303	38	2368	3331	35	55	41	247	87	60	420	525

9/24のその他8羽は滝の沢林道

10/9のその他50羽は陣馬山

10/2のその他30羽は夕焼け橋付近他

飯林元平小栗高尾霞台の予行

(第3表) 八王子上空を通過するサンバ総数の経年変化

最低 ( $\Sigma X_n$ )	最高 ( $\Sigma X_m$ )	多く通過した日	調査期間	主調査ヶ所数	調査者延べ数	備考	
1993	・	100羽	9/26,	9/26,	4ヶ所	24名	特定日調査
1994	・	90羽	10/2,	9/17~10/10	3ヶ所	58名	特定日調査
1995	・	20羽	特に無し	9/21~10/7	1ヶ所	32名	特定日調査
1996	・	318羽	9/28,	9/15~10/16	4ヶ所	117名	連続日調査
1997	379羽	510羽	9/20, 9/24	9/17~10/19	5ヶ所	154名	連続日調査
1998	755羽	1291羽	9/27, 10/3	9/19~10/12	6ヶ所	174名	連続日調査
1999	509羽	937羽	9/26, 27, 10/3, 4, 9	9/18~10/12	5ヶ所	204名	連続日調査

注) 1997年以降羽数に「最低」と「最高」の幅があるのは複数ヶ所でカウントしたものの内、各調査日について、最も多かった所の羽数を $X_n$ 、複数ヶ所の計を $X_m$ としその日の数を $X_n \sim X_m$ として表現し合計を $\Sigma (X_n \sim X_m)$ としたことによる。

調査日	最低 ( $X_n$ )	最高 ( $X_m$ )	調査者延べ数	調査ヶ所数
1993.9.26	0	100	24	4
1994.10.2	0	90	58	3
1995.9.21	0	20	32	1
1995.10.7	0	20	32	1
1996.9.15	0	318	117	4
1996.9.16	0	318	117	4
1996.9.17	0	318	117	4
1996.9.18	0	318	117	4
1996.9.19	0	318	117	4
1996.9.20	379	510	154	5
1996.9.21	0	318	117	4
1996.9.22	0	318	117	4
1996.9.23	0	318	117	4
1996.9.24	379	510	154	5
1996.9.25	0	318	117	4
1996.9.26	0	318	117	4
1996.9.27	755	1291	174	6
1996.9.28	0	318	117	4
1996.9.29	0	318	117	4
1996.9.30	0	318	117	4
1996.10.1	0	318	117	4
1996.10.2	0	318	117	4
1996.10.3	755	1291	174	6
1996.10.4	0	318	117	4
1996.10.5	0	318	117	4
1996.10.6	0	318	117	4
1996.10.7	0	318	117	4
1996.10.8	0	318	117	4
1996.10.9	0	318	117	4
1996.10.10	0	318	117	4
1996.10.11	0	318	117	4
1996.10.12	0	318	117	4
1996.10.13	0	318	117	4
1996.10.14	0	318	117	4
1996.10.15	0	318	117	4
1996.10.16	0	318	117	4
1996.10.17	0	318	117	4
1996.10.18	0	318	117	4
1996.10.19	0	318	117	4
1996.10.20	0	318	117	4
1996.10.21	0	318	117	4
1996.10.22	0	318	117	4
1996.10.23	0	318	117	4
1996.10.24	0	318	117	4
1996.10.25	0	318	117	4
1996.10.26	0	318	117	4
1996.10.27	0	318	117	4
1996.10.28	0	318	117	4
1996.10.29	0	318	117	4
1996.10.30	0	318	117	4
1996.10.31	0	318	117	4
1997.9.17	0	318	117	4
1997.9.18	0	318	117	4
1997.9.19	0	318	117	4
1997.9.20	379	510	154	5
1997.9.21	0	318	117	4
1997.9.22	0	318	117	4
1997.9.23	0	318	117	4
1997.9.24	379	510	154	5
1997.9.25	0	318	117	4
1997.9.26	0	318	117	4
1997.9.27	0	318	117	4
1997.9.28	0	318	117	4
1997.9.29	0	318	117	4
1997.9.30	0	318	117	4
1997.10.1	0	318	117	4
1997.10.2	0	318	117	4
1997.10.3	755	1291	174	6
1997.10.4	0	318	117	4
1997.10.5	0	318	117	4
1997.10.6	0	318	117	4
1997.10.7	0	318	117	4
1997.10.8	0	318	117	4
1997.10.9	0	318	117	4
1997.10.10	0	318	117	4
1997.10.11	0	318	117	4
1997.10.12	0	318	117	4
1997.10.13	0	318	117	4
1997.10.14	0	318	117	4
1997.10.15	0	318	117	4
1997.10.16	0	318	117	4
1997.10.17	0	318	117	4
1997.10.18	0	318	117	4
1997.10.19	0	318	117	4
1997.10.20	0	318	117	4
1997.10.21	0	318	117	4
1997.10.22	0	318	117	4
1997.10.23	0	318	117	4
1997.10.24	0	318	117	4
1997.10.25	0	318	117	4
1997.10.26	0	318	117	4
1997.10.27	0	318	117	4
1997.10.28	0	318	117	4
1997.10.29	0	318	117	4
1997.10.30	0	318	117	4
1997.10.31	0	318	117	4
1998.9.19	0	318	117	4
1998.9.20	0	318	117	4
1998.9.21	0	318	117	4
1998.9.22	0	318	117	4
1998.9.23	0	318	117	4
1998.9.24	0	318	117	4
1998.9.25	0	318	117	4
1998.9.26	0	318	117	4
1998.9.27	755	1291	174	6
1998.9.28	0	318	117	4
1998.9.29	0	318	117	4
1998.9.30	0	318	117	4
1998.10.1	0	318	117	4
1998.10.2	0	318	117	4
1998.10.3	755	1291	174	6
1998.10.4	0	318	117	4
1998.10.5	0	318	117	4
1998.10.6	0	318	117	4
1998.10.7	0	318	117	4
1998.10.8	0	318	117	4
1998.10.9	0	318	117	4
1998.10.10	0	318	117	4
1998.10.11	0	318	117	4
1998.10.12	0	318	117	4
1998.10.13	0	318	117	4
1998.10.14	0	318	117	4
1998.10.15	0	318	117	4
1998.10.16	0	318	117	4
1998.10.17	0	318	117	4
1998.10.18	0	318	117	4
1998.10.19	0	318	117	4
1998.10.20	0	318	117	4
1998.10.21	0	318	117	4
1998.10.22	0	318	117	4
1998.10.23	0	318	117	4
1998.10.24	0	318	117	4
1998.10.25	0	318	117	4
1998.10.26	0	318	117	4
1998.10.27	0	318	117	4
1998.10.28	0	318	117	4
1998.10.29	0	318	117	4
1998.10.30	0	318	117	4
1998.10.31	0	318	117	4
1999.9.18	0	318	117	4
1999.9.19	0	318	117	4
1999.9.20	0	318	117	4
1999.9.21	0	318	117	4
1999.9.22	0	318	117	4
1999.9.23	0	318	117	4
1999.9.24	0	318	117	4
1999.9.25	0	318	117	4
1999.9.26	509	937	204	5
1999.9.27	509	937	204	5
1999.9.28	0	318	117	4
1999.9.29	0	318	117	4
1999.9.30	0	318	117	4
1999.10.1	0	318	117	4
1999.10.2	0	318	117	4
1999.10.3	509	937	204	5
1999.10.4	0	318	117	4
1999.10.5	0	318	117	4
1999.10.6	0	318	117	4
1999.10.7	0	318	117	4
1999.10.8	0	318	117	4
1999.10.9	0	318	117	4
1999.10.10	0	318	117	4
1999.10.11	0	318	117	4
1999.10.12	0	318	117	4
1999.10.13	0	318	117	4
1999.10.14	0	318	117	4
1999.10.15	0	318	117	4
1999.10.16	0	318	117	4
1999.10.17	0	318	117	4
1999.10.18	0	318	117	4
1999.10.19	0	318	117	4
1999.10.20	0	318	117	4
1999.10.21	0	318	117	4
1999.10.22	0	318	117	4
1999.10.23	0	318	117	4
1999.10.24	0	318	117	4
1999.10.25	0	318	117	4
1999.10.26	0	318	117	4
1999.10.27	0	318	117	4
1999.10.28	0	318	117	4
1999.10.29	0	318	117	4
1999.10.30	0	318	117	4
1999.10.31	0	318	117	4

(調査方法)  
日誌月報・日誌月報・日誌月報・日誌月報  
調査方法・調査方法・調査方法・調査方法  
調査方法・調査方法・調査方法・調査方法

調査日	最低 ( $X_n$ )	最高 ( $X_m$ )	調査者延べ数	調査ヶ所数
1993.9.26	0	100	24	4
1994.10.2	0	90	58	3
1995.9.21	0	20	32	1
1995.10.7	0	20	32	1
1996.9.15	0	318	117	4
1996.9.16	0	318	117	4
1996.9.17	0	318	117	4
1996.9.18	0	318	117	4
1996.9.19	0	318	117	4
1996.9.20	379	510	154	5
1996.9.21	0	318	117	4
1996.9.22	0	318	117	4
1996.9.23	0	318	117	4
1996.9.24	379	510	154	5
1996.9.25	0	318	117	4
1996.9.26	0	318	117	4
1996.9.27	755	1291	174	6
1996.9.28	0	318	117	4
1996.9.29	0	318	117	4
1996.9.30	0	318	117	4
1996.10.1	0	318		



サシバが多く出た日（9月26日、27日、10月3日、4日、9日）の場所別、時間帯別通過数は第4表の通りである。この表は「同一のサシバの群」を「複数の地点で時間差をもって捕らえているか」を検証するために作ったものである。

第4表でこれに該当すると思われるものを「太枠」で囲ってみた。結果は9月26日に1回、10月4日に2回しか無かった。サシバの渡りの全体像を捕らえるためには、来年以降もっと調査地点を増やす必要性を痛感する。

本年、その他の場所として陣馬山で観察した神谷会員(10/3,10/9)によると、10/9は18羽のサシバの移動を追うことが出来たとのことで、景信山と小仏城山の間（小仏峠）を通過し、丹沢の大室山方向（大室山上空と思われる位遠方）で再び旋回する姿を捕らえることが出来た。

また、10/9粕谷は裏高尾小仏川の駒木野から蛇滝入り口付近を旋回する鷹柱（73羽）を捕らえ、小仏川沿いに小仏峠の方向に西に移動した群を確認した。

サシバ渡りの調査は埼玉西部、奥多摩、神奈川等でも地元のグループを中心に行われている。その内、八王子周辺、埼玉西部、奥多摩の調査地点やサシバの通過地点を2万5千分の1地形図10等分メッシュに落としたものが、第1図である。

(第4-1表)  
サシバが多く出た日のデータ・9月26日

(数字は羽数、「南西」等の表示は飛んで行った方向、ゴシック太字は鷹柱)

時：分	杏林大学	松竹公園	滝の沢林道	小仏城山
	拜島4E	八王子0K	与瀬9J	与瀬5J
08:40-08:49	1南西			
08:50-08:59	1南			
09:00-09:09				
09:10-09:19			1南西	
~				
09:40-09:49				3南南西
~				
11:20-11:29		1南	1南東	
11:30-11:39		1南		
11:40-11:49			1南東	
~				
12:10-12:19		<b>5南西</b>		
12:20-12:29		<b>9西</b>	<b>13南南西</b>	
12:30-12:39		<b>28西</b>		
12:40-12:49	1南西			
12:50-12:59			1見失う	
~				
13:20-13:29			3南	
13:30-13:39				
13:40-13:49		<b>12南西</b>		
~				
14:10-14:19	1南西			
14:20-14:29				

(第4-2表)  
サシバが多く出た日のデータ・9月27日

(数字は羽数、「南西」等の表示は飛んで行った方向、ゴシック太字は鷹柱)

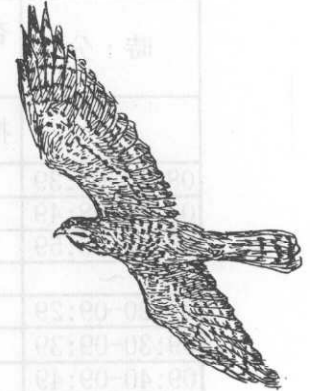
時：分	杏林大学	松竹公園	高尾霞台	城山湖ダムサイト
	拜島4E	八王子0K	八王子0F	八王子2C
08:40-08:49				
~				
09:40-09:49	<b>8南東</b>			
~				
11:20-11:29				1南西
~				
12:10-12:19	1南西	1南		<b>15南西</b>
12:20-12:29				
12:30-12:39		<b>18西南西</b>		1南
12:40-12:49		<b>19西南西</b>		
12:50-12:59		<b>16西南西</b>		
13:00-13:09	1東			
~				
13:30-13:39				<b>5南西</b>
13:40-13:49				
13:50-13:59				1南西
14:00-14:09		<b>9西南西</b>		
14:10-14:19				

(第4-3表) サシバが多く出た日のデータ・10月3日

(数字は羽数、「南西」等の表示は飛んで行った方向)

ゴシック太字は鷹柱

時:分	杏林大学	松竹公園	陣馬山	高尾霞台	小仏城山
	拝島4E	八王子OK	与瀬3H	八王子	与瀬5J
07:40-07:49					1南西
08:10-08:19			1南南西		
08:20-08:29			2南南西		
08:30-08:39					
08:40-08:49	2南西		1南南西	2南西	
08:50-08:59	1西				
09:00-09:09	2西				
09:10-09:19	1南西				
09:20-09:29		1北			
09:30-09:39	2南西	2西		1南	
09:40-09:49	2南西				
09:50-09:59				2西	
10:00-10:09		2南西			
10:10-10:19		3南西			1見失う
10:20-10:29		1南西			2南西
10:30-10:39	2南西				1南西
10:40-10:49		<b>8南西</b>			
10:50-10:59	4南東	<b>21西</b>			
11:00-11:09		5西			
~					
11:30-11:39	1南	1西		3南西	
~					
12:00-12:09		1西			
12:10-12:19					



(第4-4表) サシバが多く出た日のデータ・10月4日

(数字は羽数、「南西」等の表示は飛んで行った方向、ゴシック太字は鷹柱)

時:分	杏林大学	松竹公園	高尾霞台	時:分	杏林大学	松竹公園	高尾霞台
	拝島4E	八王子OK	八王子OF		拝島4E	八王子OK	八王子OF
08:40-08:49	<b>22南西</b>	<b>54南西</b>		~			
08:50-08:59	<b>19南西</b>	<b>15南西</b>		12:20-12:29		14南	
~				~			
09:20-09:29		1西		12:50-12:59		1南	
09:30-09:39			9南	13:00-13:09			
09:40-09:49		20西	15西	13:10-13:19	1南		
09:50-09:59				13:20-13:29			
10:00-10:09	<b>16南西</b>		10南				
10:10-10:19		11南西	5南				
10:20-10:29							
10:30-10:39		1南	13南				
10:40-10:49							
10:50-10:59		11西南西					
11:00-11:09			1南西				
11:10-11:19			3南西				
11:20-11:29		1西南西					
11:30-11:39		<b>16西南西</b>					
11:40-11:49		<b>7西南西</b>					
~							

(第4-5表) サシバが多く出た日のデータ・10月9日 (表C-16)

(数字は羽数、「南西」等の表示は飛んで行った方向、ゴシック太字は鷹柱)

時：分	杏林大学	松竹公園	高尾蛇滝入口付近	陣馬山	高尾霞台	城山湖ダムサイト
	拜島4E	八王子0K	八王子0G	与瀬3H	八王子0F	八王子2C
08:30-08:39		2南				
08:40-08:49						
08:50-08:59				1南南西		
~						
09:20-09:29		1南			3南西	3西
09:30-09:39					<b>10西</b>	
09:40-09:49			<b>60西</b>			12西
09:50-09:59		1北	<b>10西</b>			
10:00-10:09		<b>14北西</b>	1西			3南西
10:10-10:19		2南				
10:20-10:29	3南西				1西	1南西
10:30-10:39				<b>3南南西</b>		
10:40-10:49		4南西		<b>9南南西</b>		
10:50-10:59			2西			
11:00-11:09		2南				
11:10-11:19		<b>6西南西</b>				
11:20-11:29	3南西	<b>5南西</b>				1西
11:30-11:39		2南西				
11:40-11:49				<b>4南南西</b>		
11:50-11:59	2南西	1見失い				
~						
12:20-12:29		4西				
12:30-12:39						
12:40-12:49		1南西				
12:50-12:59						



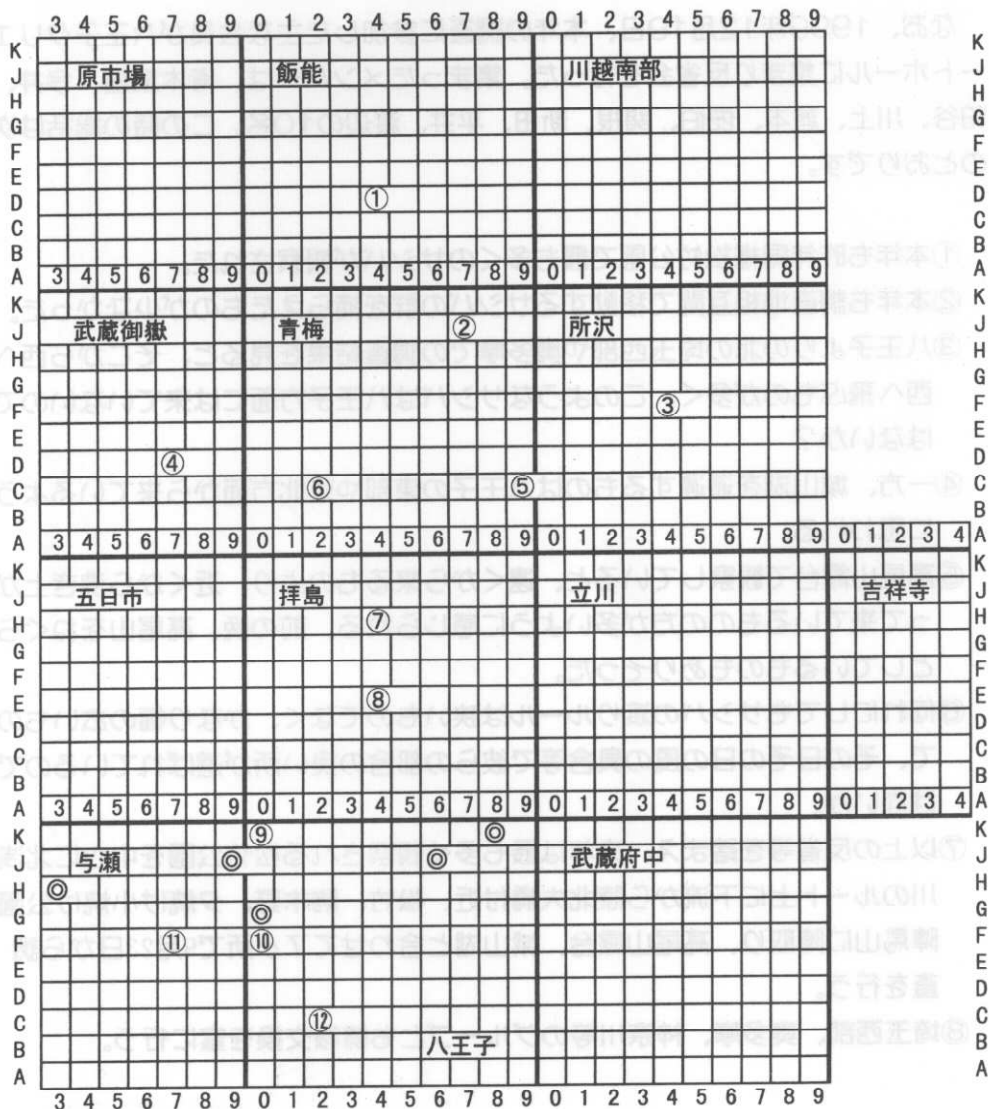
(第1図) 1999年秋・サシバが通過したメッシュ

原市場	飯能	川越南部
武蔵御嶽	青梅	所沢
五日市	拝島	立川
与瀬	八王子	武蔵府中

(左図は2万5千分の1地形図名)

① 定点調査地点のメッシュ

◎ 通過を確認したメッシュ



定点調査地点  
のメッシュ名

① 天覧山 (飯能4D)

② 桜山展望所 (青梅7J)

③ 所沢北野 (所沢4F)

④ 吉野梅の公園 (武蔵御嶽7D)

⑤ 六道山 (青梅9C)

⑥ 友田レク広場 (青梅2C)

⑦ 秋留台公園 (拝島4H)

⑧ 杏林大学 (拝島4E)

⑨ 松竹公園 (八王子0K)

⑩ 高尾山霞台 (八王子0F)

⑪ 小仏城山 (与瀬7F)

⑫ 城山湖ダムサイト (八王子2C)

1999年6月に「鷹の渡りの謎を探る集い(サシバ調査グループ交換会)」を開催し、このようなグループとのネットワーク化に一步踏み出すことができた。1999年の調査は、お互いにこのグループ間の情報交換を図りながら実施したもので、その結果の一部が第5表である。

なお、1999年12月19日、本年の調査に参加した主な会員が八王子クリエートホールに集まり反省会を行った。集まったメンバーは、青木繁昌、今井、粕谷、川上、倉本、佐伯、関根、新田、平井、渡辺の10名。この時の総括は次のとおりです。

- ① 本年も昨年同様松竹公園で最も多くのサシバが観察された。
- ② 本年も調査地相互間で移動するサシバの群を捕らえたものが少なかった。
- ③ 八王子よりの北の埼玉西部や奥多摩での調査結果を見ると、そこから西へ西へ飛ぶものが多く、このようなサシバは八王子方面には来ていないのではないか？
- ④ 一方、城山湖を通過するものは八王子の東部や東北方面から来ているように思われる。
- ⑤ 高尾山霞台で観察していると、遠くから来るものより、近くから沸き上がって来ているものの方が多いように感じられる。前の晩、高尾山をねぐらとしているものもありそうだ。
- ⑥ 何れにしてもサシバの渡りルールは狭いものでなく、かなり幅の広いもので、その日その日の風の具合等で彼らの都合の良い所が選ばれているのではないか。
- ⑦ 以上の反省等を踏まえ、来年は最も多く観察される松竹公園を中心に北浅川のルート上に下流から陵北大橋付近、松竹、駒木野、夕焼け小焼け公園、陣馬山に陣取り、高尾山霞台、城山湖と合わせて7ヶ所で9月23日から調査を行う。
- ⑧ 埼玉西部、奥多摩、神奈川等のグループとも情報交換を蜜に行う。

(第5表) 1999年の通過羽数・サシバ(単位:羽、-:未調査)

月日	天覧山	桜山	所沢北野	梅の公園	六道山	友田	秋留台	杏林大学	恩方松竹	高尾霞台	小仏城山	城山湖	八王子
メッシュ区分	飯能4D①	青梅7J②	所沢4F③	武蔵御嶽7D④	青梅9C⑤	青梅2C⑥	拝島4H⑦	拝島4E⑧	八王子OK⑨	八王子OF⑩	与瀬5J⑪	八王子2C⑫	その他の場所
8月29日	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9月5日	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11日	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12日	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18日	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-
19日	8	-	-	-	0	-	-	3	-	-	-	0	-
20日	-	-	1	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-
21日	0	-	-	-	-	-	-	0	8	-	0	-	-
22日	-	-	中止	-	-	-	-	0	0	-	0	-	-
23日	178	-	75	-	98	-	-	21	26	19	0	7	-
24日	5	-	0	0	-	9	2	1	0	-	0	0	3
25日	8	0	6	0	3	2	7	1	1	-	8	6	-
26日	21	20	50	3	64	9	19	16	44	0	3	-	20
27日	23	-	7	113	338	34	4	10	63	0	-	23	-
28日	12	-	33	2	17	11	2	2	0	-	11	-	-
29日	0	-	中止	0	-	0	0	0	0	0	-	0	-
30日	70	-	55	27	-	9	20	0	3	-	-	-	-
10月1日	12	-	6	12	-	20	24	0	2	-	-	-	-
2日	40	7	54	15	63	23	11	7	7	9	4	2	-
3日	0	-	0	7	0	2	0	17	45	8	5	0	4
4日	200	-	90	107	330	240	18	58	152	56	-	-	3
5日	1	-	0	0	-	1	0	0	4	4	2	-	-
6日	2	-	6	0	-	0	0	0	1	0	-	19	-
7日	-	-	7	-	-	0	1	0	2	-	0	-	-
8日	-	-	中止	-	-	-	-	0	2	-	-	0	-
9日	10	-	18	-	-	-	-	8	45	14	-	20	91
10日	0	-	1	-	-	-	-	11	18	-	-	-	-
11日	-	-	1	-	0	-	-	14	4	-	-	-	-
12日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-
計	599	27	410	286	913	360	108	169	427	110	33	77	121

八王子市立校加住中学校（拝島5E）は杏林大学の南東隣りにあり、サシバの渡りルート上にあると想定されます。1999年6月に開催した「鷹の渡りの謎を探る集い(サシバ調査グループ交換会)」が新聞に取り上げられた時、その記事を見た同校の山田孝先生（国語）から丁度鷹の渡りの話を勉強中で、サシバの渡りに関する資料が欲しいとの電話がありましたので、簡単な資料を作成して送り、同校とその付近での生徒による調査を呼びかけました。その後、11月上旬山田先生から次のような連絡がありました。

.....

前略

先日は有り難うございました。

とりあえず、学校（加住中）から見えた猛禽類のデータを送ります。サシバかどうかの確認は出来ていません。

- 7月25日 AM10:00頃 1羽 校舎から高月病院上空方面で旋回
- 9月30日 AM10:10頃 3羽 校庭の真上を旋回
- 10月 5日 AM11:00頃 1羽 学校の坂下付近の木に止まる
- 10月26日 AM 9:05 1羽 教室から見て戸吹方面で旋回

その他カラスかどうかもわからないような報告が2、3件ありました。全体的に生徒は協力的でした。また、見つけた時は大喜びで授業そっちのけでした。理科の先生をはじめ他の先生も協力的ですので、今後も継続的に係わっていきたいと思っています。

これからもよろしくお願ひします。1999.11.6 加住中 山田 孝

.....

(粕谷注：9/30の3羽は多分サシバ、他の日のものは状況から判断してトビ、オオタカ、ノスリのいずれかではないかと思われます。「見つけた時は大喜びで授業そっちのけでした」これこそ生きた教材ではないでしょうか。今後の継続を願って止みません。)

## 1999年浅川流域のイワツバメ営巣調査

(取りまとめ：粕谷和夫)

この調査は1987年から毎年行っているもので1999年で13年目となった。調査方法は前年までと同じで、5月から7月の間に2回、その年に繁殖に利用している巣の数をカウントして、多かった方をその場所の営巣数とした。浅川流域を川筋別に16に分割し、その他に谷地川、程久保川及び大栗川を加えて行った。調査区域と調査者は第1表、結果は第2表の1999年欄の通りである。1999年は営巣箇所数、営巣数ともに前年より増加した。

調査者からの主なコメントは次の通りである。

③北浅川中央高速道橋下：橋工事のため、昨年28あった巣が壊れて無くなっている。特に上り車線側が多く壊れている。

⑤浅川大和田橋～長沼橋：昨年と比較して飛んでいるイワツバメの数が少ない。

⑥浅川滝合橋：昨年迄は堤防からしか数えなかったが、今年は川の水量が少ない時期に川に降りてカウントした。古巣は55あったが、今年使っている巣は5であった。

⑩JR八王子駅は一番線ホーム側に昨年より36多く、駐車場天井の人による破壊が10程度あるが、全体で昨年より増えた。

⑭湯殿川(白旗橋上流部)：拓殖大学構内、館が丘団地内、川沿いの道を5月に歩きましたが0でした。

⑰狭間住宅：この住宅の各階テラスには古い巣33以上がそのまま残っています。これらの巣は建物の内側からは直に見ることができない位置にありますが、親の出入りと雛の声から今年利用している巣は3と判定しました。7月8日、19時20分、この建物前でヒメアマツバメの音がし、はざま住宅のテラス前をヒメアマツバメ5とイワツバメの両方が飛んでいました。確認できてませんが、ヒメアマツバメの巣がある可能性があります。

⑱スリーポンド本社：一旦全て人により取り除かれ、昨年巣のあったピロティ天井の3分の2にネットが張られてしまいましたが、ネットの無い所で5ヶ所、ネット上4ヶ所に巣を作り直しました。ネット上の2は壊れていました。



⑭大信プラスチック：今年は工場の敷地内に入れさせて頂き、通りから見えない側にも2個あるのを見つけました。ここも一旦取り除かれたのですが、特に巢作りを妨害することはしなかったようで、全部で14個作られていました。

⑭富士重工第2スバル寮：今年新たに見つけた場所(狭間町)、富士重工第2スバル寮、5階建て建物東側屋上ひさし部分(八王子3G)、一つの巢にイワツバメ2羽が入っているのが見え、約8羽のイワツバメがひさしの他の部分をかすめて飛び回っています。

⑰いちょう接骨院の巢はカラスにやられ昨年より少ない。

(第1表)1999年イワツバメ営巣調査地域と調査者

	調査地域	調査者
①	北浅川(大沢橋～陵北大橋)	今井達郎
②	北浅川(陵北大橋～松枝橋)	河村道寛・洋子
③	浅川本流(松枝橋～鶴巻橋)	福井司郎、福島弥四郎
④	浅川本流(鶴巻橋～大和田橋)	田中英吉
⑤	浅川本流(大和田橋～長沼橋)	丸山二三夫
⑥	浅川本流(長沼橋～一番橋)	山崎悠一・久美子
⑦	浅川本流(一番橋～多摩川合流)	門口一雄、青木繁昌
⑧	川口川(川口橋～明治橋)	鈴木昌七、川戸恵一、井手龍世他
⑨	川口川(明治橋～浅川合流)	三好恒雄、小沢礼子・節子
⑩	南浅川(案内橋～敷島橋)	川上憲
⑪	南浅川(敷島橋～浅川合流)	小池一男
⑪	南浅川・八王子総合福祉センター	川上憲
⑪	南浅川・南多摩病院他	平井国二
⑫	城山川(月夜峯新橋～浅川合流)	木村晴美
⑬	山田川(山田橋～浅川合流)	平井国二
⑬	山田川・市民会館	粕谷和夫
⑭	湯殿川(白旗橋上流部)	横山由美子
⑮	湯殿川(白旗橋～時田橋)	横山由美子
⑯	湯殿川(時田橋～浅川合流)	加藤岸男
⑯	湯殿川・片倉駅他	青木一男
⑰	程久保川	青木繁昌
⑱	谷地川(月夜橋～新左入橋)	新田茂
⑱	谷地川(新左入橋～多摩川合流)	大川征治、神谷古牧
⑳	大栗川	木村信幸、登坂久雄

(第2表) イワツバメ営業数 (○内数値は前表の流域別に対応) 単位: 巢数(X: 人による破壊、-: 未調査)

	メッシュNo	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	1999
①北浅川(大沢橋~陵北大橋)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②松枝住宅(A)	拝島3B	-	-	X	3	9	2	0	0	0	0	0	0	0
③北浅川中央高速道橋(B)	拝島4A	17	30	34	14	16	0	12	13	12	16	15	28	9
③市立第2中学校(A)	拝島5A	-	16	2	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④萩原橋(B)	八王子6K	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④浅川噴橋(B)	八王子7K	0	14	42	35	21	22	17	11	3	8	1	0	0
④浅川浅川大橋(B)	八王子7K	0	0	0	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0
⑤浅川大和田橋(B)	八王子8J	69	60	39	36	7	0	0	3	0	10	18	15	7
⑤北野清橋工場(A)	八王子8J	X	X	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤パワ生工場(A)→西東京生コ	八王子8H	25	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤浅川JR中央線鉄橋高架(C)	八王子9H	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
⑥浅川長沼橋(B)	八王子9H	0	0	0	0	0	6	3	0	0	0	0	0	0
⑥浅川滝合橋(B)	武蔵府中OH	0	0	0	0	0	9	19	19	20	22	17	7	5
⑥平山中学校	武蔵府中1H	-	3	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦浅川一番橋(B)	武蔵府中1J	1	0	0	0	2	12	6	0	1	6	1	2	6
⑦浅川高幡橋(B)	武蔵府中2K	1	0	0	5	0	0	5	20	25	11	0	0	0
⑧川口児童館(A)	拝島2C	-	-	2	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧陶館小学校(A)	拝島4C	-	1	0	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨中央道中野山王町高架(B)	拝島6A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0
⑨清水小学校(A)	拝島5A	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨シンフ(株)(A)	拝島5A	-	9	5	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨檜原中学校(A)	拝島5B	-	X	5	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨川口川噴守橋(B)	拝島6A	0	0	0	0	0	4	0	4	8	3	0	0	0
⑩京王高尾山口駅(C)	八王子1F	6	7	6	10	7	20	13	15	20	15	15	23	25
⑩京王高尾駅(C)	八王子2G	10	5	5	20	20	20	15	18	17	20	25	20	20
⑩高尾駅南口マンション(A)	八王子2G	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
⑩東浅川小学校(A)	八王子3G	0	0	0	0	0	0	1	5	13	0	0	0	0
⑩京王線東浅川小学校前(B)姫天燕	八王子3G	20	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩私立八王子高校体育館(A)	八王子5J	-	-	-	-	-	-	-	100	50	40	30	27	94
⑩南浅川東横山橋(B)	八王子4J	6	8	5	0	0	0	4	2	7	6	6	3	3
⑩都立八王子工校体育館(A)	八王子4J	0	0	5	7	8	8	13	6	3	0	0	0	0
⑩八王子総合福祉センター(A)	八王子3H	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	0
⑩南多摩病院(A)	八王子5J	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2
⑩台町市民センター(A)	八王子5J	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4
⑩都立第2商業高校(A)	八王子5J	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
⑩城山川(月夜峯新橋~浅川合流)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪JR八王子駅(D)	八王子7J	50	92	45	51	117	100	120	120	148	43	38	70	148
⑪八王子市民会館(A)	八王子6J	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	2	2
⑪ほごま住宅(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	-	27	7	1	2	0	3
⑪メジロ台ハイム(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	-	0	1	0	0	0	0
⑪スリーポンド本社(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	23	37	9
⑪大信プラスチック(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	17	24	14
⑪富士重工第2スバル寮(A)	八王子3G	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1
⑪JR片倉駅(C)	八王子7F	0	0	0	0	5	12	14	10	12	27	19	8	0
⑪片倉台小学校(A)	八王子7F	0	0	0	0	0	0	0	4	0	3	5	0	0
⑪片倉サンライズ幼稚園(A)	八王子7F	0	0	0	0	8	10	25	0	0	0	0	0	0
⑪湯殿川東橋(B)	八王子7G	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪兵衛川横浜線鉄橋(C)	八王子8H	0	0	0	0	3	4	0	0	4	10	3	0	0
⑪湯殿川打越大橋(B)	八王子8G	0	0	0	0	0	0	2	11	4	2	0	0	0
⑪湯殿川時見橋(B)	八王子8G	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0
⑪北野ハケスタビル(A)	八王子8G	1	6	9	6	X	0	0	11	10	6	2	0	3
⑪京王北野駅(C)	八王子8G	0	0	0	0	13	58	56	54	69	49	45	43	31
⑪京王北野駅~長沼駅(C)	八王子9G	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
⑪京王長沼駅(C)	八王子9G	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	11	8
⑪中央高速下石川児童公園(C)	拝島9A	-	-	-	-	-	-	-	15	5	0	1	0	0
⑪谷地川鶴巻橋(B)	拝島9B	-	-	-	-	-	-	-	0	0	4	3	5	6
⑪谷地川西野橋(B)	拝島8A	-	-	-	-	-	-	-	0	1	4	2	0	0
⑪カレツツア駐車場(A)	拝島7B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
⑪いちよう接骨院(A)	拝島8B	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	4	4	1
⑪谷地川八方地橋(B)	拝島8B	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	2	0	4
⑪谷地川万年橋(B)	拝島9B	-	-	-	-	-	-	-	0	2	0	1	1	0
⑪谷地川新鶴見橋(B)	立川0B	-	-	-	-	-	-	-	0	2	0	0	0	0
⑪谷地川新瀬水橋(B)	拝島8B	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	0	0	1
⑫京王南大沢駅(C)	武蔵府中OD	-	-	-	-	-	-	-	16	17	11	12	9	8
⑫アメニティトライアル多摩21(D)	武蔵府中OD	-	-	-	-	-	-	-	16	4	0	0	0	0
⑫南大沢駅の橋歩道橋(B)	武蔵府中OD	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1
⑫太田川おかんどう橋(B)	武蔵府中1D	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	5
⑫太田川峯が谷戸橋(B)	武蔵府中1E	-	-	-	-	-	-	-	10	10	7	0	0	0
⑫ハローマック多摩NT店(A)	武蔵府中1E	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	7	5
⑫京王堀之内駅(C)	武蔵府中2E	-	-	-	-	-	-	-	0	5	7	3	0	6
⑫大栗川大滝橋(B)	武蔵府中OE	-	-	-	-	-	-	-	0	0	2	9	0	0
⑫大栗川富士見橋(B)	武蔵府中OE	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	7	12	5
⑫大栗川常盤橋(B)	武蔵府中3F	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	2	0
⑫大栗川宮田橋(B)	武蔵府中3F	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	2
⑫大栗川横倉橋(B)	武蔵府中4G	-	-	-	-	-	-	-	2	0	0	2	4	3
合計営業箇所数		210	262	219	198	252	293	332	514	485	342	346	384	473
営業数		12	15	17	13	15	15	17	28	30	30	33	27	35

## 1999年、我が家の庭に来る野鳥調査結果

取りまとめ：粕谷和夫

99年は市街地11庭（庭10、マンション1）、郊外19庭（庭17、マンション2）計30庭がこの調査に参加した。

結果は第1表の通り、1年間の内、最低1回でも庭に来た鳥（以下●で示す）は市街地で23種、郊外で26種、付近に来た鳥（以下○で示す・例えば隣り近所に来た鳥、自分の家で声を聞いた鳥等）は市街地で13種、郊外で10種、累計39種の鳥が30庭及びその付近のどこかで確認された。

（第1表）1999年に会員の庭及びその付近に訪れた野鳥の種類数

注：本表は第4表を基に作成した	市街地				郊外				計
	庭	M	計	累計種類数	庭	M	計	累計種類数	
M：マンション 調査に参加した会員（庭等）数	10	1	11		17	2	19		30
●実際に1回でも庭に来た鳥の種類数	23			23	26	7		26	累計種類
○庭の付近に来た鳥の種類数	11	18		13	9	7		10	
●○合計	34	18		36	35	14		36	39

市街地と郊外は厳密な定義分けはなく、昨年迄と同様、会員の現住所から概ね市街地らしき所、郊外らしき所と便宜的に分けた。1庭当たりの平均飛来種数は第2表の通り、●が11種、○が7種、●○計18で種（市街地18種、郊外19種）であった。

（第2表）1庭当たりの平均飛来種類数（1999）

注：本表は第4表を基に作成した	市街地			郊外			計
	庭	M	計	庭	M	計	
M：マンション 調査に参加した会員（庭等）数	10	1	11	17	2	19	30
●実際に1回でも庭に来た鳥の種類数	13			12			11
○庭の付近に来た鳥の種類数	5			7			7
●○合計	18			19			18

個別のデータは第4表にまとめられている。80%以上の出現率（24庭以上で記録）した野鳥は、ツバメ、ハシロドリ、ジョビタビ、ツグミ、ウグイス、シロウグイス、メジロ、スズメ、ハトリの10種であった。最近町中への進出が話題になっているケラは23庭、アケボノは5庭で記録された。最近八王子の丘陵地で猛威をふるうガビチョウも1庭で記録された。夏鳥のカッコウ、材木ヱは、それぞれ3庭、9庭で記録された。

第4表中の石橋さんは高幡不動尊近くの自宅マツヨリの裏の空き地と裏の梅林に  
来た野鳥をマツヨリのベランダから観察したものです。郊外マツヨリの嶋崎さんの●は  
マツヨリのベランダの餌台に飛来したものの記録です。

庭での繁殖状況は第3表の通りであり、7種の野鳥が記録された。シジュウカ  
ラが最も多いが、殆どが巣箱利用のものです。郊外マツヨリの木村さんのヒヨドリ  
営巣巣立ちはベランダ直前の植木に営巣したもの、粕谷庭のシジュウカラはオー  
プンデッキのテーブル(毎日利用している)から2~3mの至近距離の巣箱で営  
巣したものです。

(第3表) 1999年・我がの庭で繁殖した野鳥

	市街地								郊外										合計・ 産数					
	大室 君子	粕谷 夫妻	小池 一男	久保 田ヤ 生子	佐伯 直寛	杉森 ユリ	平井 国二	三好 恒雄	小計・ 産数	井手 龍世	大川 夫妻	川上 燕	木村 正子	M嶋 崎太 郎	白川 夫妻	千葉 禎子	永見 博子	夏目 昌明		新田 茂	山崎 夫妻	M木 村信 幸	小計・ 産数	
296 キツバト			②	③	①	②		4															0	4
347 ツバメ												①											1	1
367 ヒヨドリ		①	③				③	3												②	①		2	5
441 シジュウカラ	①	①	③		①		③	②③	7	③	①	①	③		②		①	①	①	③			9	16
444 シロ			③						1				①			①							2	3
471 カワビ							③	1															0	1
488 スズメ	①		③		①		③	①③	6	③		①	③	①		①			③	①			7	13
計①営巣巣立ち	2	2			3			1	8		1	3	1	1		2	1	1	1	1	1	1	13	21
②営巣途中放棄			1			1		1	3						1						1		2	5
③親子連れ来庭			4	1			4	2	11	2			2								1		5	16
④隣の庭で営巣									0										1				1	1
合計①②③④	2	2	5	1	3	1	4	4	22	2	1	3	3	1	1	2	1	1	2	3	1	21	43	





(第4表) 1999年・我が家の庭に来た野鳥調査結果

種別	市街地(M:マンション)													郊外(M:マンション)													合計・ 度敷							
	大 室 君 子	船 谷 夫 妻	木 村 晴 美	小 池 一 男	久 保 田 ヤ ス 子	佐 伯 直 寛	杉 森 ユ リ	平 井 国 二	峯 尾 良 雄	三 好 恒 雄	小 計 ・ 度 敷	M 石 橋 公 子	井 手 龍 世	今 井 達 郎	大 川 夫 妻	小 笠 原 敏 子	門 口 一 雄	川 上 悉	白 川 正 子	白 川 夫 妻	鈴木一	傍 嶋 玲 子	千 葉 楓 子	永 見 博 子	夏 目 昌 明	新 田 茂		平 井 牧	丸 山 三 三 夫	山 崎 夫 妻	小 計 ・ 度 敷	M 木 村 信 幸	M 嶋 崎 太 郎	
メッシュ位置	武 0 G	八 6 J	八 5 H	揮 5 A	八 4 H	揮 6 A	八 6 J	揮 5 A			武 3 K	揮 6 B	揮 1 A		八 8 F	八 7 G	八 2 H	武 0 F	揮 1 C	八 6 G	立 0 B	八 3 J	揮 4 A	八 1 H	揮 6 B	揮 1 C	武 0 G			武 1 E	武 0 G			
062 アオサギ											○																						1	
088 カルガモ											○																						1	
125 ツミ														○																1		1		
149 コシユカイ	○				○		○			3		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○					8		11		
151 キジ																															○	1		
296 キジバト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16	○	●	29	
302 カッコウ	○	○								2										○									1			3		
304 ホトトギス	○									1		○			○	○	○	○					○	○				○	8			9		
331 アオゲラ	○									1					○	○							○	○					4			5		
339 コゲラ	●	○		●	●	●	○	●	●	9	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	○	14			23		
347 ツバメ	○	○		○	●	●	○	○		8	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	○		25	
354 キセキレイ				○	●	●				3					●								○	○					3			6		
355 ハウセキレイ					●	●	○	○		4	○		●	○	○						○	○	●					○	7	○		13		
356 セグロセキレイ	○	○						●		3					○								○						3			6		
367 ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17	○	●	30	
369 モス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13			23	
385 コルリ	○									1																							1	
386 ルビキ	○									1						●													1			2		
387 ショウビトキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	○		25	
402 シロハラ	○									1		●																	1			2		
405 ユグミ	●	○	○	○	○	○	○	○	○	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	○		25	
410 ウグイス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15			24	
410 イナガ					●	○				2		●	○	○								●	○	○					6			8		
440 ヤマガラ	○									1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	○	●	12		
441 シジュウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17	○	●	30	
444 マシロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17	○	●	30	
449 林シロ	○		○	○						3					○	○	○	○				○	○	○				○	8			11		
455 カシラガ	○									1																							1	
461 アオジ	○		○	●	●	●	●	●	●	5	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9			14	
471 カワヒク	●	●	○	●	●	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13			23	
485 イカル	○									1					○	○	○												4			5		
486 シメ				○		●				2													○		●				2			4		
488 スズメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17	●	●	30	
493 ムクドリ	●	●	○	●	●	●	●	●	●	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	○	●	29	
498 オナガ			○	●	●	●	●	○	○	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12			21	
503 ハシホソガラ	○		○	●	●	○				6	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	○		19	
504 ハシブトガラ	●	○	○	○	○	○	○	○	○	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	○		23	
ドバト		○	○	○	○	○	○	○	○	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7			15	
ガビチョウ												○																	1			1		
種類計 ●		12	8	7	15	15	20	17	13	18	9	(13)	12	10	18	12	9	17	14	10	14	10	7	13	8	15	8	8	11	(12)	1	7	(11)	
○		14	6	7	5	1	3		6	3	4	(5)	18	6	9	2	11	13	6	8	12	3	6	6	17	11	2	5	8	(7)	12	(7)		
●○合計		26	14	14	20	16	23	17	19	21	13	(18)	18	18	19	20	23	22	23	22	22	17	16	7	19	25	26	10	13	19	(19)	13	7	(18)

種類計欄の( )内の数字は平均を現す

●: 1年間の内、最低1回でも実際に庭に飛来したもの

○: 上記の庭の付近に飛来したもの(例えば隣り近所に来たもの、自分の庭で声を聞いたもの等)





## 1999年片倉城跡公園の巣箱状況

田中栄吉

平成11年12月12日の午後、恒例の巣箱清掃と利用状況調査が会員有志によって行われました。平成元年に始まった巣箱の設置は毎年会員の努力によりそれぞれ効果を上げておりますが、本年は参加される会員が多かったので、手分けして実施し早く終わりました。この報告は他の方の記録を知らせて頂いたものを集計してお知らせするものです。

この公園は八王子市建設部公園課が管理する都市公園で、八王子カワセミ会が毎月定期カウントする場所の一つであります。

- 利用状況ですが、巣材には昨年と同様にコケが多く使用されていまして。
- 繁殖に利用された巣箱は5箱でした。昨年は12箱設置されましたが、7箱は廃棄処分にいたしました。途中放棄されたのが1箱です。今年は、栗原氏、千葉氏、川上氏、小笠原夫妻、神谷氏など多数の会員のご協力によりまして、合計で14箱の利用を開始することになりました。

1999冬号に鳥たちと会話が出来ればどんなに楽しいだろうとありましたが、公園に掛けた巣箱の居心地を今年の暮れに聞かせてくれるでしょうか？期待しましょう。

なお、今回の巣箱点検、清掃作業には次の会員に参加、協力を頂きました。  
今井達郎 小笠原正顕 小笠原敏子 春日健一郎 粕谷和夫 門口一雄 神谷古牧 川上志 栗原勝 新田茂 山崎悠一 田中栄吉 (以上12名)



巣箱設置と利用状況は次のとおりです。

(平成11年12月12日(日)午後現在)

巣箱記号	提供者	利用点検状況等	
1	門口 一雄	○	清掃付け替え
7	川上 恚	○	老朽化廃棄
8	川上 恚	○	清掃付け替え
45	小笠原 正顕	○	老朽化廃棄
	粕谷 和夫	×	エンピ管巣箱 清掃付け替え
	川戸 恵一	×	杉皮 清掃付け替え
	新田 茂	○	清掃付け替え
	栗原 勝		新設 丸太利用
	千葉 禎子		新設 木製
	川上 恚		//
	小笠原 正顕		//
	//		//
	小笠原 敏子		//
	神谷 古牧		//
	//		//
	//		//

○：繁殖に利用 ×：利用なし



## ハクセキレイの集団ねぐら (99年7月~99年12月)

取りまとめ：粕谷和夫

### (1) 八王子市横山町三角広場・(八王子7J、倉本修調査)

99年7月28日 (曇)	18時31分~19時00分	22羽	
	19時01分~19時30分	51羽	計 73羽
8月25日 (曇)	18時00分~18時30分	81羽	
	18時31分~19時00分	13羽	計 94羽
9月27日 (晴)	17時31分~18時00分	173羽	計 173羽
10月25日 (晴)	17時01分~17時30分	192羽	計 192羽
11月26日 (曇)	16時31分~17時00分	245羽	計 245羽
12月26日 (曇)	16時31分~17時00分	32羽	
	17時01分~17時30分	95羽	
	富士銀行建物上部の銀行名の字枠看板	36羽	計 163羽

7月28日

罫入りした樹が全く変わってしまった。前月までは「めがねの梅谷」の前にあるヤマモモの樹に殆ど全ての個体が入っていたが、今日は「小田原屋ビル」の西側にある3本のクスノキにそれぞれ入った。従来までのヤマモモには1羽も入らなかった。

8月25日

9月27日 罫入りした樹は「小田原屋ビル」の西側にある3本のクスノキで、ヤマモモには1羽も入らなかった。

10月25日

主力は「小田原屋ビル」の西側にある3本のクスノキであるが、ヤマモモにも1部が入った(約25羽)。

11月26日

罫入りした樹が変わった。全部が「靴のさくら屋」前にある2本のカエデの樹に密集して罫をとった。三角広場にあるクスノキ、ヤマモモは全ての枝の刈り込みが行われ、年末商戦のためか全部に豆電球が張りめぐらされていて点灯されていた。

12月26日

前月ねぐら入りした「靴のさくら屋」前にある2本のカエデの樹には1羽も入らなかった。2ヶ所に分かれて罫をとった。①豆電球でイルミネーションをしたクスノキとヤマモモ、②富士銀行の建物上部の銀行名の字枠看板の枠の部分。クスノキやヤマモモの方は豆電球が点灯している中へは入らず、梢あたりの電球が取り付けられていない場所へ集中して入った。そこが狭いため一部が富士銀行側の字枠に行ったのではないかと思われる。この場所で富士銀行側の字枠は初記録である。

(2) 八王子市北野町西東京三菱北野ショップ(八王子8J)・調査無し

(3) 元信和通信機の北側の歩道街路樹(八王子3G、横山由美子調査)

「信和通信機」は更地になってしまったので名前を変えました。罫入りする数は増えて来て、セグロセキレイも加わりました。7月13日(18時50分～19時20分)には45羽(小雨の日で飛んで来ると飛び去るものが少なく比較的正確に数えられました。)この時まではチュビチーというハクセキレイの鳴き声だけでした。8月15日(18時45分～19時13分)夕方晴れて明るく、動きが活発だったため不正確ですが50以上が罫入りしたようです。そのうち姿と鳴き声からセグロセキレイが10程度以上加わったことが分かりました。なお罫になっている3本のエンジュは切られてしまうのではないかと心配です。

私の住まい近くにあるハクセキレイとセグロセキレイとの混合罫を紹介します。

場所：八王子市梶田町。

イトーヨーカドー八王子店東側歩道の街路樹(エンジュ)。去年4月に見つけた「元信和通信機北側街路樹」と同じ物ですが、信和通信機の社屋はなくなってしまい、現在更地となっています。

行き方：京王線狭間駅前の道を南へ直進し、T字路の信号をイトーヨーカドー側へ渡ってから歩道を左(東)に進み、次の十字路を渡った所の信号から数えて1,2,3番目のエンジュが罫です。道路の反対側(東京工業高等専門学校側)からの方が見やすいでしょう。

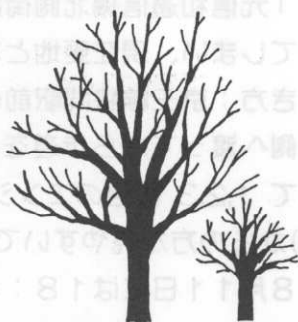
8月11日には18:44～19:00で84羽を数えることが出来ました。この中には鳴き声から判断して約14羽のセグロセキレイが含まれます。去年、そして7月6日に今年初めて罫入りを確認したときはハクセキレイだ



けでしたが、7月16日からセグロセキレイも来ています。7月中はハクセキレイのチュイーチーという鳴き声と、セグロセキレイの賑やかな囀りが盛んでしたが、8月に入ってからあまり賑やかな鳴き方はしなくなりました。セキレイは南側(湯殿川方向)から現れ、ハクセキレイはすぐに塀入りするか電線にとまったり工場跡地の地上に降りますが、セグロセキレイは5~10羽のグループで現れ、比較的高い位置を飛んで一旦電線にとまってからか、あるいはそのまま北へ飛び去り、また戻ってきて塀入りするようです。こうしたセグロセキレイのグループは3以上あるようです。塀入りの終わる時間は7月6日には19:20でしたが8月12日は19:00でした。日没時間に合わせて早くなっています。

(4) 川町セグロセキレイ (関根伸一、粕谷和夫、新田茂調査 拜島 2A)

99.11/23 100羽 昨年迄の桑畑は宅地化し約200m離れた別の桑畑に移動した。



## ヒメアマツバメの動向 (99年7月~12月)

取りまとめ：粕谷和夫

今期の動向は次の通りです。東浅川京王線高架下(八王子3G)、京王線高尾山口駅東側高架下(八王子1F)、浅川・浅川大橋下(八王子7K)は復活してないので、調査しなかった。東浅川小学校(八王子3G)は、1999年2月に復活が確認されたが、8月の調査では再確認出来なかった。

### (1) 京王線高尾駅西側ホーム高架下・八王子2G (川上恚調査担当)

8月18日・夕 使用中と思われる巣1個確認、2羽帰巣確認(17:50~18:45)

11月24日・夕 使用中と思われる巣1個確認、帰巣0羽(16:10~16:50)

12月4日・夕 使用中と思われる巣1個確認、帰巣0羽(16:15~17:00)

11月に帰巣が無かったので、12月に再調査したが、0羽、巣は一部が破損していた。巣の下部には糞の落下が無く、放棄したものと考えられる。

### (2) 八王子学園八王子高校体育館・高床の下・八王子5J

(川上恚、平井国二調査担当)

8月15日

・夕 使用中と思われる巣40個確認、約50羽帰巣確認(17:30~18:50)

11月14日

・夕 使用中と思われる巣45個確認、約60羽帰巣確認(16:00~16:55)

8月15日下部のコンクリート床に孵化直後の雛2羽が落下死亡していた。また、親鳥1羽が巣にぶら下がって死んでいた(釣りのテグス被害か?)。11月14日、の調査では8月の時より少し増加していた。

### (3) 東浅川小学校校舎(屋根裏)

8月18日・夕 使用中と思われる巣無し

### (4) 浅川・中央高速道橋下・拜島4A (福井司郎、福島弥四郎調査担当)

10月30日 ヒメアマツバメの巣の下に糞があり使用中と思われるが、数不明

### (5) 南大沢駅北・武蔵府中OD (木村信幸調査担当)

12月26日・朝(6:30~8:40)

使用中と思われる巣11巣確認、9羽飛び出し確認(7:04~8:22)

## カワセミ繁殖調査結果（大沢橋～川原宿大橋）

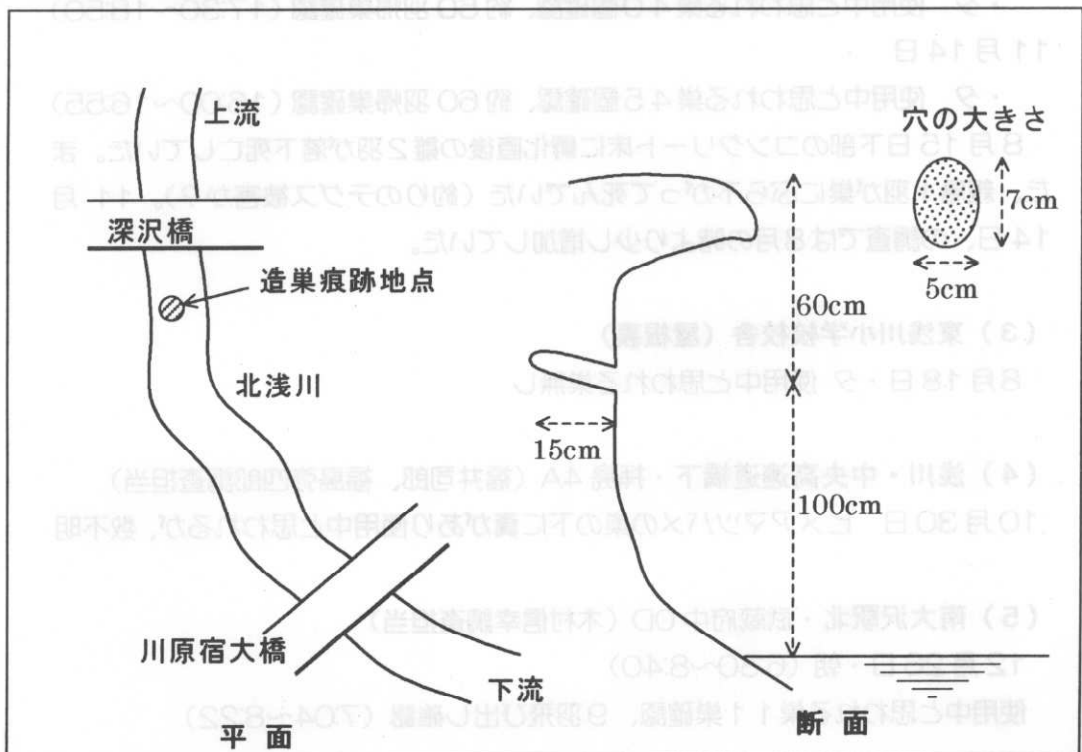
渡辺 仁

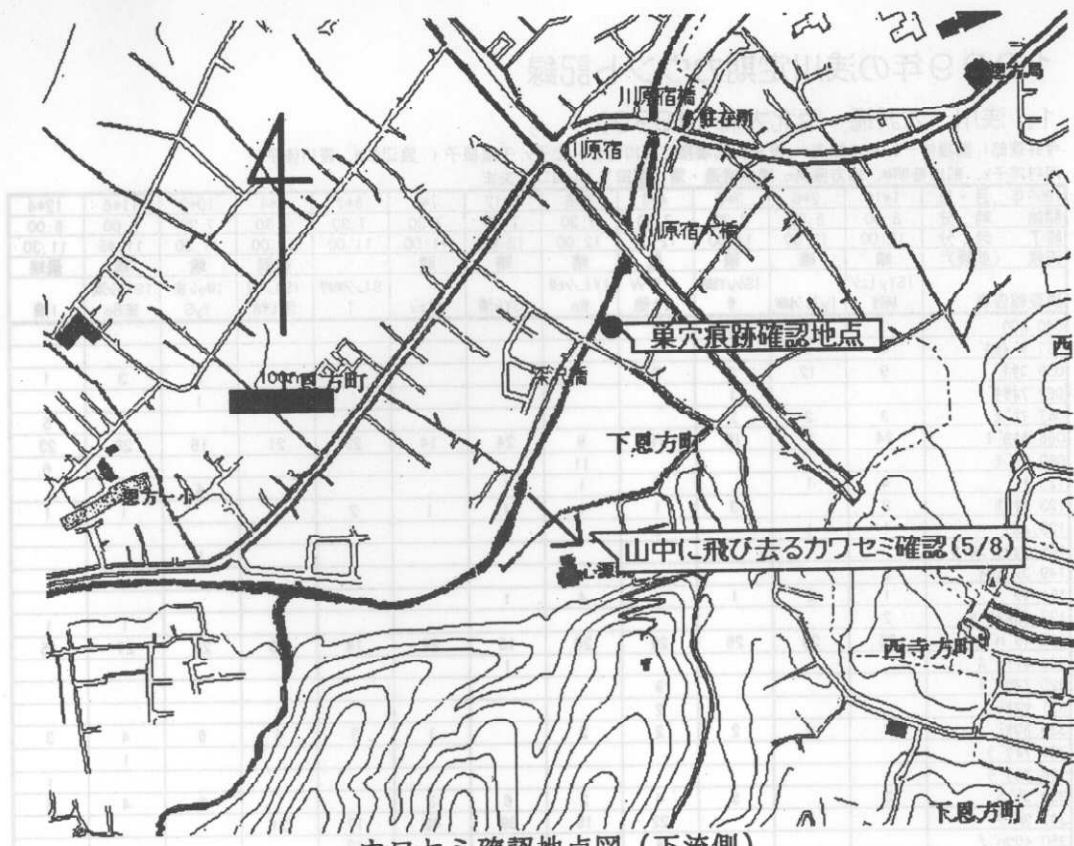
現地調査は、平成 11 年 5 月 8 日及び 7 月 25 日に調査区間を下流から上流に踏査する方法により実施しました。

- ① 5 月 8 日の調査では、8 時 30 分に北浅川深沢橋上流 100m の地点で北浅川右岸の心源院方向（河川から離れ山の方向）に飛び去る成鳥 1 個体を確認しました。
- ② 7 月 25 日の調査では、15 時 30 分に北浅川松竹橋上流 600m の地点で、巣立ち後間もないと思われる幼鳥 3 個体を確認しましたので、この区間のどこかで繁殖している可能性は高いと考えられます。

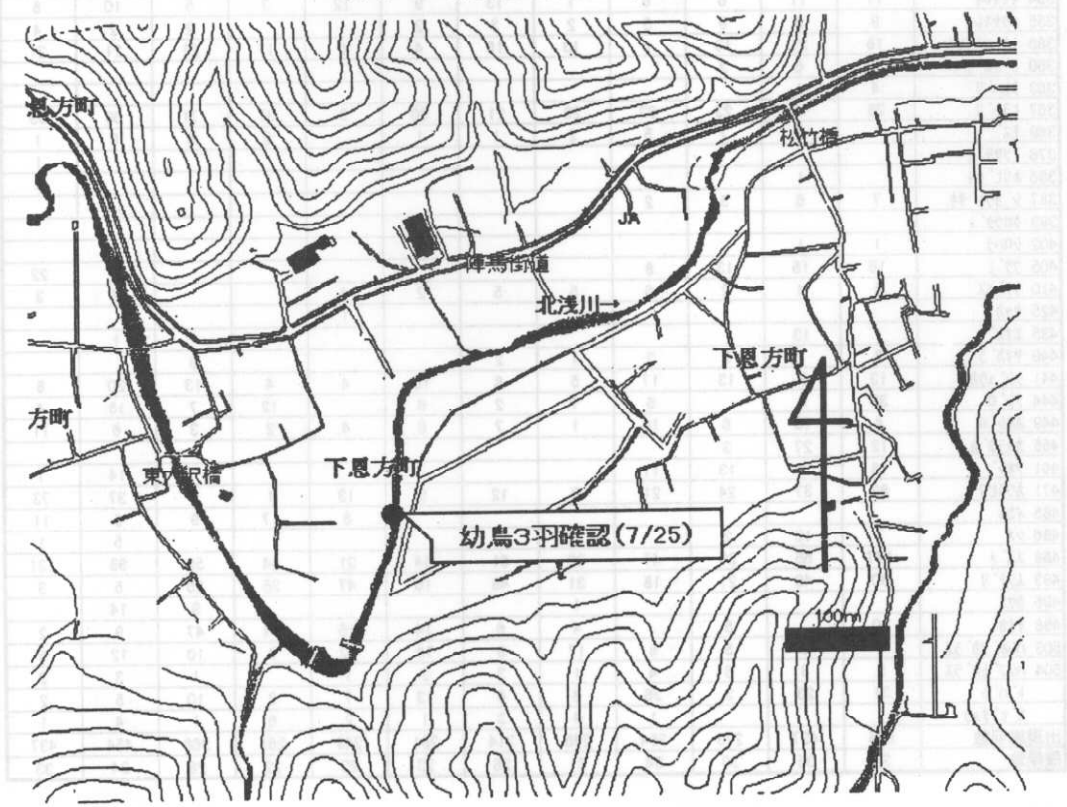
また、本年に繁殖した巣穴は発見することはできませんでしたが、カワセミが巣穴を途中（深さ 15cm）まで掘った痕跡 1 箇所を確認することができました。以上により、当該区間では、カワセミの繁殖については、ほぼ確実であると考えられます。

河川沿いの調査では、本年に繁殖に使用した巣穴は確認できませんでしたが、北浅川から離れた山中などで営巣している可能性もあると考えられます。





カワセミ確認地点図 (下流側)



カワセミ確認地点図 (上流側)

# 1999年の浅川定期カウント記録

## 1. 浅川・大沢橋～陵北大橋 (1999)

今井達郎I, 関根伸一S, 柚木謙夫Y・育子y, 馬場裕B, 白川司し・史子シ, 千葉慎子t, 渡辺仁W, 笹川佳子ワ  
河村洋子k, 前田善明M, 緒方直美o, 清水盛通・清, 富田T, 丸山二三夫ま

1999年 月・日	1*10	2*6	3*6	4*3	5*8	6*12	7*8	8*7	9*4	10*2	11*6	12*4
開始 時:分	8:00	8:00	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	8:00	8:00
終了 時:分	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	11:00	11:00	11:00	11:30	11:45	11:30
天候 (前後)	晴	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇雨	晴	晴	曇晴
調査報告者	ISyYしシ MW	lyしシMM	ISyYMM サ	I SW くt他	IYしシサ Wo	ISyシ清	IStシ	SしシMM T	ISしシYM 清tサW	IWoしま YyS	ISyYし清 まBo	I清
040 かウ	7	7	6	4								
057 タイキ	4	3	3									
059 コサキ	9	12	3	3	1					3	3	1
062 アサギ			1						1	1		
087 マコモ	3	2	2									5
088 カガモ	24	9	19	19	9	24	14	23	21	16	29	23
089 コガモ					11							6
120 トビ	4	1		3	1	1				4	2	
123 材効	3		3	1	1	1	1	2	1		1	1
129 ノスリ	1	1		3								
145 チョウゲンボウ										1		
149 コシユキ	3				1							
151 キン	1	2	1	4	4	1			1			
177 カルチドリ	2									1	1	1
296 キンバト	26	24	26	22	26	15	22	14	20	26	27	15
304 ホトギス						1						
320 アマツバメ				9								
321 ヤマセミ				2								
326 カケヒ	7	4	2	2	2		1	3	4	6	4	3
331 アゲラ											1	
336 アゲラ												1
339 コガラ	3		5	4	2	6	3			2	4	2
347 ツバメ				22	19	39	42	17	21			
350 イワツバメ				4				12				
354 キセキレイ	11	11	6	6	1	13	9	12	3	5	10	8
355 ハシロ	9	8	9	5	2	3	2	1		2	2	4
356 セウロセキレイ	18	21	13	6	13	16	4	6	11	21	21	21
360 ヒメドリ	3	6	3									
363 タヒバリ	4	1										
367 ヒヨドリ	28	18	23	33	28	21	30	9	31	71	60	53
369 モズ		2	7	5	2	1	1		2	5	9	1
376 ミサザイ												1
386 ムシクシ		1										5
387 ショウビクシ	7	6	3	2							15	
399 クロツグミ					1							
402 シロハラ	1	1										
405 ツグミ	16	15	13	8							1	22
410 ウグイス	5	4	2	6	5	5	2	4			7	3
425 セッカ								1				
435 イナガ	1	13									1	
440 ヤマガラ	2		2	2	1	2				3		
441 シシユウカラ	13	9	13	17	5	8	15	4	4	13	20	8
444 ヨシロ	39	5	6	7	2	6		12	7	18	4	
449 林シロ	4	15	6	10	1	7	6	4	2	3	6	11
455 カシラダカ	12	27	3									
461 アオジ	18	22	13	11							14	7
471 カワズク	82	37	24	21	9	12	5	13	1	7	37	73
485 イカル								8	17	9	5	11
486 シメ	7	13	2								5	1
488 スズメ	177	65	20	47	32	61	54	31	54	59	98	131
493 ムクドリ	30	40	21	18	31	48	16	47	25	25	5	3
496 カラス					1					9	14	
498 オナガ	30		5	4	6	14	16	14	14	47	9	2
503 ハシボトガラス	4	6	5	8	17	9	18	12	8	10	12	5
504 ハシボトガラス ドバト	5	3	6	4	1	3	2	1		1	3	2
ガビチョウ	31	23	3	36	6	6	13	7	2	10	5	2
ガビチョウ				1	4	3	1	2	6	1	4	1
出現総羽数	654	437	273	354	248	314	281	249	261	368	454	437
種類数	39	35	33	34	31	26	23	23	22	28	34	33



## 2. 浅川・陵北大橋～松枝橋 (1999)

河村道寛K・洋子k、油井孝明A、峯尾雄太M

1999年	月*日	1*10	2*7	3*6	4*17	5*23	6*19	7*17	8*15	9*26	10*26	11*21	12*11
開始	時;分	8:00	8:00	8:10	7:50	7:10	8:20	9:00	8:15	7:40	8:40	8:00	8:30
終了	時;分	11:30	11:15	11:00	10:30	9:30	11:30	11:30	10:30	10:20	12:00	11:00	11:40
天候	(前後)	晴	晴	晴	晴	晴	曇雨	曇	曇晴	晴	晴		晴
調査報告者		KkAM	Kk	Kk	Kk	K	Kk	k	Kk	k	k	Kk	Kk
005	カイツリ	1											3
040	カウ	13	4	5	3		1	1				1	3
052	ゴイキ						2				2	2	
057	ダイキ	6		2	1					1			
059	コサキ	11	6	15	5	1				6	2	5	2
062	アサキ	1		1	1			1	1				1
087	カモ	6									1		6
088	カカモ	46	38	40	18	23	53	3	9	17	24	29	36
089	カモ	35	2	2	6						9	6	1
120	ヒ	2	2	1			1	1				1	1
123	オカ		1										
126	ハイカ										1		
129	ノリ	1	1		1						1		
145	チョウゲンボウ	1							2				
149	コシユカイ		1	1	2	3	2			1	1	2	1
151	サシ	2	1	1	7	5	6	3	1	4		1	
176	コトトリ						2						
177	カサトリ		3			3					3	1	5
214	クサシ									1		1	1
217	キアシ					1							
218	ノシ	2		1						1		1	1
296	サシハト	15	20	16	14	15	16	14	9	11	8	15	36
319	ヒメアマツハメ			3									
326	カセミ	3		3	2		3	2	1	2	3	6	7
330	アリス			1									
339	コケラ	6	1	1	4	2	3	1	1		1	5	3
347	ツハメ				29	9	66	37	28	3			
350	ワツハメ					1	5	1					
354	キキレイ	6	5	3	2	2	5	3	3	3	3	9	7
355	ハウキレイ	13	9	11	4	1				1	7	6	11
356	セウロキレイ	19	16	21	16	13	27	12	8	11	19	22	23
363	クヒリ			4									2
367	ヒヨトリ	53	22	16	62	18	18	17	16	22	43	44	22
369	モス	11	13	1	11	4	8	1		9	13	7	4
387	シヨウヒキ	4	8	4							7	8	1
400	アハラ	1											
405	ツカミ	18	14	11	18							6	7
409	ヤブサメ						3						
410	ウグイス	6	8	2	4	2		3				7	2
416	オヨシキリ					1							
435	エナカ		16										
441	シシユカラ	50	29	5	4	7	22	6	15	5	9	39	51
444	シロ	7								1			
449	オシロ	45	75	71	27	8	13	17	11	11	28	8	43
455	カンラダカ	25	17	6							8	7	5
461	アサ	21	31	8	8						1	5	7
471	カラヒリ	55	34	10	53	3	28	6	2	4	31	152	181
485	イカル	6											
486	シメ	8	8	3	2							2	7
488	スズメ	234	98	71	135	130	59	83	96	109	83	79	254
493	ムクドリ	24	22	56	43	45	111	19	62	43	4	10	44
498	ナカ						4			3			
503	ハシボコガラス	5	12	31	27	21	6	14	12	4	14	12	7
504	ハシブトガラス	3	5	2	6	4	4	7	13	6	4	5	3
B	トハト	62	25	17		6	2	7	2	12	76	34	14
	カヒチヨウ				3	1	4	8		3	2	1	
出現総羽数		827	547	446	518	329	474	267	292	294	408	539	802
種類数		38	32	35	30	26	27	24	19	26	29	34	35

### 3. 浅川・松枝橋～鶴巻橋 (1999) (99er) 謝野浩一 謝大北 須川 龍之介

福井司郎F, 清水茂S, 福島弥四郎H, 吉沢弘Y, 和子y

1999年	月*日	1*10	2*14	3*27	未調	5*8	6*12	7*17	8*21	9*26	10*30	11*23	12*19
開始	時;分	8:00	8:00	8:00		7:30	7:30	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	8:00
終了	時;分	11:00	10:40	10:30		8:00	9:50	9:00	8:45	9:00	10:00	10:00	10:00
天候	(前後)	晴	晴	曇		曇	晴	曇	晴	曇	晴	曇	晴
調査報告者		HFS	HFYy	HFYy		HF	HFy	FH	HFy	HY	H	HF	HF
040	カカ	2	3	4			1	2	2	3	2	3	6
052	ゴイサキ					1							
054	サゴイ							1					
057	クイサキ			1						1	1	7	3
059	コサキ	4	3	1		1	1		2	6	2	2	17
062	アサキ												1
087	マカモ	8	7										3
088	カカモ	27	20	33		25	10	17	15	25	30	15	7
089	カカモ	36	55	35		3				8	25	48	54
093	ヒトリカモ	5	22									8	
095	ナカカモ		2										3
120	ヒ		2	1		1	1	2	1	2	2	2	2
123	ナカカ		1									1	
149	コジュクイ					1							
151	キジ	1				5	1	1	1	1	2		
177	カキドリ		1	2		1				1	2		
214	クサシキ	1										1	
217	キジシキ					3	1		5	5	4		
218	イソシキ	6	10	3		3	2	1	2	2	4	4	1
245	ユリカモメ												16
246	セウカモメ	1	1	1									2
296	キジバト	17	7	8		11	6	20	6	12	8	18	39
319	ヒメアマツバメ	2		4			8			3			
326	カワセミ	3	2	1		2	2	1	1	1	2		
339	コケラ	2					2				2	2	1
347	ツバメ			4		9	13	6	12	6			
350	イワツバメ			4		5	4	5	2				
354	キセキレイ	2	1	2			3	1	4	1	4	7	4
355	ハクセキレイ	6	4	2		3	1			2	5	3	7
356	セウロセキレイ	7	8	6		2	3	3	7	9	10	16	9
363	ヒバリ	3	7	1								3	2
367	ヒヨドリ	9	6	11		1	9	5	5	2	8	30	21
369	モズ	3	4				1				3	1	4
387	ジョウビトキ	2	4	1							4	3	2
405	ツグミ	10	7	15								12	9
410	ウグイス	2		2		5	1				1		2
416	オヨシキリ					2	3	3					
425	セッカ											3	
441	シジュウカラ	5	2	2		3	5	6	5		13	11	7
444	メジロ	5											
449	ホシヅメ	4	9	3		2	3	1			2	15	7
455	カシラダカ	5	7								2	2	5
461	アオジ		2									7	
471	カワラヒワ	63	10			5	7				15	360	50
486	シメ			2								2	
488	スズメ	100	50	50		100	50	100	200	300	150	300	200
493	ムクドリ	20	26	41		16	19	10	15	125	15	51	19
498	ナカ							4	3		7		
503	ハシボコガラス	2	6	6		5	6	8	10	30	6	5	13
504	ハシボトガラス	3		4		2	2				5	9	
B	トバト	9	13	10		10	1	30	100	52	30	80	
出現総羽数		375	302	260		227	166	226	399	597	366	1031	516
種類数		33	31	30		27	28	20	21	22	30	32	30

# 4. 浅川・鶴巻橋～大和田橋 (1999)

倉本修K, 田中英吉T, 本島てるみm, 尾崎和子o

1999年 月*日	1*10	2*24	3*24	4*26	5*26	6*23	7*28	8*25	9*27	10*23	11*29	12*26
開始 時:分	8:00	7:20	7:00	6:35	6:20	6:20	6:00	6:35	7:00	7:00	7:20	7:45
終了 時:分	11:55	10:50	10:40	10:20	9:50	9:40	9:00	9:45	10:20	10:10	11:00	11:05
天候 (前後)	晴	曇雨	晴	曇	曇	曇	晴	晴	曇晴	晴	晴	晴
調査報告者	KTmo	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K
040 カウ	11	6	5	5	3	1	3	2	2	1	1	63
054 サゴイ						1			1			
057 ギイキ		1	1					1	1	2	1	21
059 コサキ	5	2	2	5	1	2	3	9	7	11	9	26
062 オサキ								3				1
087 マカモ	3	2										
088 カカモ	131	88	83	41	43	44	54	24	84	54	55	58
089 カカモ	210	252	144	24	1				23	75	149	112
093 ヒトリカモ	64	21	26								17	29
095 オカカモ	141	71								5	45	82
120 ヒ	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	3
123 材効			1									
145 チョウゲンボウ					1	2						
151 キジ												
176 チドリ			2									
177 イカルドリ	5			2		2	1	1	1	1	1	3
217 キアシキ					3		1	3				
218 イソギ	1	1	1	3	1	2	3	1	2	1	2	1
245 ユリカモ	86											
246 セウロカモ	2	2	1								1	2
296 キンバト	16	26	21	18	21	19	21	19	18	13	12	16
319 ヒメアマツバメ		11	3		6			5				
320 アマツバメ				1							1	1
326 カワセミ	1	1	1									
339 コケラ	1					4						1
344 ヒバリ				1							1	1
347 ツバメ			1	16	21	25	21	11				
350 イツバメ			2	14	18	17	13					
354 キセキレイ	3	3	2	2	5	1	2		2	5	4	2
355 ハウセキレイ	25	21	18	9	6	5	12	9	11	17	25	24
356 セウロセキレイ	12	12	8	5	5	7	9	3	10	11	12	11
363 ヒバリ	5	3	4								8	2
367 ヒヨドリ	22	19	13	14	17	18	19	14	12	13	14	16
369 モズ	2	1	1						1	1	3	1
387 ショウビトキ	3		3							1	3	1
405 ツグミ	14	18	19	16							4	21
410 ウグイス												1
416 オオソバキ				1	7	4						
441 シンユウカラ	2	8	4	2	6	8	3	7	6	4	6	10
444 メジロ	2	1	2		1	2			4	3	5	6
449 村シロ	8	13	3	1		1	1	1		3	6	6
461 アオジ	7	10	2	1							2	3
471 カワラヒワ	81	4	11	7	7	8	12	2	2	38	44	48
486 シメ												1
488 スズメ	238	254	163	146	161	156	152	142	217	228	245	347
493 ムクドリ	72	62	45	33	43	52	42	65	86	8	36	56
498 オナガ		4	3	2	3	2	2	1	5	2		
503 ハシホソガラ	14	11	9	7	9	7	7	15	14	3	6	6
504 ハシブトガラ	4	6	5	9	5	4	2	2	2	2	2	4
アヒル				1								
ガチョウ					1							
B ドバト	338	246	217	188	183	179	176	223	276	282	253	247
出現総羽数	1531	1181	827	575	579	574	561	565	788	786	1009	1327
種類数	33	32	35	29	27	27	24	24	24	27	33	36

# 5. 浅川・大和田橋～長沼橋 (1999)

粕谷和夫K, 丸山二三夫M, 山崎悠一Y, 新村哲也N

(eee f) 新田大～新田大・川上

1999年 月*日	1*10	未調査	3*7	4*4	5*16	未調査	7*22	8*20	9*9	10*9	11*23	12*29
開始 時;分	8:00		8:00	8:00	8:50		7:35	6:15	7:00	7:15	8:00	8:30
終了 時;分	11:00		10:00	10:25	11:10		9:55	8:20	9:10	10:00	10:30	11:40
天候 (前後)	晴		曇	曇	雨曇		雨晴	晴	晴	晴	晴	晴
調査報告者	K		My	M	M		MN	MN	N	N	N	N
040 カワ	6		4	5	1		3	8	8	5		10
052 コイキ							1	2				
057 ダイキ	1						3		3	6	1	9
059 コキ	3			4	4		1	8	4	4	2	5
062 アサキ	3				1		7	9	4	2	4	9
088 カカモ	45		52	45	16		16	16	1	12	7	11
089 コカモ	285		31	155						16	2	78
092 カヨシカモ			6									
093 ヒトリカモ	42		18	13							32	2
095 オカカモ	10											17
097 ハシヒロカモ	2		15	8								
120 ヒ				1					1	1		
123 オカ												2
141 ハクサ	1											
145 チョウゲンボウ				1								
151 キジ					1							
176 コトリ				3								
177 イカルトリ	5		2		2							2
217 キアシキ					2			2				
218 イソキ	5		2	1	4		1		4		1	4
230 タシキ			6	3								
245 ユリカモ	7										19	20
246 セグロカモ	1			2								
296 キジバト	20		6	6	8		14	6	4	5	10	8
339 コケラ							3					
347 ツバメ				23	56		21	14	4			
350 イワツバメ				12	38		15					
354 キセキレイ	4		2						1	3	3	5
355 ハクセキレイ	40		14	8	3		5	7	10	20	15	30
356 セグロセキレイ	25		11	5	1		2	5	3	3	18	18
363 タヒバリ	13		22	23							6	5
367 ヒトリ	62		7	17	5		8	8	2	85	10	11
369 モズ	1		1	1						4	1	2
387 ジョウビタキ	2		1									
402 シロハラ	1											
405 ツグミ	21		12	4								5
410 ウグイス	3											
416 オヨシキリ					2							
425 セッカ					3							
441 シジュウカラ	10			1	4		7			3	6	3
444 メジロ	4											3
449 材シロ	17		17		2						1	17
461 アオジ	25		2									1
471 カワラヒワ	22		13	1	5		10	5		13	102	18
486 シメ	1											
488 スズメ	125		68	47	60		42	44	26	30	81	90
493 ムクドリ	65		37	32	30		12	130	60	2	58	31
498 オカ	2		22				6	3	7	4	1	
503 ハシホノガラ	25		18	16	10		15	5	4	4	10	6
504 ハシブトガラ	60		10	11	1		2	6		7	7	5
B ドバト	25		13	13	18		9	60	10	10	75	8
出現総羽数	989		412	461	277		203	338	156	239	472	435
種類数	37		27	28	24		22	18	18	21	24	30



# 6.浅川・長沼橋～一番橋(1999)

(1999) 新合川橋～一番橋～川奥

山崎悠-Y・久美子y, 丸山二三夫M, 大室公子o, 嶋崎太郎S, 登坂久雄T, 春日健一郎K, 新村哲也N

1999年 月*日	1*10	2*6	3*6	4*3	5*16	6*12	7*20	8*7	9*4	10*2	11*3	12*11
開始 時:分	8:00	7:50	8:00	8:10	7:50	7:10	5:10	5:30	7:10	7:30	8:00	7:40
終了 時:分	11:30	11:15	11:40	11:40	11:45	9:50	7:50	9:00	11:30	10:30	11:55	10:50
天候 (前後)	晴	晴	晴	晴	曇雨	晴	晴	晴雨	曇雨	晴	晴	晴
調査報告者	YyMoSTKN	Yy	Yy	Yy	Yy	Yy	Yy	Yy	Yy	Yy	YyK	Yy
050 カヅアリ	3	2										
040 カウ	6	4			2	2	4	2	6		4	311
052 コイサキ			1	1		1	1	1				
052 ヲコイ						1		1	1			
057 ケイサキ	1	1	1	2			1	4	2	1	6	12
059 コサキ	6	4	1	3	1	1	1	4	16	24	13	224
062 アサキ	2	1	1			1			1		1	3
087 マカモ		1	1								2	1
088 カカモ	31	21	34	46	16	21	33	27	22	39	57	23
089 コカモ	172	226	207	223	2					32	32	115
093 ヒトリカモ	97	59	118	76						3	97	71
095 ナカカモ	25	83	72	4							1	10
097 ハシヒロカモ	22	27	54	6								6
115 ミコアサ		1										
120 トビ	1		2	1			1		2			
123 オサカ	1										1	
151 キジ	1			2	1	1	1			1		
178 コトリ				1		2						
177 イカドリ	19	8	3	2	4	2	7	12	4	1	6	1
196 ハマシキ	46	74	84	86	65						65	83
214 クサシキ	1											
217 キアシキ					23			7				
218 イシキ	5	3	2	10	5	5	2	4	4	3	4	3
230 シシキ		1										
245 ユリカモ	63										3	119
246 セウカモ	3	4	1	3							1	2
296 キジハト	6	5	5	5	20	7	14	9	13	8	5	10
304 ハトキス					1							
319 ヒメマカモ					6							
326 カサシ	2	3	1	1			1	1	2	1	2	2
339 コウラ	2											
344 ヒバリ				1	3							
347 ツバメ				36	23	15	32	29	7			
350 イワバメ					24	13	4					
354 キセキレイ	7	5	2	1		1	8		3	2	2	3
355 ハクセキレイ	15	16	14	11	8		8	1	10	4	12	11
356 セウセキレイ	11	15	15	14	5	9	12	11	8	6	8	8
363 ヒバリ	12	11	20	13							6	3
367 ヒトリ	14	6	5	26	10	13	11	14	7	26	21	15
369 エズ	3	2	1	2					3	5	4	1
387 ジョウビタキ	5	2		2							7	4
405 ヲミ	10	6	3	3								8
410 ヲグイ	1			1	1	1						1
416 オヨシキリ					2	1						
425 セウカ					6	1		1	1			
441 シンユウカラ	7	2	4	4	4	2	4	3	2	6	2	6
444 シロ	5	2		4								2
449 オジロ	25	22	23	2						3	2	16
455 カササギ				1								
461 オジ	13	10	2	5							2	2
464 オジユリン		1										
471 カラヒワ	15	11	7	12	7	27	11	24	17	6	28	17
486 シメ	2											
488 スズメ	130	53	85	90	50	106	60	80	140	95	190	185
493 ムクドリ	42	26	15	30	25	65	22	43	64	21	71	65
498 オナ							3		2			9
503 ハシラサギ	16	6	6	11	16	10	11	21	13	13	12	12
504 ハシラサギ	10	4				4	3		4	2	18	2
7ヒル				1		1						
マカモ	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1
B トハト	230	115	68	185	140	25	100	140	130	41	175	77
出現総羽数	1089	844	862	930	470	339	356	440	485	344	861	1444
種類数	43	39	34	41	27	28	26	23	27	24	34	38



7. 浅川・一番橋～多摩川合流(1999)

(e e e e) 調査員: 川野 弘

門口一雄k・裕子k, 青木繁昌A, 高橋稔T, 阿江範彦あ, 小塩菊子コ, 木村正子チ, 星野芙美子h, 藤本マ子f, 石橋公子I

1999 月*日	1*10	2*6	3*6	4*3	5*8	6*12	7*4	8*7	9*11	10*2	11*6	12*11
開始 時:分	8:00	7:00	7:00	7:00	6:10	6:00	6:00	6:00	6:00	6:30	6:40	7:00
終了 時:分	12:35	11:00	10:10	10:35	10:00	9:05	9:00	8:55	9:20	9:40	10:30	10:40
天候 (前後)	晴	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴曇	曇	晴	晴	晴
調査報告者	BbTtAhコf i	KA	KA	KkA	Kk	KA	KA	KA	KA	KA	KA	KA
005 カイツリ	1	3									1	
040 カワ	19	2	2	3		1	12	12	6	45	7	315
052 コイキ						1	1	5				
056 アサキ									1			
057 タイキ	3		1				2	18	3		5	5
059 コサキ	19	7	2	2	3	3	1	4	7	10	9	87
062 アサキ		2		1				2	4	2	3	4
069 クロキ	1											
087 マカモ	2	6	4	2								
088 カカモ	116	52	37	60	43	47	45	41	34	35	54	40
089 コカモ	299	144	201	214	2					14	60	71
093 ヒトリカモ	63	60	71	44							30	54
095 オカカモ	46	49	24	2	1						2	14
097 ハシロカモ	2											
115 ミコアサ		1										
120 ヒ	1	2	2			1	1	1	1	1		1
129 ノスリ	1	1										
145 チョウゲンボウ	1		1		1							
149 コシユキ			3	2		1		1		2	1	
151 キジ				1	4	3	4	1	2	1		2
176 コチドリ			1		2	1						
177 イカルドリ	29	15	4	2	5	7	8	7	5	11	7	9
183 ムナシロ								1	4			
196 ハマシキ					3							
214 クサシキ		1	1		1				3	2		
217 キアシキ					15			4				
218 イソシキ	12	6	1	10	15	8	4	3	14	9	3	4
230 シシキ	1		1	1					1			
245 ムカモ	27	1									4	125
246 セウロカモ	3	4	4									2
296 キジハト	90	10		7	12	10	14	16	19	18	10	37
314 アオハズク							1	4				
326 カサシ	10	3	2	1	2			1	3	4	3	2
339 コガラ	2	1				3	2	1		1	1	1
344 ヒナメ	2	2	6	7	4	6	7				1	1
347 ヲハメ				13	22	39	33	27	14	3		
349 コアカハメ							1	1	3			
350 イワハメ				1	5	4	7					
354 キセキレイ	7	1	2	1			2		6	2	1	2
355 ハクセキレイ	42	11	10	7	3	6	6	2	3	13	5	8
356 セウロセキレイ	27	12	3	4	5	9	4	6	13	10	10	18
360 ビンズイ	5											2
363 ヒナメ	19	13	21	21							5	
367 ヒトリ	59	57	5	14	16	13	9	10	4	50	18	15
369 モス	7	2	2							7	4	4
387 ショウビトキ	3	1	2	1							7	2
402 シロハラ	1											
405 ヲガミ	62	12	5	28							3	13
410 ヲガミ	3	1		5								1
416 オオヨシキリ						1						
425 セッカ					6	4	2	1				
440 ヤマガラ						1						
441 シジュウカラ	24	3	2	3	10	13	4	6	2	5	9	18
444 シジロ	18	6								2		1
449 ホシジロ	38	25	11	1	2	3	6	3			5	6
455 カシラガ	1											
461 アサヒ	10	3	1	4							6	7
464 オオジュリン	2	2										
471 カウチ	54	29	4	3	7	19	13	3	7	5	25	40
486 シ	3			1								1
488 スズメ	279	75	30	50	56	119	107	60	225	80	60	110
493 ムクドリ	90	56	30	22	47	40	15	17	208	27	23	30
498 オナガ	3			7			1	2	7	1	10	23
503 ハシロソガラ	46	14	10	14	8	10	20	13	19	17	11	10
504 ハシロトガラ	15	7	4	3	3	36		2	3	8	2	4
アヒル	1	1										
B トハト	240	57	29	35	34	20	91	47	40	30	80	120
出現総羽数	1809	786	539	597	337	429	425	322	661	415	485	1209
種類数	49	42	36	37	29	29	30	32	29	29	35	39

# 8. 川口川・川口橋～明治橋 (1999)

鈴木章七S、川戸恵一K、井手龍世I、杉森熊二す、ゆりス、栗原勝く・正江ク、  
福井司郎H、白川司し・史子フ、石井昇い・よし子イ

1999年 月*日	1*10	2*6	3*6	4*3	5*1	6*12	7*17	8*7	9*4	10*2	11*6	12*4
開始 時:分	8:00	8:00	7:05	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	8:00
終了 時:分	10:45	10:00	9:15	8:45	9:30	9:10	9:00	9:00	9:00	9:10	9:00	10:45
天候 (前後)	晴	晴	晴	晴	晴	晴	曇	晴	曇雨	曇晴	晴	晴
調査報告者	SKす く	SKIす スィイ	SKIく クすい イ	SKIス スィイ	SKIす スィイ	SKIす スィイ	SKIす スィイ	SKIす スィイ	SKIす スィイ	SXKい スィイ	SKIす スィイ	SKIす スィイ
040 カワ	14	4	5		1		1			1		
052 コイサキ	1						1	2	1			
057 タイサキ	2	3	3	1								
059 コサキ	7	16	21	7				9	7	9	7	4
062 アサキ	1		1									
087 マカモ												1
088 カカモ	67	48	62	80	12	24	49	68	49	62	67	84
089 コカモ	48	66	72	95	34					11	26	74
095 オカカモ					2							
120 トビ			1			2						
130 サハ												
149 コジュケイ		1				2						1
160 クイ												
218 イソギ									2	2		
296 キンバト	14	19	16	8	15	18	23	19	24	20	22	11
326 カサミ	2	3	2					6	6	6	2	1
331 アケラ	1		1									
339 コケラ	1	1			1	2	1	2		1		1
347 ツバメ				19	16	78	50	63				
354 キセキレイ	6	3	4	1		1		1	1	4	5	10
355 ハクセキレイ	11	16	12	7	3	8	5	3	12	9	26	24
356 セウロセキレイ	24	13	5	7	3	5	2	5	9	14	22	15
367 ヒヨドリ	20	17	10	25	15	27	22	24	7	34	26	27
369 モス	9	3	3		1		2			4	7	2
375 ミソサザイ	1											
387 ジョウビタビ	5	4	1								6	2
405 ツグミ	17	15	8	4								
410 ウグイス	1	1	2	6	2							2
441 シジュウカラ	5	3	2	3	4	8	1	1		2	4	2
444 シロ	3	1		1			1	1				2
449 材シロ	1						1					
461 アオジ	13	9	5	4					1		7	6
471 カラヒワ	5	2	8	4		8	4	36	1	1	3	9
485 イカル										1		
488 スズメ	50	55	50	80	63	85	40	75	80	150	90	200
493 ムクドリ	30	36	20	15	28	42	20	37		42	40	54
498 オカ	4	1	8		12	9	8	12		6	1	33
503 ハシホソガラ	10	17	17	6	17	12	13	10	9	19	10	13
504 ハソトガラ	1	3	6	1	2	2	2	3	4	8	2	8
アヒル	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2
マルカモ												1
ドバト	16	17	6	8	8	7	36	5	20	5	105	30
カビチョウ								1		1	1	
出現総羽数	392	379	353	384	241	341	283	385	236	414	481	619
種類数	32	28	28	22	20	19	21	22	18	24	22	27

9. 湯殿川・白旗橋～時田橋 (1999) 三宮恒男M、青木一男A

1999年 月*日	1*10	2*11	3*7	4*3	5*3	6*5	7*3	8*1	9*27	10*26	11*30	12*24
開始 時;分	8:00	7:30	7:00	6:45	7:45	6:10	11:05	8:05	8:00	8:00	8:30	8:30
終了 時;分	10:00	9:10	8:45	8:20	9:20	7:50	12:50	9:50	12:00	11:00	12:00	12:00
天候 (前後)	晴	曇雷	曇	曇	晴	晴	雨曇	雨曇	晴	晴	晴	晴
調査報告者	A	A	A	A	A	A	A	A	M	M	M	M
040 カワ	3	2	1	1	1			1				1
059 コサキ	1	4	3	1	1			1	2	3	1	2
088 カカモ	55	66	52	48	17	22	28	39	45	35	11	31
089 コガモ	118	98	95	127	47				43	93	82	64
095 オカガモ	79	51	15							17	26	33
097 ハシロガモ	5	4										2
120 トビ										1		
151 キジ				1	1	1	1					
177 カササギ				3	1							
218 イソシギ	1					1					1	1
245 ユリカモメ	1											
296 キジバト	16	10	7	5	9	12	8	4	4	6	3	6
326 カワセミ	1				1					1	1	
331 アオケラ								1				
339 コケラ								1				
347 ツバメ				4	6	11	18	8	4			
350 イワツバメ						4	4	3				
354 キセキレイ	2	2	2	1						1	2	2
355 ハウセキレイ	11	7	8	7	3	1	3	6	7	17	17	12
356 セウロセキレイ		7	5	3	4	3	5	1	6	9	5	7
360 ヒンズイ		1	1									
363 タビタリ	1	1	4						1			
367 ヒヨドリ	9	8	3	5	8	6	5	4	4	6	3	4
369 モス	1	1	1						2	1	1	
387 ジョウビタビ	2	1										
405 ツグミ	11	8	5	6								1
410 ウグイス			1		1	1	1					
441 シジュウカラ	10	3		6	3	4	5	4	1	1		1
444 メジロ		4			5	2	2				1	
449 林シロ	3		1		1							
455 カシラダカ			1									
461 アオジ	3	1	3	1								
471 カワラヒワ	2	6	1	2	2	2		2		5	2	25
488 スズメ	104	52	41	58	31	24	37	29	100	70	51	30
493 ムクドリ	28	21	14	33	14	34	26	8				4
498 オカ	13			10	6	8						
503 ハシホウガラ	9	7	6	5	3	2	2	2	13	15	12	8
504 ハシホウガラ	2	5	3	2	6	5	8	5				
B トハト	21	9	2	7	9	10	41	2	7	5	21	8
出現総羽数	512	379	275	336	180	153	194	121	239	286	240	242
種類数	27	25	24	22	23	19	16	18	14	17	17	19

# 10. 多摩川・滝山城跡下(1999)

(0001) 武田新合川流・川原

三好恒雄M、傍島令子s、井上典子i

1999年 月*日	1*23	2*23	3*27	4*28	5*29	7*1	7*27	8*31	9*27	10*26	11*26	12*28
開始時:分	晴	7:00	6:30	6:00	6:00	5:20	5:20	6:30	6:15	7:10	6:50	7:15
終了時:分	7:30	10:00	9:20	8:50	8:50	8:10	8:10	9:45	9:05	10:15	10:00	10:35
天候 (前後)	10:30	晴	曇	曇雨	曇晴	曇晴	晴	曇	曇晴	晴	晴	晴
調査報告者	M	Mei	M	M	M	M	M	M	M	M	M	M
005 カイツブリ	4	6	1	1	2			4	2	6	3	5
040 カウ	6	4	8	4	8			3	6	2	13	7
052 コイサキ						1	1					
054 サゴイ						1						
057 タイサキ	2	1	1		2			3	3	2	8	1
058 チウサキ							2					
059 コサキ	5	7	2		3	2	8	5	2	2	2	
062 アササキ	3	1	2	4	1	2	1	4	5	8	8	3
088 カカモ			4	4	8	4	15	14	4	6		
089 カモ			2	2						5		
120 ヒ		1	1		2	2	3		2			
123 オカカ			1		1		1	1	1			1
126 ハイカ			1									
129 ノリ		1								1		1
145 チウゲンボウ		1										
149 コシユキ	1		2	4	1	1	1	2		1	2	1
151 キジ	1		2	5	4	1	1			3	2	
176 コトドリ							1					
177 イカルドリ	4	1								1		2
214 クササキ										2	2	
218 イソサキ									1	1		
246 セウカサキ		1	1	1							1	1
296 キンハト	26	20	16	8	10	3	9	8	9	8	11	6
304 ホトトギス					1							
326 カワセミ						1		3	2	3		
331 アゲラ		1							1			
336 アゲラ	1									1	1	
339 コウラ	2	1	2	2		4	3	1	1	3	2	
347 ヲノメ					11	10	25	12	5			
349 コシアカハメ				2				20				
354 キセキレイ		1	1			2	1			6	2	3
355 ハクセキレイ	4	3	7	6	4	1	4	2	5	14	16	7
356 セウロセキレイ	14	3	8	3	7	4	13	11	11	22	21	12
363 ヒバリ	5	7	3							1	6	
367 ヒヨドリ	9	8	18	9	16	14	11	9	12	31	32	13
369 モス	3	3	1	2	1			2	6	5	3	3
387 シヨウリク	2									3	2	3
388 ヒトサキ		1										
400 アカハラ												1
402 シロハラ	1	1										
405 ヲノメ	13	7	77								26	15
409 ヤブサメ				1								
410 クグイ	2	1	6	6	5	4	5	1	1	2	2	2
416 オオヨシキリ				1	5	3						
425 ヒヨカ					1	1						
435 イナガ											8	2
441 シンユウカ	4	9	7	4	4	4	4	7	3	10	13	12
444 シジロ	4		7	2		2			1	5	4	
449 ホシジロ	38	31	18	21	12	15	11	9	4	8	22	26
455 カワサカ	4	5	5							2		16
461 アオジ	21	18	9	2						6	12	17
471 カワヒト	73	11	19	3	6	6		16	16	36	83	77
485 イカル									4	18	6	6
486 シ	1	1	2								12	17
488 スズメ	250	60	25	20	30		35	100	140	50	35	35
493 ムクドリ	17	8	12	31	3				7	35	13	88
496 カケス												1
498 オナガ												4
503 ヒメノカラス	33	26	13	33	35	11	30	32	27	22	31	11
504 ヒメノカラス	16	12	10	50	25	8	19	12	17	22	28	10
トハト									2			
カヒチヨウ	1		2	2	2	1	3	2	1	2	4	2
出現総羽数	570	262	296	233	210	112	211	283	301	355	436	411
種類数	32	33	35	28	28	27	26	25	30	37	34	34

11. 多摩川・浅川合流付近 (1999)

(0001) 不審湖山家・川原きよ子

阿江範彦A, 柚木鎮夫Y・育子

1999年 月*日	1*3	2*13	3*13	4*17	5*2	6*6	7:11	8*9	9*26	10*17	11*06	12*18
開始 時:分	8:00	7:10	8:00	8:05	8:30	6:20	11:00	6:00	6:00	7:30	10:00	7:45
終了 時:分	10:20	9:10	10:30	10:20	11:00	8:00	12:30	8:30	8:00	9:30	12:00	10:45
天候 (前後)	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇	晴	曇	晴曇	曇
調査報告者	A	Y	A	Yy	A	Y	A	Y	A	Y	A	Y
005 カイツブリ	1			3				5				3
040 カワ	23	17	3	10	1	7	1	5	5	5	7	73
052 ゴイサギ					1			3				
054 サコイ					1							
057 ゴイサギ	2	2		1				2		4	1	3
059 コサギ	20	2	2	1	1	1	2	8	2	4	7	15
062 アサギ	2	1	1	2				1	1		2	6
087 カモ		4	4									3
088 カモ		50	37	24	30	15	5	23	20	15	3	25
089 コガモ	12	30		34							7	20
092 オオソシガモ	2											6
093 ヒトリガモ	10			24								10
095 オオガモ	15											8
097 ハシロガモ				2								3
115 ミコアイサ												1
120 トビ	1	2	1	1		1				1	1	1
123 材木	1											1
129 ノスリ												1
145 チョウゲンボウ					1							
149 コシユキ					1			2				
151 キジ				3	2	1	2	2				
167 ハン					1						1	
177 トラドリ	7			4								
196 ハマシギ	70	5										
218 イソシギ	1		3	2	4		2	2	3	1		1
245 ユリカモメ	1											40
246 セウロカモメ	1	2								3		2
296 キジバト	40	30	15	6			10	2	17	3	30	14
302 カワウ						1						
326 カワセミ	1	1			2		2				1	
330 アリス											1	
339 コガラ			1					1	1			
344 ヒバリ			3		2	2						
347 ツバメ			30	6	3	8	10	8				
350 イワツバメ				20	10		6	2				
354 キセキレイ	2		5						1	2		2
355 ハウキキレイ	1	12	24	1	4		2	2	2	2	5	6
356 セウロキキレイ	2	2	5	5	6	1		2	6	4	5	3
363 ヒバリ	8	9	5								7	5
367 ヒヨドリ	16		42	65	2	5	5	6	7	24	30	20
369 モス				3	2	2				2		1
387 ジョウビタビ		2	1								1	2
405 ユカミ	25	12	14	18							4	14
410 ウグイス	2		1	3	1		1					2
416 オオソシギ					4	8	6					
425 セッカ				4	5	4	2	3				
435 エガ									10			
441 シシユウカラ	7	21	6	5	4	3	3	7	6		8	3
449 林シロ	13	35	30	15	7	7	10	12		5		18
455 カシラガカ												5
461 アサ	15	17	2	10							6	6
464 オオジュリン	1	1										
471 カラヒワ	50	35	15	6	3	1	7	2	5	10	130	125
485 イカル										6		
486 シメ		1		1								6
488 スズメ	27	42	7	20	10	25	20	15			20	10
493 ムクドリ	17	45	30	20	35	40	30	45	30		10	50
498 オカ		1		3	2		7		3		30	15
503 ハシロツガラ	5	20	32	20	7	7	13	2	7	14	12	30
504 ハシロツガラ		1	4	1	1	2						6
B トバト	3	30	5	3	3	15	10	3	15	7	20	8
出現総羽数	404	432	328	346	156	156	156	165	141	112	349	573
種類数	34	29	28	34	30	21	22	25	18	18	25	41



# 12. 小宮公園 (1999)

田中英吉T・清子t, 本島てるみt

1999年 月*日	1*2	2*23	4*1	4*30	5*26	7*2	7*29	8*30	9*20	10*21	12*1	12*29
開始 時;分	8:50	8:20	7:40	7:40	7:05	7:00	6:30	7:10	7:10	7:00	8:00	9:10
終了 時;分	11:20	11:20	10:10	9:50	9:10	8:50	8:15	9:00	9:00	9:10	11:00	11:30
天候 (前後)	晴	晴	曇	晴	曇	曇	曇晴	曇	晴	晴	曇	晴
調査報告者	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
087 マカモ	2										2	
088 カカモ			4	3	3						8	
149 コジユケイ			1		2		3	1				
151 キジ		2	3	3	3							
296 キジハト	4	5	3	10	7	6	2	1	1	2	3	4
331 アケラ					1							
336 アケラ												1
339 コケラ	3	6	3			1						
344 ヒバリ				1								
347 ツバメ				11	14	10	2	2				
355 ハウキチレイ	2	3									2	1
367 ヒヨドリ	20	8	14	14	14	14	7	2	5	16	7	26
369 モズ	2		1							2	1	1
386 ルビキ		1										
387 ジョウビキ	3	2									1	5
400 アカハラ		1									1	
402 シロハラ	2	1										
405 ツグミ	8	7	6								4	4
410 ウグイス												1
425 セッカ						1						
435 エガ	6	5										
440 ヤマガラ	8	2	5							8	14	5
441 シジュウカラ	11	26	11	13	4	2	2	2	13	7	7	7
444 メジロ	2	3	1									8
449 材シロ	2	4	5	1	1	2	1			2	1	
471 カラヒワ	12		2	1								1
486 シメ		1	2									1
488 スズメ	6	13	81	25	26	19	18	380	13	89	16	6
493 ムクドリ	2	12	5	22	7	3	1	2	20	15	13	27
496 カス												3
498 オカ					2							
503 ハシホトガラ	1	5	3	12	7	23	29	11	7	7	1	1
504 ハシブトガラ	5	4	6	4	3	3	7	7	6	8	8	10
トハト						15						
出現総羽数	101	111	156	120	94	99	72	408	65	156	89	113
種類数	19	20	18	13	14	12	10	9	7	10	16	19

## 13. 片倉城跡公園 (1999)

(eet) 園公宮心 .S1

小池一男K

1999 月*日	1*30	2*27	3*27	4*30	5*30	6*26	7*31	8*29	9*26	10*30	11*27	12*26
開始 時:分	7:00	8:00	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	8:00	8:00
終了 時:分	9:30	10:00	9:40	9:20	9:20	9:30	9:20	9:30	9:40	9:30	10:20	10:05
天候 (前後)	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴
調査報告者	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K
040 カウ			1									
059 コサキ	1	1	1							1		1
088 カガモ	7	10	10	8	6	6	10	18	11	14	27	19
089 コガモ	16	10	2							4	2	6
120 トビ											1	
130 サバ								1				
149 コジュケイ		3	2	1	2	2	1	1	1			
218 イソギ	1											
296 キジバト	5	8	7	9	6	5	9	8	8	6		7
304 ホトギス					1							
326 カサシ				1				1	1		1	
331 アオケラ	1	1	1	1	1							
339 コケラ		4	4	4	4	6	3	3	3	5	3	4
347 ツバメ			2	11	12	8	13	5				
354 キセキレイ		1				1				1		1
355 ハクセキレイ	2	3	1	2			4		1		1	1
356 セグロセキレイ	2	2	2	2	2	2	1		2	2	2	3
367 ヒヨドリ	18	18	22	38	33	33	34	30	34	47	50	41
369 モズ		1								4	1	1
386 ルビキ												1
387 シヨウビキ										3		
405 ツグミ	4	4	3								2	2
410 ウグイス	2			2	3	3					4	2
435 エカ	8	7	7					8		7	5	13
440 ヤマガラ	7	4			5	6		5	3	4	2	3
441 シジュウカラ	14	15	11	22	21	26	12	17	21	29	22	22
444 メジロ	7	9	7	11	7	14	13	15	27	16	21	22
449 材シロ											3	3
455 カシラダカ	2											
461 アオジ		6	6									
471 カワラヒワ		11	13	11	13	21	2					40
485 イカル										9		3
488 スズメ	45	50	41	50	85	67	55	50	71	65	45	48
493 ムクドリ	12	25	8	8	11	19	8		4	4	35	7
496 カラス										2		
498 オカ					4		2	5	7	3		
503 ハシホトギス	8	10	10	11	10	9	9	10	8	9	10	9
504 ハシボトギス	3	2	3	2	2	3	2	2	5		2	
トバト	45	27	40	6		16	51	45	42	36	68	55
ガチョウ						1						
出現総羽数	210	232	204	200	228	248	229	224	249	271	307	314
種類数	21	24	23	19	19	19	17	17	17	21	21	24

# 14. 長沼公園 (1999) (早稲田) 果樹調査課程・山崎あゆみ

馬場裕B・百合亜b、木村正子k

1999年 月*日	1*22	2*27	3*22	4*29	5*22	6*29	7*25	8*23	9*25	10*31	11*29	12*31
開始 時;分	8:45	8:00	8:00	8:10	8:20	8:10	8:20	8:00	8:35	8:30	9:30	9:00
終了 時;分	12:30	11:30	11:00	11:00	11:10	11:00	10:30	12:00	12:00	12:00	13:10	12:30
天候 (前後)	晴	晴	晴	曇	曇	曇	晴	曇	晴	曇晴	晴	曇
調査報告者	Bb	Bb	B	Bb	Bb	Bb	B	Bb	Bb	Bb	bk	Bb
088 加ガモ				2								
120 ビ										2		1
123 材効												1
125 ヲミ									1			
126 ハイ効			1									
145 フォウゲンホウ				1								2
149 コジユクイ	7	15	8	18	16	10	4		5	1	5	4
296 キジハト	13	10	2	19	10	4	1	13	21	9	11	15
331 アケラ	1	1	1	3		1	1	3	2	4		3
336 アケラ	4	1							2	1		1
339 コケラ	7	8	3	16	9	12	7	7	9	12	12	12
347 ツバメ				16	7	14	8	1				
350 イワツバメ							2					
354 キセキレイ		1	2	3	1		1	2		2		2
355 ハクセキレイ	1										2	
360 ヒンズイ		2									2	
367 ヒトリ	25	36	33	43	81	67	63	20	43	46	56	59
369 モス	2	2	1	1			1			6	1	
376 ミソサザイ											1	
386 ルビキ	8	6	2								12	6
387 ショウビ	1		2							4	5	1
402 シロハラ	8	4	1	1							2	4
405 ツグミ	10	11	2	1						1	2	30
409 ヤマメ				1	1							
410 ウグイス	7	4	5	16	10	13	8			7	14	9
424 キイダキ	3								2			
427 キビ				3							1	
430 材鳥				1								
434 シンコウチョウ									1			
435 イカ	23	11	7	6	9	22	6	12	16	56	44	31
438 コアラ										2	2	
439 ヒカラ										2	4	7
440 ヤマガラ	4	4		1	1			4	30	31	24	25
441 シジュウカラ	43	45	22	31	30	96	37	33	64	46	74	34
444 シロ	15	23	8	20	43	103	37	32	60	77	34	34
449 材シロ	2	13	14	11	6	6	5	1	5	6	7	7
455 カシラダカ	9		10							2	12	7
461 オソジ	14	17	7	3						9	18	21
471 カワヒバリ	3	7	13	12	8	14	4			3	17	9
483 ウツ		3	2									
485 イカル				4	2	1			5	5		26
486 シメ	2	2		3								4
488 スズメ	21	21	4	38	130	66	59	22	125	22	8	10
493 ムクドリ		6	2	7	23		2	1	5			1
496 カス	2	1							3	11	8	8
498 オカ						2	3	2				1
503 ハシホシガラ	3	3	6	3	4	7	6		2	4	4	3
504 ハシホシガラ	22	21	25	34	26	14	16	24	23	28	14	24
B トハト				5			1					
ガビチョウ					1				1			3
ソウシチョウ										10	12	
出現総羽数	260	278	183	323	418	452	273	177	425	410	407	405
種類数	27	27	25	30	20	17	22	15	21	29	28	33

# ひよどり山・野鳥調査結果(1999年)

場所: 八王子市・小宮公園隣り(拝島7A)、調査者: 大川征治・香

月*日	1*15	2*20	3*21	4*21	5*12	6*12	7*18	8*15	9*23	10*13	11*7	12*9
天気	曇	晴	曇	曇	晴	晴	曇	曇雨	晴	晴	曇	晴
開始時刻	9:00	10:20	9:35	9:10	9:10	10:30	7:30	9:20	10:00	9:45	10:30	9:30
終了時刻	12:00	14:10	12:00	12:00	11:10	12:00	11:30	11:00	12:00	11:30	12:00	13:00
調査者	0o	0o	0o	0o	0o	0o	0o	0o	0o	0o	0o	0o
57	ゲイキ										●	
88	カガモ			●								
120	トビ	●										
123	オカ								●			
145	チョウゲンボウ	●	●									
149	コシユケイ				●			●		●		
151	キジ		●	●	●	●				●	●	●
296	キジバト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
339	コケラ	●	●	●	●	●	●			●	●	●
344	ヒバリ		●	●	●	●	●					
347	ツバメ			●	●	●	●	●	●			
350	イワツバメ					●	●		●			
355	ハクセキレイ	●	●	●				●			●	
356	セグロセキレイ	●	●									●
367	ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
369	モス	●	●	●	●				●	●	●	●
387	シヨビタキ	●	●	●							●	●
396	トラツグミ	●										
402	シロハラ	●										
405	ツグミ	●	●	●	●							●
425	セッカ					●	●					
432	エゾビタキ								●			
433	コサビタキ								●			
435	エナガ	●			●							●
440	ヤマガラ	●	●							●		●
441	シヨウカラ	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●
444	メジロ	●	●	●	●	●				●	●	●
449	村シロ	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
455	カシラダカ	●	●	●								
461	アジ	●										
471	カワヒロ	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
485	イカル							●				
486	シメ	●	●	●							●	●
488	スズメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
490	コムドリ								●			
493	ムクドリ	●	●	●	●	●		●	●		●	●
498	オカ		●	●				●	●			●
503	ハシボソガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
504	ハシブトガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	トバト											●
	種類計	20	22	20	17	14	14	12	12	17	12	21

## 特記事項

3. 21 シメが約50、ツグミ約100、カシラダカ約50で群れになりはじめたもよう。
4. 21 1、ツグミがあちこちにまだかなりの数残っていた。  
2、渡りから帰って来た模様のヒヨドリの30羽位の群れが2群南から北へ通過していった。
6. 12 この地でセッカは珍しい。
9. 23 今日は大収穫でコムドリ13羽程とエゾビタキ、コサビタキをみました。  
実を食べては木内を移動していましたが、飛び出した群れもみました。  
シメの実は熟し始めのようなので、暫くいてくれそうです。
10. 13 嘴が細くやや長く白い眉斑胸白く腰が薄い茶足はオレンジ翼の先が黒、尾羽にははっきりしないが横縞がありすずめよりやや大きいスマートな鳥で図鑑をみるとシマセンニュウに似ていますが、自身ありません。  
赤い実のついたムクノ木(?)の梢近くで1羽、スズメの群れに混じって餌をとっていた。  
3分ほどで見えなくなった。確認できなかったのが残念です。
11. 7 シメが10数羽で盛んに飛び回っていた。
12. 9 1、ツグミが4~50羽の群で移動していた。  
2、オナガも30羽ぐらいの群で柿の実を食べていた。





# 谷地川下流域の探鳥記録

カウント区域：多摩川中央線鉄橋～谷地川新旭橋～多摩大橋下流通称ひょうたん池(カウント距離：約2.5km)

調査者：神谷古牧K, 柚木植夫Y・育子y, 青木繁昌A, 新田茂N, 渡辺仁W, 白川司S, 藤生F

カウント日	1/17	2/20	3/22	4/17	5/22	6/13	7/18	8/22	9/11	10/16	11/13	12/25
調査者	KY y	KANWY	KY y	KS	K	K	K	K	K	K	K	KF
開始時間	8:40	8:45	8:40	8:40	8:10	7:10	8:20	5:30	8:50	8:30	8:40	8:30
終了時間	11:20	11:20	10:30	11:30	10:20	9:30	10:00	7:30	10:30	10:50	11:00	11:30
天候	快晴	快晴	晴れ	晴れ	晴れ	快晴	薄曇	晴れ	薄曇	曇り	快晴	晴れ
気温	強い	微暖	寒い	暖かい	微暑	暑い	微暑	暑い	暑い	20度	19度	5度
風	強い	弱い	強風	微風	ない	微風	ない	ない	微風	ない	強北風	ない
アオサギ	2	1	1	2		1		1		2	2	4
アオジ	2	6	2	2								6
イカルチドリ	3					1					1	1
イソシギ						1					1	
イソヒヨドリ		1										
イワツバメ									1			
ウグイス	2	2		6	7	8	6	3				1
オオジュリン	1			1								
オオタカ	1	1					1				1	
オオバン	1	2								1	1	1
オオヨシキリ					14	11	2	3				
オカヨシガモ												
オナガ	3			15	3	10	3	1	4	14		24
カイツブリ	2	2	2	3	1	3	4	3	1	2	3	4
カシラダカ	5		3									4
カッコウ						1						
カルガモ	13	3	9	11	8	11	10	8	24	4	11	8
カワウ	5	8	5	7	1	1	3	3	1		1	8
カワセミ		1		2		1	2	1		3	2	1
カワラヒワ	9	7		3	1	4	1	6	3	7	44	68
キジ				6	6	9	1		2	4	1	
キジバト	14	18	3	4	5	3	3	8	7	7	4	14
キセキレイ	1	1	3									3
キンクロハジロ												1
ヨイサギ				1		1	2	2	1			1
コガモ	5	3	19	3						1	14	24
コゲラ	1			3	1	2	1	1	1	1		3
ヨサギ	6	4		2	1	2	1	17	4	1	2	19
コシアカツバメ									2			
コジュケイ							1	2	2			
ササゴイ						2	1					
シジュウカラ	11	23	9	15	7	14	2	8	9	19	5	13
シメ	1	3										2
ジョウビタキ	6	4	2								2	5
スズメ	45	73	23	25	23	31	32	41	110	170	35	70
セグロカモメ												1
セグロセキレイ	11	5	6	2	1			2	2	4	3	4
セッカ				2	5	6	2	2				
ダイサギ	3	3	1				1	7	2	5	2	6
タヒバリ	3	3	1									4
フェウギ								2				
チョウゲンボウ	1											
ツグミ	11	16	4	7							1	21
ツバメ			2	21	11	36	36	49	55	7		
トビ	3	2	1	1							2	2
ノスリ	1			1							1	
ハクセキレイ	5	7	3	1	1	2	4	1	1	1	8	7
ハシブトガラス	1	8	2	6	4	4	4	7	1	12	5	5
ハシボソガラス	8	11	5	6	2	2	2	9	2	29	2	5
バン	5	6	2	2	2	7	5	2		1	1	6
ヒドリガモ	20	11	4	3							13	18
ヒバリ			2	2		1						
ヒヨドリ	68	5	7	24	6	11	4	6	6	31	11	16
ベニスズメ	8											
ベニマシコ	2	3										
ホオジロ	22	49	10	5	3	5	9	6	1	9	5	30
マヒワ												1
ムクドリ	12	9	22	33	30	33	1	18	35	50	8	24
メジロ		2		1								2
モス	1	7	1	5				1	2	12		3
合計数	323	311	154	233	143	224	144	220	280	397	192	440
種類数	39	36	28	35	23	30	28	29	26	25	30	40

特記事項 (1999)

1. 17 ダム下の林でオオタカの物と思われる食痕を見つける。コサギであった。  
ノスリのゆったりとした飛翔がみられた。  
畑地では、残り野菜をついばむヒヨドリの大群(五十羽ぐらい)が見られた。  
一月三日の新春探鳥会で、姿を見せたベニスズメの群が、ほぼ同じところでゆっくりと観察できた。
2. 20 公式カウントとしては、初めてイソヒヨドリ(♀)を確認する。  
オオタカは、若鳥が二羽のハンボソガラスに追われ、下流へ飛び去った。  
かなりの上空で、チョウゲンボウとカラスが一对一の空中戦をする。  
チョウゲンボウは小柄なのに全く引けを取らないどころか、やや優勢であった。  
ホオジロは数を数えるのがいやになるほどいる。モズは繁殖期に近いのか、よく鳴いている。  
ここでは、気をつけて探せば、確実にベニマシコが見られる。
3. 22 北風が大変強く、双眼鏡を構えていても、風で立っている体が揺れて、視界が定まらないほどであった。  
本日は中央線田野鉄橋と、ひょうたん池でツバメが一羽ずつ確認できた。今季初認。
4. 17 数日前から、かなり暖かくなってきた。先月と打って変わり穏やかな日和だ。  
シメ、ジョウビタキ、タヒバリなどの冬鳥は居なかった。  
コゲラが葉桜になった桜の木でドラミングをしていた。  
オオジュリンの夏羽の雄が一羽観察できた。真っ黒な顔に白い首輪。翼は図鑑よりもかなり黒っぽく見えた。  
ゴイサギが久しぶりに見られた。カラスはボソ、ブトともに営巣を確認した。ブトの営巣は、珍しい。  
キジがよく鳴いていた。ノスリは右の初列風切羽がかなり傷ついていたが、ゆっくりと帆翔していた。
5. 22 今週半ばから、急に暖かくなり、初夏の様相を呈している。今回から三十分開始時間を繰り上げて実施した。  
猛禽類の出現が減っていて、今回は全く見られませんでした。
6. 13 気象庁の梅雨入り宣言が一週間ほど前にあったが、それ以来暑い日が続いている。  
ペアと思われるササゴイが谷地川の流れづたいに上流へ少しずつ移動していく。当地では、初認かも知れない。  
またこの付近ではこしばら前からカッコウが川の中州で鳴いている。ただし、姿はまだ見ていない。  
ひょうたん池ではパンが5羽の雛の子育て中だった。「真っ黒な毛糸玉」よりは、ずいぶん大きくなっている。  
釣り人の話によるとパンの雛がイタチに食われるのを目撃したことがあるという(今年の話ではなさそう)。
7. 18 二三日前まで、梅雨の終わらしい強い雨が降り続いて、川の水はずいぶん増水したが、やっと引き始めた  
ようだ。カワセミは谷地川と多摩川の合流点と、谷地川浄化施設で見ることが出来て、  
4.3km地点付近の、砂利業者が盛り上げた山で、明らかに使われた巣穴を発見した。  
一つは途中で掘るのをやめた穴だが、もう一つは、糞が転々と穴の中に落ちていて、奥深く続いている。  
浄化施設から多摩川の土手に出て、飛行場の東側にあるニセアカシヤの林の中に、オオタカの  
「シロ」がいた。多摩川でほとんど見なかったが、この辺りにハンティング場を変えていたのか。  
ひょうたん池では、カイツブリに二羽の雛が生まれていた。パンは四羽の雛が、立派な幼鳥になっている。  
親鳥の三分の二ぐらいの大きさだ。
8. 22 8月14日の豪雨の爪痕があちこちに残っている。会社を休むことが出来ないで、早朝カウントとなった。  
豪雨の後、何故か白いサギ類が多い。ダイサギ、コサギとも群を作っている。そのせいか、カウントとしては  
初めてチュウサギを確認した。谷地川と多摩川の合流部に一羽、浄化施設に一羽。ここで昨日も確認している。  
ここの左岸の電線に巣立ち直後と思われるツバメの幼鳥が4羽いて、内一羽の腰が真っ黄色になっている。  
ひょうたん池は豪雨の時は完全に川の一部となっていたが、ほぼ、元の状態になっている。  
パンの若鳥は見あたらない。カイツブリは二羽の幼鳥を育てている。大きさは親鳥と変わらないが、  
なかなか獲物を捕ってこない親鳥が水面二日ををすすびに、鳴き声をあげて、不満そうだ。  
ひょうたん池に出てきたゴイサギは若鳥。
9. 11 コシアカツバメは当地初認。ツバメが飛び交うそばを二羽が飛ぶ。ツバメは空高く群れて飛んでいる。  
渡りが近いせいだろうか。スズメも大きな群を作り始めている。  
モズは明らかに最初の冬を迎えようとしている。  
雄が、高鳴きをしている。高鳴きは9月6日頃から聞かれている。  
ひょうたん池は釣り堀化していて、パンの姿は見えない。また、猛禽類も姿を見せない。
10. 16 高い声で鳴くモズの姿はよく見られた。姿を見せてくれるのは、雄ばかりだ。  
人骨が見つかったというひょうたん池の下流側は、捜索のため、広い範囲の芦原が刈り取られている。  
そのおかげと言っては不謹慎だが、本池から離れた池で、オオパンを久しぶりに見ることが出来た。  
猛禽類は、全くその姿を見せない。スズメが群れて沢山居た。
11. 13 オオタカが久しぶりにいた。桜並木の前の中州に居たが、いつもの止まり木ではなく、数十m下った、  
林の中の比較的低い枝の中に見えお潜めていた。目が比較的赤く見えるので、雌かも知れない。  
胸の横斑は色が薄くて、腹に近くなると、全く無く、真っ白だ。遠目に見るとかなり白いが、「シロ」と  
名付けた個体とは違うようだ。ノスリはSRLの上空を旋回、トビも二羽と一緒に旋回していた。
12. 25 ウグイスは灌木の上で大きな声で地鳴きしていて、良く見えた。ゴイサギは谷地川と多摩川の合流部  
に、若鳥が居た。注意してみると、ホオジロではなく、カシラダカが見つかる。ひょうたん池には  
キンクロハジロの雛が一羽いた。またこの付近の灌木にマヒワが一羽いた。  
カウント終了後、谷地川上空をオオタカが下っていった。

## 飼鳥調査・市の鳥衆知度調査

事務局 門口一雄

八王子カワセミ会15周年記念の野鳥展では、八王子市の鳥オオルリと日野市の鳥カワセミについて企画し展示することに決定した。その資料の収集を目的に、飼鳥の実態調査及び市の鳥の衆知状況の調査を実施した。その概要を報告します。

### 1. 飼鳥（オオルリ）調査

野鳥展実行委員会は、企画展の内容をオオルリとカワセミの魅力と悲劇中心に展示することにした。昨今夏鳥の数が減っていると言われるが、オオルリはどうか。八王子の山地に渡って来て繁殖するのに障害は無いのか。色々出た意見の中の一つに密猟と飼鳥の問題が浮かび上がった。野鳥展では、オオルリが観賞用として飼われている実態を調査しアピールすることにした。

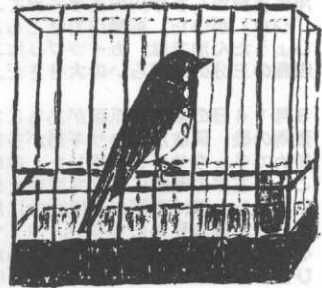
調査は、八王子市内の会員を中心に、八王子市の118の町を分担して、4月下旬から6月の間に実施した。街中を歩き回り、主として鳴き声によって確認する方法をとった。鳴き声による識別に自信のない会員は、オオルリと思われる鳴き声を聞いたら、後日他の会員に確認してもらうこととした。

#### 調査結果

飼鳥調査の参加者数	47人
調査した町の数	65町
確認したオオルリの飼鳥数	24羽

#### 参考

市内の山地で確認した 自然の中のオオルリの数	46羽
---------------------------	-----



(カット:三好恒雄)

### 2. 八王子市の鳥オオルリ・日野市の鳥カワセミの衆知度調査

八王子市民及び日野市民が自分の市の鳥を知っているかどうかを、両市の中央図書館利用者から聞き取り調査した。八王子市市域を今井達郎、川上 恚の両氏が、日野市市域は青木繁昌氏が担当して平成11年7月に図書館の出口で行った。結果は次のとおりです。

	調査数	知っている	知らない
八王子市	100	16人	84人
日野市	100	38人	62人

# 鳥信 (主として1999年7月~12月)

## 1. 冬鳥の初認 (注: 渡り鳥その年の初認、終認と思われる情報をお寄せ下さい)

089・コガモ	99.10/04	2羽	浅川・浅川大橋~水管橋	田中英吉	八王子7K
092・カシガモ	99.11/04	10羽	高月浄水場の池	神谷古牧	八王子6E
093・ヒトリガモ	99.10/12	1羽	谷地川鶴見橋付近	神谷古牧	立川0B
095・オカガモ	99.10.12	1羽	谷地川下田橋	神谷古牧	立川0B
245・ウリガモ	99.11/18	数羽	多摩川・中央線鉄橋付近	神谷古牧	立川1B
246・セグロガモ	99.12/02	1羽	多摩川・中央線鉄橋付近	神谷古牧	立川1B
387・ジョウビトビ	99.10/18	1羽	浅川・八王子第4中裏の電線	福島弥四郎	八王子5K
405・ツグミ	99.10/31	1羽	長沼公園・ひよどり沢	馬場裕・百	八王子9F
438・カウラ	99.11/01	2羽	長沼公園	馬場裕・百	八王子9F
455・カササギ	99.10/31	2羽	長沼公園・頂上園地	馬場裕・百	八王子9F
486・シメ	99.11/18	1羽	多摩川・谷地川合流付近、河原の木	神谷古牧	立川1B

## 2. 通過 (注: 旅鳥の通過情報をお寄せ下さい)

318・ハリマツバメ	99.10/02	2羽	小仏城山山頂	粕谷和夫他	与瀬7F
346・ショウドウツバメ	99.10/02	20羽	小仏城山山頂	粕谷和夫他	与瀬7F
349・コシアカツバメ	99.08/31	20羽	多摩川・滝山下(河原と滝ヶ原の上空を乱舞しながら下流方向に飛ぶ)	三好恒雄	拝島6E
388・ヒトジ	99.10/11	1羽	浅川・大和田橋上流河原の草の中	田中英吉	八王子7K
427・キジ	99.10/31	1羽	長沼公園・ひよどり沢	馬場裕・百	八王子9G
427・キジ	99.11/01	1羽	長沼公園	馬場裕・百	八王子9G
432・イソビ	99.10/02	1羽	小仏城山山頂	粕谷和夫他	与瀬7F
433・コサビ	99.10/02	1羽	小仏城山山頂	粕谷和夫他	与瀬7F

## 3. 希少種 (注: 希少種と思われる野鳥の観察情報をお寄せ下さい)

056・アマキ	99.09/10	18羽	浅川・長沼橋下流	木村正子	八王子9G
056・アマキ	99.09/11	1羽	浅川・高幡橋下	門口一雄他	武蔵府中2K
058・チュウキ	99.07/27	2羽	多摩川・滝ヶ原西端の田圃の畔にコサギ3羽といえる	三好恒雄	拝島6E
058・チュウキ	99.08/21	1羽	谷地川浄化施設ダム下・嘴、足共に黒いが、足は全体に白く粉を吹いたようになっていた。8/22も同所及び谷地川と多摩川の合流部で再認	神谷古牧	立川0C, 1B
081・ハクチョウ	99.12/18	7, 8羽	オハクチョウ又はコウハクチョウ・長沼公園の広場でオハクチョウを捜すため双眼鏡で北東の空を見ていると8羽(7羽だったかも知れない)の白い鳥の群が視野に飛び込んで来た。首を真っ直ぐに延ばし、優雅に、しかししっかりと懸命に飛翔していた。  翼の上面は白、下面も白いが尾羽の付け根側半分は影によるものらしく薄黒く見えた。豊田駅の方角から浅川上空を通過して西へ向かって飛んで行き、やがて網が丘住宅の屋根にさえぎられて見えなくなった。  その間は群になったり、V字になったり、直線状になったりして真っ直ぐ西へ向かって行った。高度は比較できるものがないためよくわからないが、付近の鉄塔やこの辺でいつも横田基地に向かう飛行機よりはるかに高かった。この間恐らく4分間位と感じている。	馬場百合亜	八王子9G
086・オトリ	99.08/15	1羽	川口川・原屋敷橋上流100m地点右岸増水中の水溜まりでカルガモ1羽とともに♀1羽、カルガモに時々追われるも傍らについて離れずいた	三好恒雄	八王子6A
086・オトリ	99.10/17	1羽	長池公園、♂1・イチョウ羽無し、池の中と地上(地上ではドングリを食べていた模様)警戒心強い。	粕谷和夫	武蔵府中1C
088・カガモ	99.08/07	1羽	白色個体・浅川一番橋下流右岸、6羽の親子群の中の1羽の幼鳥(大きさは親と同じ)、この付近を観察している高橋稔会員によると1ヶ月前には白い雛が2羽いたとのこと	青木繁昌、門口一雄	武蔵府中1J
088・カガモ	99.10/06	1羽	白化個体、谷地川日向橋・約10羽のカルガモに混ざる。嘴の特徴、体型などカルガモそのもの(写真あり)	神谷古牧	八王子9B
088・カガモ	99.10/07	1羽	脱色(白色)カルガモ・川口川咳守橋付近、他のカモ2羽と遊泳	三好恒雄	拝島6A

150・ヤマトリ	99.08/22	1羽	天合峰紙屋入	粕谷和夫他	拝島1C
160・ウイ	99.12/04	1羽	川口川・唐犬橋上流左岸100m	鈴木章七他	拝島3C
167・バン	99.11/06	1羽	多摩川・浅川合流付近のクリーンセンター前の湧水池、タデを食べていた。犬に替え草むらに姿を消す	阿江範彦	武蔵府中4K
298・アハト	99.07/17	声	高尾山・4号路吊り橋付近	粕谷和夫	八王子0F
298・アハト	99.07/20	声	天合峰谷戸の沖、同日天合峰松木入でも声	粕谷和夫他	拝島0C
298・アハト	99.08/08	1羽	高尾山4号路入口付近から北西の遠方木の上、フィールドスコープで視認	探鳥会	八王子0F
298・アハト	99.08/11	1羽	板当林道・1000m付近上空通過	粕谷和夫	与瀬9J
298・アハト	99.09/20	1羽	高尾・大平林道・声	川上憲	与瀬8E
298・アハト	99.10/02	声	小仏城山山頂	粕谷和夫	与瀬7F
321・ヤマヒミ	99.08/07	1羽	小仏川・駒木野病院付近	粕谷和夫	八王子1G
330・アリス	99.11/06	1羽	多摩川・浅川合流付近のクリーンセンター上流、ツグミに追われニセアカシアの木に止まる	阿江範彦	立川4A
330・アリス	99.11/15	1羽	多摩川・中央線鉄橋付近桜並木前、キッキッキッと鋭く続けて鳴く。全身灰褐色で、背中が灰色が濃く、畳んでいる翼は灰褐色に黒っぽい鱗模様、胸はやや薄茶っぽい灰褐色で鱗模様、尾に3本の黒っぽい横縞	神谷古牧	立川1B
330・アリス	99.11/29	1羽	谷地川河口・河川浄化手法実験施設内	丸山二三夫	立川0C
330・アリス	99.12/25	1羽	谷地川・左入橋上流側	新田茂	拝島7B
336・アケラ	99.09/25	2羽	長沼公園・網ヶ丘口（イカル5羽の先頭と少し遅れて飛来）、10/31も同公園霧降りの道で1羽	馬場裕・百合亜	八王子9F
336・アケラ	99.11/01	1羽	長沼公園	馬場裕・百合	八王子9G
336・アケラ	99.11/06	1羽	高尾山頂西側下	粕谷和夫	与瀬9E
336・アケラ	99.11/13	2羽	天合峰谷戸の沖	粕谷和夫他	拝島0C
336・アケラ	99.12/18	1羽	天合峰谷戸の沖	粕谷和夫他	拝島0C
336・アケラ	99.12/29	1羽	小宮公園	田中英吉	拝島7A
337・アケラ	99.12/29	2羽	小宮公園	中村美弥子	拝島7A
336・アケラ	99.12/31	1羽	長沼公園	馬場裕・百合	八王子9G
337・オアケラ	99.11/05	1羽	高尾山・3号路浄心門下、12/3も3号路で1羽	木村晴美他	八王子0F、0E 立川0C
347・ツバメ	99.08/22	1羽	谷地川浄化施設脇の電線に4羽のツバメ幼鳥がいて、その内の1羽の背中から腰にかけて真っ黄色になっていた。突然変異でしょうか？	神谷古牧	立川0C
349・コシアカツバメ	99.08/07	1羽	浅川・日野高校前、9/11も同所で3羽	門口一雄他	武蔵府中4K
349・コシアカツバメ	99.09/11	2羽	多摩川・多摩大橋下流、ツバメの群の近くで飛び交う	神谷古牧	立川0C
360・ヒンズイ	99.12/25	8羽	創価大学正門前雑木林斜面	新田茂	拝島6C
375・カガラス	99.07/04	1羽	醍醐川・龍神社付近	探鳥会	五日市5A
375・カガラス	99.07/08	1羽	北浅川・板当橋付近	粕谷和夫	与瀬9K
379・カクケリ	99.10/01	1羽	高尾山・6号路琵琶滝付近	木村晴美他	八王子1F
400・アハハ	99.12/28	1羽	多摩川・滝山下、滝ヶ原運動場テニスコート南側の滝山丘陵北斜面、地上でツグミ2羽と一緒に	三好恒雄	拝島6D
424・キウイタギ	99.09/25	2羽	長沼公園・霧降りの道柿の谷戸側	馬場裕・百合	八王子9G
424・キウイタギ	99.12/11	5羽	高尾山（4号路入り口付近2羽、4号路・いろはの道出合い付近2羽、薬王院裏1羽）	粕谷和夫	八王子0F
434・サンコウチョウ	99.06/07	1羽	恩方・板当林道入り口から約1100m地点、声	粕谷和夫	与瀬9J
434・サンコウチョウ	99.07/04	1羽	醍醐林道・琴の水付近、同日・盆堀林道入り口付近でも1羽視認	探鳥会	五日市6A
434・サンコウチョウ	99.08/26	1羽	長沼公園・松林にカラの混群（シジュウカラ、ヤマガラ、イガ、クゲラ、メジロ）と一緒にいた。姿は早だが、眼の周囲のコバルト色は見えない（八王子9G）。9/11も近くの南陽台榎山のコナラに1羽いた（武蔵府中0F）。	木村正子	八王子9G、 武蔵府中0F
434・サンコウチョウ	99.09/25	1羽	長沼公園・霧降りの道柿の谷戸側（♀1羽、キクイタダキ、ヤマガラ、メジロを含むカラの混群と一緒に観察。地鳴きしつつ、モミ樹冠に落ちつかず枝移りの後、数分で消えた）	馬場裕・百合亜	八王子9G
442・コシジュウカラ	99.11/05	2羽	高尾山・3号路浄心門下	木村晴美他	八王子0F
462・カシ	99.11/05	1羽	高尾山・3号路、12/3も6号路で1羽	木村晴美他	八王子
462・カシ	99.11/13	1羽	天合峰紙屋入	粕谷和夫他	八王子1C
462・カシ	99.12/11	1羽	高尾山・蛇滝上の登山道	粕谷和夫	八王子0F
470・トリ	99.12/30	6羽	多摩川・谷地川合流付近の桜並木、カワラヒワと	神谷古牧	立川1B



472・マヒ	99.12/04	10数羽	浅川・八王子市立第四中学校裏の河原	福島弥四郎	八王子5K
472・マヒ	99.12/25	6羽	多摩川・多摩大橋下流側右岸河原ひょうたん池、	神谷古牧	立川0C, 1B
481・ベニマシコ	99.11/05	1羽	み、谷地川・親旭橋下流グランド付近, 12/10谷地	神谷古牧	立川0B
483・ウ	99.12/18	2羽	高尾山・大平林道	川上憲	与瀬9E

#### 4. 猛禽類 (注:ワシタカ類やフクロウ類等の猛禽類の情報をお寄せ下さい)

123・材カ	99.07/18	1羽	多摩川・多摩大橋下流右岸河原ひょうたん池、成	神谷古牧	立川0C
123・材カ	99.07/20	1羽	天合峰松木入、幼鳥	粕谷和夫他	拝島0C
123・材カ	99.07/27	1羽	多摩川・成鳥♂昭島堰右岸広場の木の梢、8/31は	三好恒雄	拝島6E
123・材カ	99.08/07	1羽	北浅川・陵北大橋左岸の木に止まるもの	関根伸一他	拝島1B
123・材カ	99.08/07	1羽	北浅川・心源院南の1本松に止まるもの、9/4に	関根伸一他	八王子0K
123・材カ	99.08/15	1羽	も1羽 八王子市石川町自宅上空を北から南へ(立川	神谷古牧	立川0B, 3K
123・材カ	99.09/27	1羽	0B), 8/24中央高速道八王子BS付近の上空、北から	三好恒雄	拝島7E
123・材カ	99.11/06	1羽	南へ(立川3K) 多摩川・昭和堰下流200m右岸の林中から飛び出し	今井達郎他	八王子0K
123・材カ	99.11/13	1羽	滝山丘陵方面に一直線に飛翔、若鳥	神谷古牧	立川1B
123・材カ	99.11/17	1羽	北浅川・松竹公園上空	川上憲	与瀬8E
123・材カ	99.11/23	1羽	多摩川、谷地川合流付近の桜並木前中州	福島弥四郎	拝島4A
123・材カ	99.11/24	1羽	高尾山・一丁平から高尾山頂の方向へ上空旋回	神谷古牧	立川1C、拝
123・材カ	99.12/04	1羽	浅川・松枝橋~中央高速道橋、右岸河原の樹木の	神谷古牧	島7D
123・材カ	99.12/12	1羽	中、カラスに追われる	今井達郎他	八王子0K
123・材カ	99.12/28	1羽	多摩川・谷地川合流付近、時々羽ばたきながら	探鳥会	武蔵府中3K
123・材カ	99.12/29	2羽	上流方向へ飛翔、12/21も同所付近で、12/30は滝	三好恒雄	拝島7E
123・材カ	99.12/29	1羽	山下の水管橋付近で	新村哲也	八王子8J
123・材カ	99.12/29	1羽	北浅川・心源院裏の1本松に止まる	中村美弥子	拝島8C
123・材カ	99.12/31	1羽	浅川・ふれあい橋付近の河原	馬場裕・百	八王子9G
125・ツミ	99.09/03	1羽	多摩川・滝山下、水管橋上流200m位の所で昭島側	木村晴美他	八王子0E
125・ツミ	99.09/25	1羽	からカラス2羽にモビングされながら飛んで滝山	馬場裕・百	八王子9G
126・ハヤカ	99.10/01	1羽	方面へ飛翔	合垂	八王子0F
126・ハヤカ	99.10/26	1羽	浅川・大和田橋~長沼橋、コガモの群舞の中を突	木村晴美他	拝島2B
129・ノスリ	99.07/31	1羽	き抜け河原に降り20分位小鳥を狙う様子であっ	河村洋子	与瀬7F
129・ノスリ	99.10/01	1羽	たが、10m程の所のセキレイ類には見向きもせ	粕谷和夫	八王子0F
129・ノスリ	99.10/09	1羽	ず、700m程上流の木に移る。	木村晴美他	八王子1G
129・ノスリ	99.10/26	1羽	そこにはもう1羽おり、カラスが数羽しきりに威	粕谷和夫	拝島2B
129・ノスリ	99.10/26	1羽	嚇的な飛翔を繰り返していた。カラスを追い払	三好恒雄	拝島6E
129・ノスリ	99.11/13	1羽	うが如くタカもカラスを追跡するような動きを2~	神谷古牧	立川0C、立
129・ノスリ	99.11/13	2羽	3度行ったが、決定的な闘いを行うに至らず、そ	粕谷和夫他	川1C、拝島
129・ノスリ	99.12/12	1羽	の内に鋭い鳴き声を出して下流方面に去って行	木村晴美他	6F
129・ノスリ	99.12/28	1羽	った。 多摩川平の堰	探鳥会	八王子1C
130・サシバ	99.08/29	1羽	長沼公園	三好恒雄	八王子0E
131・マサカ	99.12/29	2羽	高尾山・6号路第1ベンチ付近	三好恒雄	武蔵府中4K
141・ハヤブサ	99.10/02	1羽	長沼公園・殿ヶ谷杉林(バツタ?をくわえて杉枝	三好恒雄	拝島6D
141・ハヤブサ	99.12/12	1羽	に佇むはヒヨドリと思い確認したもの、直後に斜	小池一男	八王子1G
			面林に枝移りしたのも視認	粕谷和夫他	与瀬7F
			高尾山・露台上空	粕谷和夫他	武蔵府中4K
			北浅川・天使病院対岸、カラスにモビングされて	探鳥会	八王子0E
			いた。オオタカと同じ模様で、カラスよりかなり	三好恒雄	八王子0F
			小さいが、ツミ程小さくない。カラスにモビング	粕谷和夫	八王子1G
			された後、カワラヒワを追いかけていた。	木村晴美他	与瀬7F
			小仏城山山頂西側の上空を旋回帆翔	粕谷和夫	八王子0F
			高尾山・露台上空	木村晴美他	八王子1G
			小仏川・駒木野病院付近	粕谷和夫	拝島2B
			北浅川・天使病院より50m上流	河村洋子	拝島6E
			多摩川滝山下・昭和堰から右岸200m下流の林の枝	三好恒雄	立川0C、立
			に停留していた	神谷古牧	川1C、拝島
			多摩川、谷地川合流付近, 12/28谷地川と多摩川合	粕谷和夫他	6F
			流部、12/30高月浄水場付近	木村晴美他	八王子1C
			天合峰・ゴルフ練習場西側上空	木村晴美他	八王子0E
			高尾山・6号路大山橋上空	探鳥会	武蔵府中4K
			浅川・多摩川合流付近	三好恒雄	拝島6D
			多摩川・滝山下、滝ヶ原運動場南側の滝山丘陵の	小池一男	八王子1G
			2ヶ所の木に止まる	粕谷和夫他	与瀬7F
			片倉城跡公園二の丸上空・北東から南西へ飛翔高	粕谷和夫他	武蔵府中4K
			度約700m渡りのはしりか?	探鳥会	
			恩方地方		
			小仏城山山頂		
			浅川・多摩川合流付近		

141・ハブサ	99.12/19	2羽	恩方地方	粕谷和夫他	
145・フヨウゲンボウ	99.07/28	1羽	浅川・浅川大橋付近、ホバーリングを繰り返す・ツバメ6羽が周りをつかず離れず飛び回る	倉本修	八王子7K
145・フヨウゲンボウ	99.08/15	2羽	北浅川・松枝住宅対岸1、東京天使病院対岸1	河村道寛・洋子	拝島3B、2C
145・フヨウゲンボウ	99.10/02	1羽	北浅川・大沢橋～陵北大橋、飛行中ホバーリング	今井達郎他	拝島1A
145・フヨウゲンボウ	99.11/14	1羽	浅川・平山橋下流平山中学校付近	探鳥会	武蔵府中1H
145・フヨウゲンボウ	99.12/02	1羽	高月浄水場内の桜に止まる。モズが数メートルの所にやって来て5分位激しく鳴き続けフヨウゲンボウを追い出す。12/9谷地川浄化施設上空を旋回、12/20も谷地川浄化施設上空を旋回	神谷古牧	拝島6E、立川0C
145・フヨウゲンボウ	99.12/12	1羽	浅川・ふれあい橋付近	探鳥会	武蔵府中3K
145・フヨウゲンボウ	99.12/31	1羽	長沼公園	馬場裕・百	八王子9G
314・アハスウ	99.07/28	家族	日野市石明神社・巢立ち(親2+子2)	小塩菊子	武蔵府中3K

### 5. シギ・チドリ類 (注: シギチドリ類の情報をお寄せ下さい)

183・ムナゲ	99.08/07	1羽	浅川・日野市民プール前、9/11浅川・新井橋上流200mで4羽	門口一雄他	武蔵府中2K、3K
183・ムナゲ	99.08/09	1羽	浅川・日野市民プール前	小塩菊子	武蔵府中2K
183・ムナゲ	99.08/19	4羽	浅川・ふれあい橋下流側	小塩菊子	武蔵府中3K
214・クサシ	99.09/11	3羽	浅川・日野高校前、10/2も同所で2羽	門口一雄他	武蔵府中4K
214・クサシ	99.09/26	1羽	北浅川・松枝住宅グランド下の川べり	河村洋子	拝島3B
214・クサシ	99.11/21	1羽	北浅川・松枝住宅グランド近くの水辺(イソシギと一緒にいた)、12/11も同所で1羽、探餌していた	河村道寛・洋子	拝島3B
218・クサシ	99.10/26	1羽	多摩川・滝山下水管橋下流200m浅瀬の中で探餌、11/26も同じ場所です2羽	三好恒雄	拝島7D
218・クサシ	99.11/23	1羽	浅川・松枝橋～中央高速道橋	福島弥四郎他	拝島4A

### 6. 託卵鳥 (託卵鳥の情報をお寄せ下さい)

304・ホトトギス	99.07/02	1羽	高尾山山頂付近	木村晴美他	与瀬9E
304・ホトトギス	99.07/04	声	盆堀林道の醍醐林道側	粕谷和夫他	五日市6B
304・ホトトギス	99.07/17	声	高尾山山頂西・江川杉林	粕谷和夫	与瀬9E
304・ホトトギス	99.07/21	1羽	高尾山・大平林道中程	川上憲	与瀬8E

### 7. 繁殖 (注: 野鳥の繁殖情報をお寄せ下さい。繁殖段階の区分は会報かわせみの夏号を参照下さい)

354・セキレイ	99.07/04	1番	醍醐川・龍蔵神社付近、親の餌運び	探鳥会	繁殖4①	五日市5A
430・材刈	99.07/21	1羽	高尾山・大平林道中程、♀1・虫をくわえて運ぶ	川上憲	繁殖4①	与瀬8E
167・バン	99.07/18	5羽	多摩川・右岸河原ひょうたん池、親1+幼鳥4	神谷古牧	繁殖4②	立川0C
441・ツシユウカ	99.07/17	1番	親子連れ(蛇滝入り口付近、ケーブルカー山上駅付近、何れも親2+子3)	粕谷和夫	繁殖4②	八王子0G、0F
449・材シロ	99.08/11	親子	板当林道1800m地点、巢立ち雛連れ親子	粕谷和夫	繁殖4②	与瀬8J
449・材シロ	99.08/11	親子	板当林道・1800m付近、巢立ち雛連れ	粕谷和夫	繁殖4②	与瀬8J
449・材シロ	99.10/01	親子	高尾山・6号路、親1+子3羽	木村晴美他	繁殖4②	八王子0E
471・カラビ	99.07/17	1組	川口川・川中新橋上流側の田圃、親1+巢立ち雛1	鈴木章七他	繁殖4②	拝島2C
493・ムナドリ	99.07.17	2組	川口川・駒形橋上流側の土手道、各組親+巢立ち雛2	鈴木章七他	繁殖4②	拝島3C
462・シロ	99.11	1番	城山手自宅庭・ヤマボウシに営巣	千葉慎子	繁殖4④⑤	八王子3J
326・カケミ	99.07/18	1番	多摩川・多摩大橋下流右岸河原、砂利取り業者が赤土系の残土を積み上げた山があって、その一部が垂直に削りとられた所、そこに巣穴が2つあって1つは営巣された。	神谷古牧	繁殖5⑥	立川0C
ガビフウ	99.07/08	5羽	北浅川・板当林道、5羽のうち3羽は巢立ち雛連れファミリー	粕谷和夫	繁殖4②	与瀬9K
ガビフウ	99.09/04	親子	陵北大橋～元木橋間右岸の藪に親子と思われる4羽	今井達郎他	繁殖4②	拝島1B

### 8. 集団時 (野鳥の集団時の情報をお寄せ下さい)

040・カウ	99.10/07	15羽	川口川・第九小学校前の電線に停留いて、道路に糞が多量に落ちている(18時 晴か?)	三好恒雄	拝島6A
059・コサ	99.10/07	6羽	川口川・中央高速橋東の右岸の林(中野清水公園西側)、17時頃・晴と思われる(以前北平会員が見つけた所)	三好恒雄	拝島5A

059・コサギ	99.12/12	集団	浅川・新井橋下流右岸の竹林、15時50分ムクドリ竹林の下流の電線、TVアンテナに200羽位止まっている。コサギ3羽。16時コサギ50羽上流より来て竹林のケヤキに止まりながら直ぐ竹林に入る。16時15分ムクドリの集団150羽位ケヤキに止まってから竹林に入るもの、電線からそのまま、	小塩菊子	武蔵府中3K
			竹林に入るものあり、コサギ15羽、ダイサギ2羽。コサギとムクドリが陣取りゲームのように旋回しながらギャーギャー大騒ぎして竹林に入る。16時30分殆どのムクドリ電線より竹林に入る、とても賑やか未だ薄明るい。17時暗くなりようやく静かになる。 竹林に入った合計：ムクドリ650羽位、コサギ70羽位、ダイサギ2羽、ムクドリは電線に止まってから、コサギがそのままねぐら入りした。		
347・ツバメ	99.07/19	数千～数万	多摩川・拝島橋下流の左岸アシ原、7/21、7/26、8/8の調査別掲	神谷古牧他	拝島8D
356・セグロセキレイ	99.11/23	100羽	集団増・川町桑畑（昨年迄の桑畑は宅地化し約200m離れた別の桑畑に移動した）	関根伸一、 粕谷和夫、 新田茂	拝島2A
493・ムクドリ	99.08/15	1000羽以上	八王子市石川町自宅上空を40～100羽の群が断続的に西から東へ向かう。合計1000羽以上	神谷古牧	立川0B
493・ムクドリ	99.12/02	1500羽	川口川・明治橋下流50m位の電線、16時30分頃、近くの瞬入り前の行動と思われる。	三好恒雄	拝島4C
493・ムクドリ	99.12/12	集団	浅川・新井橋下流右岸の竹林、コサギの項参照	小塩菊子	武蔵府中3K

### 9. 行動（野鳥の行動で「おやっ!」と思われる観察記録をお寄せ下さい）

059・コサギ	99.09～10	1羽	浅川・萩原橋付近（割り箸くらいの大きさのウナ	福島弥四郎	八王子6K
230・カサギ	99.10/16	1羽	天合峰谷戸の沖田圃・イノシシ出没後の水溜まり	粕谷和夫他	拝島0C
331・アゲハラ	99.12/25	1羽	御殿山・ヌルデの実を食べていた	門口一雄・ 裕子	八王子7E
504・ハシブトガラス	99.07/17	2羽	高尾山頂ビジターセンター横・ヤマビコ茶屋下、ガビチョウ親子を狙う	粕谷和夫	与瀬9E
ガビチョウ	99.07/27	3羽	多摩川・滝山下（水管橋下の滝山側で鳴き声、水管橋上流200mの滝山側林の中で2羽が鳴き交わしながら数を出入り）、8/31は滝山丘陵北斜面と右岸河原藪の中の2ヶ所で声、1羽はウグイスの囀りの真似をしていた	三好恒雄	拝島 6D, 7D, 7E

### 10. 事故（注：新たに野鳥の事故情報を掲載しますので、ガラス窓に衝突したというような情報をお寄せ下さい）

228・ヤシキリ	99.12/25	1羽	谷地川・勝手橋右岸勝手神社南側果樹園（加住1丁目）、防鳥網による犠牲（地上1.2mの所で死体）	新田茂	拝島6D
405・ツグミ	99.11/25	1羽	谷地川右岸勝手神社南側果樹園・八王子市加住町1丁目（防鳥網による被害、地上約40cmの所で死体）	新田茂	拝島6D

### 11. その他（カゴ抜け鳥や野鳥と関係ありそうな環境の指標的な動物の情報をお寄せ下さい）

イソ	99.09/04	1頭	川口川・駒形橋上流左岸草むら	鈴木章七他	拝島3C
イソ	99.08/22	出没跡	天合峰松木入の休耕田・田圃をかき回した跡	粕谷和夫他	拝島0C
イソ	99.09/04	出没跡	高尾山・小仏川沿い右岸登山道（上流に向かい蛇滝入り口手前、草の根元をひっくり返す）、同日蛇滝から上の登山道にも出没跡が多数	粕谷和夫	八王子 0G, 0F
イソ	99.10/11	出没後	板当林道（林道の草の部分をひっくり返す）	粕谷和夫	与瀬9K
イソ	99.10/16	ぬたば	天合峰松木入	粕谷和夫他	拝島0C
イソ	99.11/06	出没跡	高尾山（小仏川梅郷橋付近、蛇滝林道入り口付近、共に草の根をひっくり返した跡）	粕谷和夫	八王子 1G, 0F
ガカカ	99.07/04	声	北浅川・関場、当日・醍醐川の龍泉寺付近でも声	探鳥会	五日市 6A, 7A
ガカカ	99.08/08	声	高尾山口・案内川	探鳥会	八王子1F
ガカカ	99.10/01	1羽	高尾山・6号路琵琶滝付近	木村晴美他	八王子1F
ガビチョウ	99.05/11	6羽	恩方・板当林道、与瀬9Kで4羽、同8Jで2羽	粕谷和夫	与瀬9K, 8J
ガビチョウ	99.06/07	4羽	恩方・板当林道、与瀬9Kで3羽、同9Jで1羽	粕谷和夫	与瀬9K, 9J
ガビチョウ	99.07/02	1羽他	高尾山・6号路 8/6・6号路1羽、9/3・3号路1羽、10/1・3号路、6号路各1羽、11/5・3号路1羽、12/3・6号路2羽	木村晴美他	八王子0E

かびつよう	99.07/04	4羽	醍醐林道(龍泉寺、龍蔵神社、龍神淵、盆堀林道入り口)	探鳥会	五日市
かびつよう	99.07/17	8羽	北浅川・4ヶ所、8羽の内4羽は姿確認上巻分方小学校下流の林、東京天使病院、陵北大橋下流の歩道橋付近、東京新生病院前の木	河村洋子	4A, 5A, 6A 拝島2B, 3B
かびつよう	99.07/17	5羽	高尾山頂ビジターセンター横・ヤマビコ茶屋の下、親子(ハシトガラス2羽に狙われ、警戒音らしき声を発し、アオキの株の中に入った)	粕谷和夫	与瀬9E
かびつよう	99.07/17	声	高尾山口・京王線トンネル上	粕谷和夫	八王子1F
かびつよう	99.07/17	2羽	高尾山・4号路吊り橋付近	粕谷和夫	八王子0F
かびつよう	99.07/20	2羽	天合峰谷戸の沖、同日天合峰の松木入でも1羽、尾根でも1羽、紙屋入でも2羽	粕谷和夫他	拝島 0C, 1C, 1B
かびつよう	99.07/21	4羽	高尾山・大平林道中程	川上憲	与瀬8E
かびつよう	99.07/31	数羽	小仏峠東側登山道、あちこちで鳴いていた	粕谷和夫	与瀬7G
かびつよう	99.08/07	1羽	川口川・唐犬橋上流左岸の林	鈴木章七他	拝島3C
かびつよう	99.08/07	1羽	北浅川・陵北大橋上流100m、9/4にも陵北大橋下で1羽	関根伸一他	拝島1B
かびつよう	99.08/07	1羽	北浅川・松竹橋付近、9/4にも松竹橋下流200m付近に1羽	関根伸一他	八王子0K
かびつよう	99.08/07	1羽	小仏川・駒木野病院から約500m上流、姿確認、同日高尾山頂西側下でも1羽	粕谷和夫	与瀬9E
かびつよう	99.08/08	声	高尾山1号路入口付近	探鳥会	八王子1F
かびつよう	99.08/11	3羽	板当林道、0m, 400m, 1300m地点各1	粕谷和夫	与瀬9K, 9J
かびつよう	99.08/11	3羽	板当林道(入口付近、400m付近、1300m付近)	粕谷和夫	与瀬9K, 9J
かびつよう	99.08/22	5羽	天合峰谷戸の沖、同日天合峰松木入で10羽の群、紙屋入で2羽	粕谷和夫他	拝島0C
かびつよう	99.08/30	4羽	高尾山・大平林道に入って直ぐ南側の傾斜地内	川上憲	与瀬9E
かびつよう	99.09/04	5羽	高尾山(蛇滝下2羽、蛇滝上1羽、4号路といろはの道出会い付近1羽)	粕谷和夫	八王子0F
かびつよう	99.09/05	4羽	恩方・板当林道、与瀬9Kに1羽、同8Jに3羽	粕谷和夫	与瀬9K, 8J
かびつよう	99.09/05	4羽	板当林道(入口から300m付近1羽、1400m付近1羽、1700m付近2羽)	粕谷和夫	与瀬9K, 8J
かびつよう	99.09/18	声	城山湖	粕谷和夫	八王子2C
かびつよう	99.09/20	3羽	高尾・大平林道・林内	川上憲	与瀬8E
かびつよう	99.09/23	声	天合峰松木入	粕谷和夫他	拝島0C
かびつよう	99.09/25	1羽	長沼公園・展望園地北側の沢	馬場裕・百	武蔵府中1G
かびつよう	99.09/26	3羽	北浅川・陵北大橋付近、天使病院対岸、上巻分方小学校付近各1羽	河村洋子	拝島2B
かびつよう	99.10/02	1羽	川口川・唐犬橋～駒形橋右岸雑木林	鈴木章七他	拝島3C
かびつよう	99.10/02	1羽	北浅川・大沢橋～陵北大橋、声	今井達郎他	八王子0K
かびつよう	99.10/02	声	小仏城山山頂	粕谷和夫他	与瀬7F
かびつよう	99.10/09	4羽	高尾山(ケーブル山頂駅付近2羽、1号路入口付近2羽)	粕谷和夫	八王子 0F, 1F
かびつよう	99.10/11	5羽	板当林道(入口から500m付近3羽、1400m付近2羽)	粕谷和夫	与瀬9K, 8J
かびつよう	99.10/16	12羽	天合峰(谷戸の沖3羽、松木入4羽、尾根4羽、紙屋入1羽)	粕谷和夫他	拝島 0C, 1C, 1B
かびつよう	99.10/21	4羽	南高尾・大平林道中程の林内2ヶ所	川上憲	与瀬8E
かびつよう	99.10/26	2羽	北浅川・上巻分小学校裏の林1羽、陵北大橋50m下流左岸1羽、共に鳴き声	河村洋子	拝島2B
かびつよう	99.10/26	2羽	多摩川滝山下・右岸水管橋付近の藪の中と対岸の藪の中で同時に1羽づつ、11/26は右岸の水管橋と昭和堰の中間位の路端の藪の中で4羽が群れており、藪のツルに覆われた樹の中に入ったり出たりしていた。家族群のように見えた。12/28も11月と同じ場所で2羽確認	三好恒雄	拝島7E
かびつよう	99.11/03	8羽	恩方・板当林道、与瀬9Kに3羽、同9Jに1羽、同8Jに4羽	粕谷和夫	与瀬 9K, 9J, 8J
かびつよう	99.11/06	1羽	川口川・高尾橋上流100m左岸、声のみ	鈴木章七他	拝島4C
かびつよう	99.11/06	4羽	北浅川・深沢橋と松竹橋の間で水辺を次々に飛ぶ	今井達郎他	八王子0K
かびつよう	99.11/06	2羽	高尾山ケーブルカー山上駅西側下	粕谷和夫	八王子0F
かびつよう	99.11/13	4羽	天合峰(谷戸の沖2羽、松木入2羽)	粕谷和夫他	拝島0C
かびつよう	99.11/21	1羽	北浅川・東京天使病院対岸(鳴っていた)	河村道寛	拝島2B
かびつよう	99.12/04	1羽	北浅川・深沢橋と松竹橋の間の右岸(声)	今井達郎他	八王子0K
かびつよう	99.12/06	2羽	恩方・板当林道、1羽は入り口から700m地点、1羽は同1100m地点	粕谷和夫	与瀬9K, 9J
かびつよう	99.12/11	3羽	高尾山・蛇滝林道入り口付近	粕谷和夫	八王子0G
かびつよう	99.12/18	4羽	天合峰(谷戸の沖1羽、松木入1羽、尾根2羽)	粕谷和夫他	拝島0C, 1C
かびつよう	99.12/31	3羽	長沼公園	馬場裕・百	八王子9G
かびつよう	99.07/27	3羽	多摩川・滝山下(水管橋下の滝山側で鳴き声、水)	三好恒雄	拝島
かびつよう	99.07/08	5羽	北浅川・板当林道、5羽のうち3羽は巢立ち離連	粕谷和夫	与瀬9K
かびつよう	99.09/04	親子	陵北大橋～元木橋間右岸の藪に親子と思われる4	今井達郎他	拝島1B

ザル	99. 07/31	2 家族	小仏峠東側の登山道、1組は4頭のファミリーでミズ	粕谷和夫	与瀬7G
ザル	99. 08/01	10 数頭	美山町・山入川地蔵橋付近、道路に出てくる	粕谷和夫	五日市8D
ソウシチョウ	99. 10/31	10 羽	長沼公園・鎌田鳥山南東	馬場裕・百	八王子9F
ソウシチョウ	99. 11/01	10 羽	長沼公園・鎌田鳥山南東	馬場裕・百	八王子9F
ソウシチョウ	99. 11/29	12 羽	長沼公園	馬場百合	八王子9G
ソウシチョウ	99. 12/11	3 羽	城山手住宅地奥の御陵の林・濁った声でジュク・ジュク鳴く、せわしく動き回る、12/12も同じ場所 所で10数羽(オレンジ色の嘴、モスグリーンの頭、喉のオレンジがかった黄色、虫を啄んでいるよう で、数から出て来ない)	千葉慎子	八王子2J
ソウシチョウ	99. 12/18	20 羽	天合峰松木入・雑木林の中(群で盛んに飛び回る)	粕谷和夫他	拝島0C
ヤマカ'ラ密猟者	99. 09/05	1 名	板当林道・入口から最初の支流との合流付近(図のヤマカ'ラは籠の中、その上にとりもちの仕掛け、軽トラックから見張り)	粕谷和夫	与瀬9K
リス	99. 07/17	2 頭	高尾山4号路山頂手前・山道(地上)を横切る	粕谷和夫	与瀬9E
リス	99. 10/11	1 頭	板当林道・入口付近のオニグルミ	粕谷和夫	与瀬9K
リス	99. 11/06	1 頭	小仏川梅郷橋・杉の木	粕谷和夫	八王子1G
リス	99. 12/06	1 頭	恩方・板当林道、杉の木	粕谷和夫	与瀬8J





## 探鳥会の記録 (99.7~99.12)

取りまとめ：門ロー雄

### ○月例；醍醐川（関場～龍神淵）

日時；7月4日（日） 8:05～10:45 天気；晴

#### 確認した野鳥

ゴイサギ カルガモ キジバト コゲラ キセキレイ ヒヨドリ カワ  
ガラス ミソサザイ クロツグミ ヤブサメ ウグイス オオルリ サ  
ンコウチョウ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ  
カワラヒワ スズメ カケス ハシブトガラス ガビチョウ

（23種）

本日のベスト；オオルリ クロツグミ サンコウチョウ カワガラス  
鳥仲間

青木一男 井形定子 石橋公子 大川征治 大川香 粕谷和夫 川上恵  
佐伯直寛 白川司 鈴木章七 清水盛通 関根伸一 新村哲也  
平井国二 横山由美子 新田茂（16名）

#### 担当者の記録

うっとうしい梅雨空が続いた後、久し振りの晴天に大いに期待して  
出発したが、鳥の姿は少なく自然と歩く足も早くなった。思いがけず  
サンコウチョウの啼声を聞いてからはクロツグミ、カワガラスが囁り、  
頭上ではオオルリが続く。コース最後では又サンコウチョウの番が見  
られるといった幸運が続いた。（新田茂）

### ○富士山麓探鳥会

月日；7月10日（土）～11日（日）

#### 確認した野鳥

1日目；山麓（山中湖旭丘別荘地他） 午前中 天気；晴

トビ ノスリ キジバト カッコウ ホトトギス アオゲラ アカゲラ  
コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ セグロセキレイ ピンズ  
イ ヒヨドリ モズ ミソサザイ クロツグミ ウグイス キビタキ  
オオルリ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ  
メジロ ホオジロ カワラヒワ イカル スズメ ハシブトガラス  
センダイムシクイ（32種）

1日目午後～2日目早朝；富士山5合目 天気；晴

キジバト アマツバメ ピンズイ ルリビタキ ウグイス キクイタダ

キ コガラ ヒガラ ウソ ハシブトガラス ホシガラス メボソム  
シクイ ヨタカ カヤクグリ (14種)

2日目; 朝霧高原 午前中 天気; 曇時々小雨

アオサギ トビ キジ コチドリ キジバト カッコウ ヒメアマツ  
バメ アマツバメ ヒバリ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ クロツ  
グミ アカハラ ウグイス セッカ ホオシロ アオシ カウラヒワ  
イカル スズメ ムクドリ ホオアカ チゴモズ アカモズ  
(25種)

本日のベスト: ホシガラス ビンズイ アカモズ ホオアカ キクイタダキ  
鳥仲間

青木繁昌 青木一男 今井達郎 大川征治 大川香 粕谷和夫 倉本修  
嶋崎太郎 嶋崎 白川司 白川史子 鈴木章七 関根伸一 田中英吉  
馬場隆進 馬場啓子 平井国二 平井智恵子 丸山二三夫 三好恒雄  
山崎悠一 山崎久美子 加藤兼一 新村哲也 柚木鎮夫 門口一雄  
(26人)

#### 担当者の記録

山中湖畔旭丘別荘地の探鳥は、時期が遅かったためか期待外れであ  
った。予定していた北富士演習場も、演習中で取りやめ富士山5合目  
に向う。富士山5合目では、御中道を2km程歩いた。ハイキングのつ  
もりが、ビンズイ、ルリビタキ、アオシや高山植物が随所で観察でき  
満足した。特に、カラマツの梢で精一杯、コレデモカとさえするピン  
ズイに堪能した。宿舎の御庭荘の水場では、ルリビタキ、キクイタダ  
キ、ウソ等が次々と訪れ時を忘れる。5合目の朝夕は寒い。夕日に染  
まる赤富士と夕やみに鳴くヨタカの観察には防寒具が必要であった。

朝霧高原では、時折小雨が降る中の探鳥となった。ホオアカ、チゴ  
モズ、アカモズと期待した鳥が出て満足した。また、火山礫の中でコ  
チドリの番?を見つけ、こんな所でも繁殖するのかと驚いた。

(門口一雄)



○月例；高尾山早朝

日時；8月8日（日） 6:00～9:10 天気；晴

確認した野鳥

カルガモ キジバト アオバト ホトトギス アオゲラ コゲラ ツバメ  
イワツバメ キセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ クロツグミ ウ  
グイス ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒ  
ワ イカル スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス コジュケイ  
ドバト ガビチョウ（26種）

本日のベスト；イカル アオバト  
鳥仲間

青木繁昌 青木一男 井形定子 粕谷和夫 門口一雄 川上恚  
久保田ヤス子 佐伯直寛 白川司 杉森熊二 杉森ユリ 鈴木了一  
中田嘉一郎 新村哲也 新田茂 宮武三郎 三好恒雄 山崎悠一  
山崎久美子 横山由美子 今井波留美（21名）

担当者の記録

8月恒例の高尾山早朝探鳥会は、猛暑のなか1号路～4号路～山頂の  
コースで実施した。汗を拭きながらの探鳥だったが、リフト山上駅の  
横でイカルを身近で観察、さらに4号路のつり橋近くでは遠方だっ  
たが、朝日に映えるアオバトを全員がスコープでじっくり見ることが  
できた。（川上恚）

○三番瀬・谷津干潟シギ・チドリ探鳥会

月日；8月29日（日） 9:10～14:40 天気；晴

確認した野鳥

カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ チュウサギ アオサギ カルガモ  
シマアジ スズガモ トビ チョウゲンボウ バン コチドリ イソシ  
シロチドリ メダイチドリ ハマシギ キアシシギ ダイゼン キョウ  
ジョウシギ トウネン サルハマシギ オバシギ ミユビシギ エリマ  
キシギ キリアイ アオアシシギ ソリハシギ オオソリハシギ  
チュウシャクシギ ダイシャクシギ ホウロクシギ セイタカシギ  
ミヤコドリ アジサシ コアジサシ ウミネコ キジバト ツバメ ハク  
セキレイ ヒヨドリ セッカ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ  
ハシボソガラス ドバト（48種）

本日のベスト；サルハマシギ ミヤコドリ シマアジ エリマキシギ キ  
リアイ

## 鳥仲間

青木繁昌 石井昇 石井よし子 今井達郎 大川征治 大川香 小沢礼子  
小沢節子 粕谷和夫 川上恵 木村正子 倉本修 小塩菊子 佐伯直寛  
白川司 白川史子 関根伸一 高橋稔 千葉禎子 新田茂 平井国二  
平井智恵子 藤本ヤスコ 前田善明 山崎悠一 山崎久美子 柚木鎮夫  
柚木育子 横山由美子 門口一雄 (30名)

## 担当者の記録

陽射しが強く蒸し暑い中の探鳥会となった。三番瀬は、シギチドリ  
の渡りの真っ最中で、各地のバーダーが集まり賑やかである。ミヤコ  
ドリ、キリアイ、オバシギにエリマキシギと珍しい鳥のオンパレード  
に大満足した。谷津干潟に着いたのは正午前。サルハマシギ、シマア  
ジとここでも珍鳥が続出した。それにしても、三番瀬の埋め立ての計  
画は、7分の1に縮小し一部人口干潟にするというが、埋め立て着工  
後もこのようにたくさんの渡り鳥が来るのか気になる。(門口一雄)

## ○小櫃川河口シギ・チドリ探鳥会

月日；9月5日(日) 9:30~13:30 天気；晴、残暑厳しい

## 確認した野鳥

カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ トビ ミサゴ キジ  
ダイゼン トウネン アオアシシギ ミユビシギ シロチドリ キョウ  
ジョウシギ ハマシギ オグロシギ チュウシャクシギ ソリハシギ  
コシャクシギ タカブシギ キアシシギ イソシギ メダイチドリ ア  
ジサシ コアジサシ ウミネコ キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレ  
イモズ セッカ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ド  
バト (37種)

本日のベスト；アジサシ ミユビシギ オグロシギ

## 鳥仲間

今井達郎 大川征治 大川香 河村洋子 中駄嘉一郎 新田茂 平井国二  
平井智恵子 山崎悠一 山崎久美子 門口一雄 (11名)

## 担当者の記録

八王子駅集合が6時、そして2週続きのシギ・チドリ探鳥会のため  
か参加者が11名と少なく、家族的な探鳥会となった。今回は、木更津  
の一つ手前の巖根で下車し約20分歩いた。八王子を発って約3時間で  
小櫃川堤防に到着する。河口は干潮時で干潟が広がり水鳥は、はるか  
彼方に点在し識別がむづかしい。早目の昼食とし、松林の先で大型の

シギ、ウミネコを眺め潮が満のを待った。

やがて、干潟に踏み込んだ足に水が染み始め、波打ち際にのアジサシやシギ・チドリが潮に追いかけられるように飛び交い近付いて来る。心許無いリーダーに不平も言わず各自図鑑と合わせ、仲間と確認しながら望遠鏡を覗きまた図鑑をみる。アジサシとコアジサシ、ミユビシギとトウネン、アオアシシギとキアシシギ…比べ納得した。潮にせかされる様に金田海岸に辿り着き13時30分終了した。

(門口一雄)

#### ○平日探鳥会；海老名水田

月日；9月8日(水) 10:35～13:00 天気：晴

確認した野鳥

コサギ アマサギ カルガモ イカルチドリ タシギ キジバト ハクセキレイ セッカ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシブトガラス

(12種)

鳥仲間

今井達郎 大川征治 大川香 河村洋子 木村晴美 木村正子 小塩菊子  
鈴木了一 関根伸一 高橋節子 高橋稔 永見博子 新田茂 平井国二  
三好恒雄 柚木育子 川上恚 (17名)

担当者の記録

海老名水田探鳥会は、昨年計画するも台風のため中止となり、八王子カワセミ会では今回が初めてである。9:33八王子駅発茅ヶ崎行で出発、JR海老名駅下車、残暑が厳しいなか、海老名市役所前の休耕田で昼食・休憩をはさみ13:00までシギ・チドリを探したが、種類、個体数とも極めて少なかった。

昨年9月下見したときは、多数のシギ・チドリが飛来していたのに、今回は見られず残念だった。(川上恚)

#### ○月例；浅川(大和田橋～長沼橋)

月日；9月12日(日) 8:00～10:20 天気：晴

確認した野鳥

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ トビ イカルチドリ  
キアシシギ イソシギ キジバト カワセミ ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ セッカ  
シジュウカラ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラ



ス ハシブトガラス ドバト (27種)

本日のベスト; カワセミ アオサギ ダイサギ コサギ

鳥仲間

大川征治 粕谷和夫 門口一雄 川上恵 小塩菊子 佐伯直寛 杉森ユリ

鈴木了一 関根伸一 高橋稔 田中英吉 千葉模子 新村哲也 平井国二

平井智恵子 藤本ヤスコ 古山隆 三好恒雄 山崎悠一 山崎久美子

丸山京子 高橋和子 (22名)

担当者の記録

残暑が厳しいというが、今日の暑さは酷暑といっても言い過ぎでは無い気がした。11時30分までの予定を切り上げて早めに終わりにした。長沼橋からいつも見えたタシギの住処が先日の豪雨であとかたも無くなって、タダの石ころの河原になっていたのが悲しく思われた。

(田中英吉)

### ○小仏城山; サシバを送る

月日; 9月26日(日) 9:00~12:40 天気; 晴

確認した野鳥

ハチクマ トビ オオタカ ツミ ハイタカ サシバ キジバト ヒメアマツバメ アマツバメ ハリオアマツバメ コゲラ ツバメ コシアカツバメ ヒヨドリ エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ イカル カケス エソビタキ (22種) 番外、アサギマダラ3

本日のベスト; サシバ ハリオアマツバメ エソビタキ

鳥仲間

青木繁昌 石橋公子 大川征治 大川香 倉本修 嶋崎太郎 島津訓一

下重光正 鈴木了一 古山隆 丸山二三夫 柚木鎮夫 門口一雄

(13名)

担当者の記録

目当てのサシバの渡りは3羽と少なかったが、ハリオアマツバメ、アマツバメ、ハチクマ、エソビタキやアサギマダラなど南に向かう多くの渡りが観られ満足した。(門口一雄)

### ○月例; 多摩川滝山下

月日; 10月10日(日) 8:00~10:30 天気; 晴

確認した野鳥

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ オナガガ

モ トビ ハイタカ ノスリ キジ イカルチドリ クサシギ イソシギ  
キジバト アマツバメ カワセミ コゲラ ツバメ コシアカツバメ  
イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ  
モズ ノビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ イカル

スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト (27種)

本日のベスト；クサシギ モズ ノビタキ イカル

鳥仲間 (各SS) 千原野高 千原山成

青木繁昌 石橋公子 井手龍世 大川征治 大川香 小沢礼子 小沢節子

粕谷和夫 加藤六郎 神谷古牧 栗原友子 佐伯直寛 嶋崎太郎

中駄嘉一郎 平井国二 平井智恵子 平井牧 平井芳子 平沢和夫

三好恒雄 山浦秀雄 山崎悠一 山崎久美子 吉村孝次 吉村ヨネ

(25名)

担当者の記録 (吉英中田)

先般の豪雨で川相が変っていること。休日の為滝ヶ原運動場は野球、サッカーなどで人が多勢集まっていたこと。それでも里に下りたモズ、渡り途中のノビタキ、空にはワシ、タカ類など観ることができた。唯、この場所で冬場のカモ類が観られなくなったのは何故か、数年前までは7~8種類観察することが出来たのに。(三好恒雄)

#### ○月例；浅川(一番橋~長沼橋)

月日；11月14日 8:10~11:00 天気；晴

確認した野鳥

カウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヒド

リガモ オナガガモ トビ ノスリ チョウゲンボウ イカルチドリ

ハマシギ イソシギ タシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト

カワセミ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒ

ヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ ホオジロ アオジ

カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス ド

バト (37種)

本日のベスト；チョウゲンボウ ハマシギ タシギ カワセミ ジョウビ

タキ

鳥仲間 下山新川康幸；野見〇

秋山侑司 石橋公子 井手龍世 岩本嘉之 大川征治 大川香 粕谷和

川上恵 久保田ヤス子 小塩菊子 白川史子 杉田陽子 鈴木了一

関根伸一 高橋稔 高橋芳子 千葉楨子 永見博子 新村哲也 新田茂

浜田淳一 原田佳世 平井国二 平井智恵子 平井豊 平沢和夫 古山隆  
三富恒男 山浦秀雄 柚木鎮夫 柚木育子 門口裕子 門口一雄  
(会員33名、他に一般参加10名、計43名)  
担当者の記録

野鳥展会場で案内した市民の方々10名が参加され、総勢43名と賑やかな探鳥会になった。河原に出て直ぐ、水門近くのテトラポットの上で休んでいるハマシギ60数羽の大群を見つけ堪能した。カワセミ、チョウゲンボウにタシギと目当ての鳥は出たが、カモの仲間は少ない。(門口一雄)

### ○奥日光探鳥会

月日：11月20日(土)～21日(日) 天気：2日とも晴

確認した野鳥

カイツブリ アオサギ オシドリ マガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ  
ホシハジロ キンクロハジロ カワアイサ トビ ノスリ オオバン  
アオシギ アカゲラ オオアカゲラ コゲラ アオゲラ セグロセキレイ  
カワガラス ミソサザイ ツグミ キクイタダキ エナガ コガラ  
ヒガラ ゴジュウカラ キバシリ アトリ スズメ カケス ハシボソガラス  
ハシブトガラス (34種)

本日のベスト：アオシギ オオアカゲラ カワガラス キバシリ アトリ  
ゴジュウカラ

鳥仲間

今井達郎 大川征治 大川香 小沢礼子 関根伸一 鈴木章七 田中英吉  
千葉槇子 原田佳世 平井国二 平井智恵子 馬場裕 馬場百合亜  
丸山二三夫 三好恒雄 山崎悠一 山崎久美子 柚木鎮夫 柚木育子  
門口一雄 (20名)

探鳥コース

1日目：赤沼茶屋…(戦場ヶ原自然研究路)…青木橋…泉門池…小田代橋…小滝…湯滝一(バス)一金精道路入口…(湯ノ湖周遊路)…湯元

2日目：早朝；湯元、湯の湖周辺で探鳥

午前中；光徳牧場、1日目の戦場ヶ原自然研究路で探鳥  
担当者の記録

交通渋滞のため予定より1時間余遅れ12時前、奥日光に到着した。小春日和の中、木道と霜解けのぬかる道を湯川に沿って歩く。枯れ野

の戦場ヶ原は静かで、鳥の声が聞こえない。小滝の下にアオシギがいるとの情報に希望を託し進む。短く微かな地鳴きや動きに、耳を傾け、目を凝らし鳥を探す。ミズナラとカラマツの老木の間でオオアカゲラ、冬枯れの雑木林でキバシリ、ゴジュウカラ、水辺でカワガラスと数は少ないが参加者全員が心行くまで観察した。森の中の小滝に着く。情報を頼りにプロミナでシラミツブシに探し、水辺の倒木の枝の陰に潜むアオシギを見つけた。参加者全員が初見という珍鳥、図鑑と比べ、場所を変え、横から、正面から、上から観察し、胸や背中模様、尾のオレンジ、嘴のアオ色？を確認し合った。さらにアオシギは、水辺の泥の中に長い嘴を差し込みエサを取り、また水の中に進み出て足のアオ色（グレー）？を湯川の流に透かして見せるサービスまでしてくれた。

湯の湖では、キンクロハジロ、ホシハジロ……カモの仲間が浮かぶが、冬の山地は日暮れが早く確認は翌朝にする。奥日光の早朝6時半は寒い。霜や消え残った雪を踏み、源泉で地面に溜まった温水に、凍えた手を浸し温めながらの探鳥。ロッヂの前で小鳥を、湯の湖畔で水鳥を確認し、温泉神社前ではアトリの番いをジックリ観察した。光徳牧場から、前日の湯川に沿って戦場ヶ原へと進んだ。雑木林に囲まれた光徳牧場周辺では、上空にノスリが飛ぶが鳥は少ない。感動をもう一度と、昨日来た道に戻ったがアオシギ、オオアカゲラは探せない。カワガラスのぐぜりに聞き入り、人の気配に擦り寄るマガモを見ながらバスを待たせている赤沼入口に13時に着き探鳥の日程を終えた。

#### ○平日；北浅川（松枝住宅～小田野中央公園）

月日；12月7日（火） 9:00～12:00 天気；快晴

確認した野鳥

カイツブリ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ トビ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ クサシギ イソシギ セグロカモメ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト（37種）

本日のベスト；カワセミ クサシギ チョウゲンボウ

鳥仲間

今井達郎 川上恵 木村晴美 仲尾政幸 仲尾陽江 平井国二

平井智恵子 千葉模子 岩本嘉之 河村洋子 青木静子 (11名)

担当者の記録

風が強く気温が低いという天気予報がはずれ、暖かく穏やかな探鳥日和となり、山々の紅葉を楽しみながらのんびりと歩く。「カワセミの里コース」に恥じないほどカワセミが出現し、その美しさをみんなでたっぷり堪能。時間の都合で陵北大橋で鳥合せをし希望者のみ小田野公園へ。(河村洋子)

### ○公開；浅川（多摩川合流～ふれあい橋）

月日；12月12日(日) 8:00～11:00 天気；晴

確認した野鳥

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ トビ オオタカ ノスリ ハヤブサ チョウゲンボウ キジ イカルチドリ クサシギ イソシギ ユリカモメ キジバト カワセミ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト バリケン (42種)

本日のベスト；オオタカ カワセミ クサシギ モズ

鳥仲間

阿江範彦 井手龍世 今井達郎 大川征治 大川香 小笠原敏子

尾崎和子 春日健一郎 粕谷和夫 加藤六郎 川上恵 河村洋子

栗原友子 栗原勝 小塩菊子 佐伯直寛 清水盛道 白川史子

杉田陽子 鈴木章七 鈴木了一 関根伸一 高橋稔 田中英吉 新村哲也

平井国二 平井智恵子 松本正男 山崎悠一 門口一雄

(会員30名、他に一般参加13名、計43名)

担当者の記録

ノスリ、ハヤブサ、チョウゲンボウにオオタカとワシタカのオンパレード。そのせいかカモ類が少ない。合流部からふれあい橋までの間で確認したのは、カルガモ数羽だけの寂しさ。カワセミ、クサシギ3羽にモズの「はやにえ」作り等心行くまで観察できた。それに、車椅子の方が一般参加してくれたこともあり、充実した探鳥会であった。

(門口一雄)



## ○大晦日探鳥会；御岳山

日時；12月31日（金） 時間；8:25～14:40 天気；曇  
確認した野鳥

ゴイサギ コサギ トビ オオタカ キジバト アオグラ コグラ キセ  
キレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ミソサザイ ルリビタキ ショウ  
ビタキ シロハラ ツグミ ウグイス キクイタダキ エナガ コガラ  
ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ メジロ ホオジロ カ  
シラダカ アオジ カワラヒワ カケス ハシブトガラス ハシボソガ  
ラスカヤクグリ（32種）

本日のベスト；キクイタダキ カヤクグリ

鳥仲間

青木繁昌 今井達郎 井手龍世 岩本嘉之 小沢礼子 大川征治

粕谷和夫 嶋崎太郎 関根伸一 三好恒雄 山崎悠一 山崎久美子

新田茂（13名）

担当者の記録

曇がちの御岳山は寒かったが、ゴジュウカラ、コガラ、ヒガラ、エナガ  
キクイタダキ等の混群を間近に見られたしカヤクグリも3羽見ることが  
出来た。帰りは御岳渓谷遊歩道を駅迄歩きカワガラスを探したが出見え  
なかった。駅近くの蕎麦屋で年越蕎麦を食べ解散した。（新田茂）



小宮公園探鳥会(平成12年1月30日)

## 第12回定期総会開催される

平成12年1月10日（月）八王子労政会館で第12回定期総会が、56名の参加のもとに開催されました。

平成11年の事業報告、会計報告。そして平成12年の事業計画案、会計予算案が審議され、いずれも提案とおり可決されました。特に平成11年は、従来の探鳥会、各種調査の実施に加え、15周年事業として浅川流域探鳥図の発行、鷹の渡りの謎を探る集いや1週間に及び野鳥展が開催されました。

平成12年度の事業計画では、別紙の探鳥会を始めとし、定地・定点カウントや各種調査活動が予定されています。

新年度の幹事として従来の幹事に加え、15周年記念事業実行委員の中から、大川さん、倉本さん、丸山さんが加わり18名の幹事が選出されました。選出された幹事の方々は以下のとおりです。

人	(幹)	(監)	(m)	地区	代表
平成12年幹事（五十音順）					
阿江範彦	今井達郎	大川征治	粕谷和夫	門口一雄	川上憲
河村洋子	倉本修	下重正光	鈴木章七	田中栄吉	新田茂
古山隆	丸山二三男	三好恒雄	山崎久美子	山崎悠一	柚木育子
・会長	粕谷和夫				
・副会長	三好恒雄 今井達郎				
・業務分担	事務局長:門口一雄		会計長:山崎久美子		編集長:阿江範彦
・会計監査	平井国二				
3	23	457	3.3	昭飛合～昭内栗	川上憲
1	25	687	4.2	昭飛合～昭藤藤	川山紀
3	75	427	7.7	昭飛合～昭藤野好良	川田山
2	85	498	2.4	昭飛合～昭田山	川田山
2	22	290	2.3	昭田朝～昭鹿白	川嶋康
9	28	717	3.8	昭飛合～昭田朝	川嶋久洋
1	28	208	2.9	昭飛合～昭宮心	川嶋久洋
2	31	1325	3.2	昭人立～昭良良	川嶋久洋
3	32	714	4.1	昭飛合～昭人立	川嶋久洋
26	98	1325	7.7	計	合

また、当日の午前中予定されていた恒例の冬鳥一斉カウントは、雨天のため順延となり16日に実施しました。結果は、69種、13,655羽の野鳥を69名の参加のもと数え上げました。

昨年と比較して、種類数でマイナス2種、総数でプラス571羽となります。確認された種類数は、調査19個所の平均で32種。一番多くの種類が確認されたのは浅川下流の一番橋から万願寺歩道橋の間で45種でした。

1羽しか確認できなかった野鳥として、ツミ、ハイタカ、ノスリ、クサシギなど9種。昨年確認された、クロトキ、ハヤブサ、カモメ、ミソザザイは今年には確認されませんでした。

平成9年、渡りが遅れたと思われたツグミは152羽(10年236羽、9年83羽：浅川流域)と昨年に比べ少ない結果となりました。オオタカは8羽(昨年8羽)、カワセミは33羽(昨年35羽)でした。

各区域ごとの内訳は以下のとおりです。詳細は、25号で報告の予定です。

調査区域		延長 (Km)	総数 (羽)	種類数 (種)	参加者 (人)
北浅川	大沢橋～陵北大橋	3.3	539	39	8
	陵北大橋～松枝橋	2.7	772	35	2
浅川本流	松枝橋～鶴巻橋	2.1	516	34	2
	鶴巻橋～大和田橋	3.1	1,627	37	2
	大和田橋～長沼橋	2.7	597	33	1
	長沼橋～一番橋	3.5	1,220	38	3
	一番橋～ふれあい橋	2.1	1,099	45	5
	ふれあい橋～合流部	2.3	580	36	4
川口川	川口橋～明治橋	3.1	505	31	6
	明治橋～合流部	3.8	688	32	6
南浅川	案内橋～敷島橋	3.3	426	23	3
	敷島橋～合流部	4.2	687	25	1
城山川	月夜峰新橋～合流部	2.7	427	27	3
山田川	山田橋～合流部	4.5	498	28	2
湯殿川	白旗橋～時田橋	2.3	290	22	2
	時田橋～合流部	3.8	517	28	9
程久保川	小宮橋～合流部	2.9	298	28	1
谷地川	月見橋～左入橋	3.2	1,655	31	2
	左入橋～合流部	4.1	714	32	3
合 計		59.7 (Km)	13,655	69	65

平成12年度 探鳥会予定

月	日	探検会
1月	8(土)	多摩川[月例] 中央線陸橋>>多摩大橋
	10(土)	冬鳥一斉調査&総会
	30(日)	小宮公園[支援]
2月	13(日)	浅川[月例] 長沼橋>>大和田橋
	20(日)	南高尾
	23(水)	長沼公園
3月	2(木)	浅川 南平>>長沼橋
	12(日)	浅川[公開]ウォークラリー 滝合橋>>長沼橋
	25(土)~26(日)	軽井沢
4月	3(月)	葛西臨海公園
	9(日)	北浅川[月例]植樹&花見 松枝橋>>小田野中央公園
	22(土)	谷津干潟
	29(土)	今熊山
5月	14(日)	小下沢[公開]
	16(日)	高尾山
	20(土)	高尾山&四季の会[支援]
	27(土)~28(日)	戸隠
6月	4(日)	浅川[月例] 大和田橋>>鶴巻橋
	23(金)~25(日)	道東
7月	9(日)	醍醐川[月例] 関場>>龍神淵
8月	13(日)	高尾山[月例]
	27(日)	谷津干潟
9月	6(水)	東京港野鳥公園
	10(日)	浅川[月例] ふれあい橋>>一番橋
	30(土)~1(日)	白樺峠
10月	8(日)	多摩川[月例] 滝山下
	3(金)~5(日)	伊豆沼
11月	12(日)	浅川[月例] 鶴巻橋>>松枝橋
	19(日)	八王子城跡
	24(金)	北浅川 松枝住宅>>小田野中央公園
	3(日)	浅川流域冬鳥一斉調査
12月	10(日)	浅川[公開] 南平駅>>長沼橋
	31(日)	彩湖

上記の予定は、幹事会で具体的な内容を検討のうえ決定しますので変更もあり得ます。事前に連絡される事務局からの案内にご注意下さい。

## 八王子カワセミ会をめぐる動向（1999年）

### 1. 浅川流域の野鳥展の開催（15周年記念事業）

サブタイトルは八王子市の鳥「オオルリ」・日野市の鳥「カワセミ」で10月24日（日）～10月31日（日）、JR八王子駅前東急スクエアビル10階で開催、1,256名の入場者があった。記念絵はがきを作り 入場者に配った。

### 2. 浅川流域探鳥マップの作成（15周年記念事業）

浅川及びその周辺の代表的な探鳥地19ヶ所を選定し、探鳥マップを作成した。

### 3. 鷹の渡りの謎を探る集い開催（15周年記念事業）

6月13日、北野市民センターで八王子自治研究センターの支援を受け、サシバ渡り調査を行っている近隣のグループを招き、情報交換会を行った。13の個人と団体が集った。

### 4. 飼い鳥オオルリ調査（15周年記念事業）

4～6月に会員が在住町内を中心に八王子市内全域にわたり、籠の中に飼われているオオルリの調査をした。結果は野鳥展でパネル展示し市民に実態を訴えた。

### 5. 市の鳥周知度実態調査（15周年記念事業）

8月に八王子市、日野市の両市図書館利用者を対象に「市の鳥を知っていますか」という認知度について、インタビューによる調査を実施した。結果は野鳥展でパネル展示し市民に実態を訴えた。

### 6. 海外探鳥会の実施（15周年記念事業）

2月11日～14日、台湾探鳥会を実施した。

### 7. 八王子市環境フェスティバルに参加

6月6日、八王子市役所横の駐車場で開催、パネル・バードカーピング・写真を展示、ミニバードウォッチングの指導を行った。



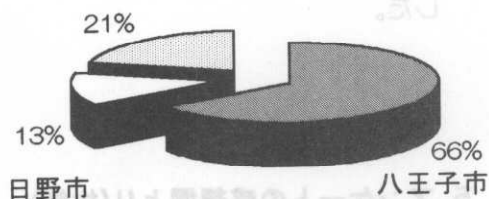
# 15周年記念事業「野鳥展」アンケート結果

門ロー雄

会の発足15周年を記念して実施した、『浅川流域の野鳥展』（開催期間：平成11年10月24日から31日まで / 会場：ゆうパーク八王子）には約1,200人が訪れました。同会場で実施したアンケート調査の総数は、約500で、その結果は以下のとおりです。

## 1. 来場者の市別内訳

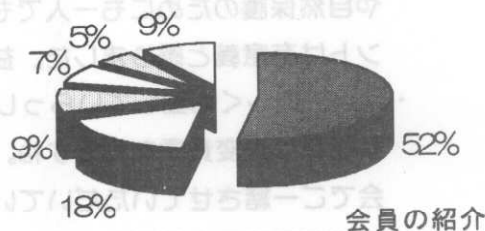
有効アンケート数492の内66%に当たる322人が八王子からであった。その他には府中市、町田市、あきる野市、世田谷区、川崎市、富士見町など40の市町から来て頂いた。



(図：市別内訳)

## 2. 何で知ったか

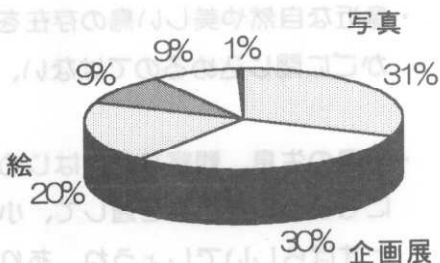
52%にあたる257人の方が会員の紹介。18%が通りかかった。9%が新聞、以下チラシ・葉書、日野市報、その他の順になっています。



(図：何で知ったか)

## 3. 何に興味を持ったか

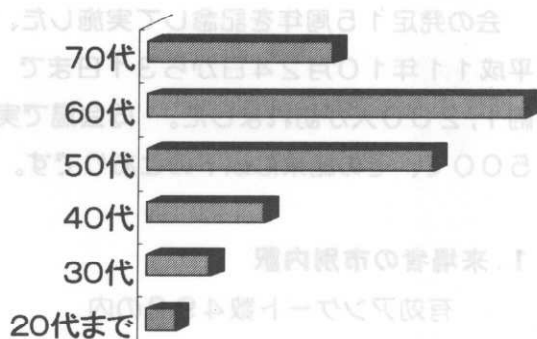
上位から写真、企画展、絵、木彫り教室、カービングの順で、写真と企画展はほぼ同数でした。複数の回答を頂いていますので、写真と企画展は約300人の方に興味を持たれました。これは、全数5人の内3人に当たります。



(図：何に興味を持ったか)

#### 4. 入場者の年代別内訳

入場者の年代は60代が最も多く173人で全体の36%になります。一方最も少なかったのが20代で13人、全体の3%弱でした。50代以上が全体の8割を占め、5人に4人が50代以上でした。



(図：入場者の年代別内訳)

#### 5. アンケートの感想欄より(抜粋)

野鳥展会場でいただいた感想、意見です。226人の方から戴きました。その中の一部を紹介します。(第12回総会資料も合せてご覧下さい)

- ・ 地元の川辺でこれ程の野鳥がいることを知って大変興味を持ちました。野鳥や自然保護のためにも一人でも多くの方が関心を持つ様、今回のようなイベントは有意義と感じました。益々ご努力下さい(八王子市の60代男性)
- ・ 地道に楽しく活動していらっしゃる様子が伝わってきます。カワセミ会の観察記録は大変貴重な物ですね。野鳥と川や森は一体です。私は浅川流域連絡会で一緒させていただいています。野鳥に関心を持つ人が増え、八王子の自然を愛する人が増えて欲しいですね。(八王子市40代の女性)
- ・ ”野鳥の悲劇“をくい止め、いつまでも種の保存と繁殖が保証出来る環境を守って行って下さい。(人類全体の課題ですね)
- ・ 身近な自然や美しい鳥の存在を再認識でき、ありがとうございました。かごに閉じ込めるのではない、鳥や美しい川との共存こそ大切な事ですね。(日野市40代)
- ・ 野鳥の生息、観察など、はじめて心をとめて見させて頂きました。小中学生にもこうした活動を通して、小鳥などに対する興味と愛情が育まれていくと素晴らしいでしょうね。ありがとうございました。(八王子市の60代女性)

・ 「かわせみ」の会報の記録、会の創立から活動のことまで良くわかりました。ただ、バードウォッチングを楽しむだけでなく、その素晴らしさや自然保護

の必要性などを、市民や他の多くの方々に働きかけていくしせいや活動が本当に意義があり素晴らしいものだと思います。(日野市、30代)

・野鳥のプローチ集の額入り、エンビで作った原寸大の野鳥のアイデアは素晴らしい。エリアを分担しての通年の調査はもう15年、貴重な発見の積み重ねにいつも感服しています。地域住民と一体となった観察会、クラフト教室等大変充実した会で今後のご発展をお祈り申し上げます。(鎌倉の男性)

・オオルリ・カワセミのコーナーは大変興味を引かれましたが、その他の鳥、特に大型の鳥の状況なども知りたいと思う。なお、人のすぐ近くにいるカラスやスズメなども長期的に見れば随分生態が変化しているような気がします。(日野市60代の男性)

・鳥と言う趣味を通じて、さらにいろいろな趣味に広がっているのが素敵だなと思いました。(女性)

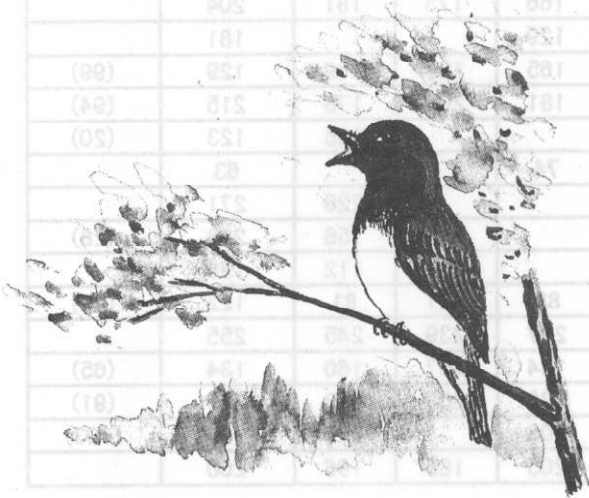
・このような会が存在することが、地元への強いアピールと皆の関心の高まりの為にも良い。是非頑張ってください。

・普段なにげなく見える浅川にも色々な鳥がいるのだとわかったけれど、オオルリの数が少ないのにカゴで飼っている人が多いのに驚いた。人の力でもっと増やす 努力はできないものか?(八王子市50代の男性)

・①八王子市内のオオルリが50羽以下という調査結果には驚いた。もっと多いと思っていた。

・②今、八王子市内ではオオタカノ営業地2カ所、開発にさらされている。貴会としても積極的に保全策を市、都、国にアピールして下さい。

(八王子市60代の男性)



カット:三好恒雄

## 1999年 1年間に見た野鳥の種類数

取りまとめ：粕谷和夫

16名の会員から報告がありました。200種以上見たという人が7名(前年は3名)いました。丸山二三夫会員からは「印象に残った鳥」として次の様な追記がありました。1/23・妙義山の出会いを舞うクマタカ、5/16・長沼公園で見たサンコウチョウ、6/5~6・西土佐村権谷で始めて聞くヤイロチョウの声、11/20・日光の川小滝で見たアオシギ、11/29・谷地川の新旭橋付近で見たアリスイ。

1年間に見た日本の野鳥の種類数(1999年及び前年迄)

報告のあった 会員	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	
							種類数	(回数)
井手 龍世			102	97	94	96	98	(35)
今井 達郎	167	166	144	203	183	166	158	(34)
大川 征治			118	166	173	181	204	
大川 香				129			181	
大関 豊	182	150	171	165	195	169	129	(99)
粕谷 和夫	163	164	169	181	203	178	215	(94)
木村 信幸						105	123	(20)
久保田ヤス子				74			63	
倉本 修						229	271	
佐伯 直寛						156	228	(28)
嶋崎 太郎			84			112	129	
千葉 槇子				88	121	81	122	(29)
古山 隆		167	242	247	239	245	255	
丸山二三夫			88	134	167	160	134	(65)
山崎 悠一	153	172	197	228	208	218	213	(91)
山崎久美子	145	161	194	203		177	190	(103)
柚木 育子	180	185	195	205	186	196	200	

## 多摩の鳥の王者クマタカ

(1988年 00:01 11.1.1988) 粕谷和夫

岡重高、渡辺安之共著「多摩の野鳥と野草（武蔵野郷土史刊行会、昭和51年刊）」によれば多摩の鳥の王者はクマタカと記されています。同著を更に引用すると「クマタカは松の木に営巣し、卵を1個生みます。ある日、私は奥多摩の山で、クマタカの雛がめでたく巣立ちした後の様子を調べたことがあります。」

これは奥多摩の話ですが、この本を10年以上も前に読んだ時、もしかして八王子にもクマタカが出るのではとずっと思っていました。ある人から3年前に恩方でクマタカが飛んでいるのを見たという話を聞きました。やはり八王子にもクマタカがいるのだ。1997年12月28日にクマタカを求めて醍醐林道を歩いた時の様子は会報「かわせみ第20号（1998年冬号）」に記しました。1998年の12月26日にはクマタカを求めて生藤山→醍醐丸→和田峠を歩きましたが、空振りでした。

1999年は12月29日、360度展望のきく陣馬山に陣取りました。Eメールで同行を呼びかけたところ、山崎久美子、大川征治、白川司・史子、今井達郎、渡辺仁の各氏が集まり7名の探索隊が編成されました。陣馬山下でバスを降り、途中ゆっくりと冬鳥を見ながら登り、頂上にたどり着いてのは11時でした。

快晴に恵まれ、頂上からは全て見渡せ、景信山、小仏城山、高尾山、筑波山、富士山もよく見える。昼食を済ませ粘ること暫く、13時頃か、稜線上に2羽のワシタカが飛翔しているのを渡辺さんが発見、絡み合っている。しかし、これはどうも姿、形から判断してノスリらしい。この2羽はやがて西の方へ飛んで行った。それとほぼ同時に今度はもっと大きなタカが出た。これはクマタカだ。前のノスリと比べ翼の幅の広いのが明瞭だ。しかも翼の後縁にふくらみがあり、クマタカの特徴がよく出ている。腹部は白っぽく見える。

場所は陣馬山頂から見える範囲の所（場所を特定出来そうな表現は避けます）、もう1羽高い所に同じようなタカが現れた。こちらは波状飛翔を始めた。クマタカの求愛ディスプレイフライトではなからうか。そのうち1羽を見失い、後から現れた別の1羽も視界から消えた。帰りは栃谷尾根を下り、栃谷の陣谷温泉で一風呂浴び祝杯をあげた。クマタカはレッドデータブックにも絶滅危惧種として掲載されており、今後このクマタカを静かに見守りながらじっくり観察する必要があるようだ。



## 多摩川拝島橋下流のツバメのねぐら

### 1. 神谷古牧 (1999. 7. 19 19:00 拝島8D)

道路から河原の方に向かって行くに連れ、空一面からツバメの鳴き声がします。しかし曇り空で、かなり薄暗くなった空には何の姿も見えません。例年ならば、黒い固まりが見えているのに。空を飛んでいるのは、沢山のクモリだけのように見えます。双眼鏡を目に当て、フォーカスを繰り返して空間を見てみると、いました。やはり、ものすごい数です。かなりの高空です。クモリが飛んでいるのは電信柱の上、だいたい20mぐらいでしょうか。ツバメはそれよりかなり高いところを飛んでいます。50mぐらいでしょうか、よく分かりません。そのまま双眼鏡を目から離すと、全く見えなくなります。また双眼鏡のピントが、ちょっとでもずれると、その視界から消えてしまいます。

ここで一つの考えがあります。今までは私や、多くの人たちは「南帰行前の集結」ととらえていたのですが、本当にそうなのでしょうか。ここから数km離れた。「谷地川浄化施設」や、私の職場の周りなど、至る所で、燕たちは二回目の営巢の最中です。町中で見ているツバメの数は、例えば5月と比べて、変わらないような気がします。まだまだとても「南帰行」なんて、彼らにとってはずっと先の話ではないでしょうか。私の思いつきとしては、この河原は巣を持たない若い個体や、今年生まれての一番目の子供達の集団場なのではないでしょうか。いずれにしても、来年はもっと早い時期からの観察が必要なようです。

### 2. 神谷古牧 (1999. 7. 21 18:30~19:15 拝島8D及び拝島8C)

激しい夕立の中を、再び観察に行きました。昭島側では雨が激しいせいか、電線に止まっている個体が多く観察できました。八王子側の、「平の堰」に移動しました。多摩川の下流から水面を這うようにして遡ってくる集団、60~70羽の上空をやってくる集団、宇津木台から木々の梢をなめるように下りてくる集団など、次々にやってきます。いずれも数十羽の群でやってくることが多いようです。近くを通り過ぎる個体を双眼鏡で観察すると、先日私が推定したとおり、尾羽の短い、つまり若い個体がほとんどです。50羽以上を確認しましたが、尾の長い個体は、おおよそ5%ほどではないかと思えます。

### 3. 渡辺仁 (1999. 7. 26 18:45~20:00 拝島8D及び拝島8C)

数は、数え切れないのですが、おそらく1万羽は下らないと思われます。高度を上げたときにはまるで、雲のように見えます。圧倒されて、怖いほどです。

①18時45分、日が沈みあたりが薄暗くなり始めたところに、続々と四方から、ツバメが集まってくる。

②ヨシ原の上で、夥しいほどの数のツバメが集団で飛びまわります。

多くは、今年巣立ったばかりの若鳥です。(尾がまだ短い)

②そして、その集団から木の葉落としのように、ヨシ原に飛び込んでいきます。帰入りの終了は19時15分。全てのツバメがヨシ原に入りましたが、しばらくは、位置争いをしているのか、ヨシ原が騒がしい。

④ヨシ原全体から聞こえていたざわめきがおさまったのは20時でした。

⑤平の堰から拝島橋を渡って移動してみましたが、四方から集まっているようです。

#### 4. 粕谷和夫 (1999.8.8 18時40分~19時15分 拝島8D)

帰入りした燕の羽数(推定) 1,000~2,000羽

①帰入り直前 上空高く「タカ柱」のような「燕柱」を観察した。

②コウモリは19時5分頃現れ、燕は19時10分~15分の間に一斉に帰入りした。

③燕が入った帰りは、広いアシ原の中の極く一部のアシ原で、多摩川寄り(多摩川に接する部分)に集中した。

④幸運にも観察者の直ぐ近く(直前)のアシ原に燕が入ってくれた。

燕が入ったアシ原内では鳴き交わしが聞こえ、賑やかであった。

⑤この日は例年に比べ、また本年の神谷、渡辺氏の観察に比べ少なかった。

#### 5. ツバメねぐら調査プロジェクトの提案

このねぐらは1995年から粕谷が調査を始めましたが(会報「かわせみ」1996.2月、第16号)、未だ系統的な調査は行っていません。今年あたりから有志による定期的な調査プロジェクトの開始を提案します。



## 浅川流域におけるガビチョウの侵入経過

取りまとめ：粕谷和夫

### (1) カオグロガビチョウの侵入

ガビチョウは日本の野鳥ではなく、帰化鳥の一種ですが、どのような経路で日本に入って来たか、良く分かっていません。浅川流域では丘陵地を中心に96年(平成8年)4月頃から急激に観察されるようになりました。浅川流域ではその前にカオグロガビチョウの侵入の歴史があります。カオグロガビチョウは「平地の低木や竹藪等において、姿は見えなくても鳴き声が今まで聞いたことがない、非常に賑やかななき方をする鳥で、1980年代から東京の多摩地方で観察されていました。浅川流域での観察事例を会報「かわせみ」の鳥信欄で調べると1991年から1994年2月まで、6件の報告がありますが(第1表)、定着しなかったらしくそれ以降は観察例はありません。代わってガビチョウが侵入してきました。

(第1表) 浅川流域におけるカオグロガビチョウの出現記録

91年・3月下旬～ 4月上旬	2羽	北浅川・松枝橋下流右岸側(4～5回観察、ピヨピヨと力強く鳴いていた)	拝島4B	河村洋子
92年・3月下旬～ 4月上旬	2羽	浅川・松枝橋下流右岸側(4～5回観察、ピヨピヨと力強く鳴いていた)	拝島4B	河村洋子
92.10/04	1羽	北浅川・陵北大橋大橋上流側竹藪	拝島1B	馬場裕・百合亜
93.04/23	3羽	北浅川・松枝橋下流側	拝島4B	河村洋子
93.09/11	2羽	北浅川・東大沢橋～松竹橋の間、右岸側。篠竹とクズの繁みの上でつる草の実を探り、程なく下の繁みに潜む。関根会員が写真撮影に成	八王子OK	今井達郎、関根伸一、馬場裕
94.02/05	2羽	北浅川・松竹橋の奥	八王子OK	関根伸一、馬場裕、阿部仁志

### (2) 1996年、丘陵地に突如出現

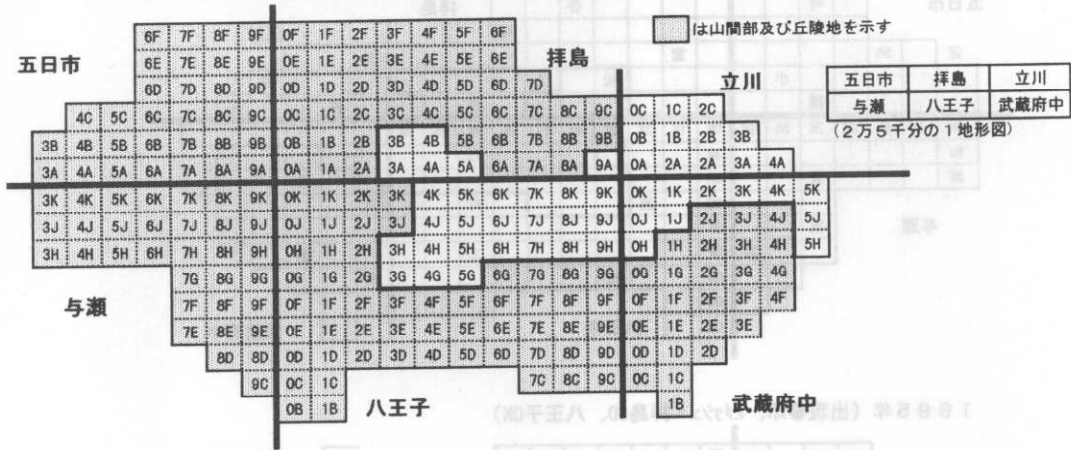
ガビチョウはツグミ大の大きさで、眼の周りから眉毛のように伸びる白いくまとりが目立つ鳥です。雑木林の藪の中や見通しの悪い林の中のような所が好きで、姿を見ることはあまりありませんが、独特の大きなけたたましい声で良く鳴くので直ぐ分かります。留鳥で1年中います。

浅川流域(一部多摩川流域等を含む)への侵入状況を会報「かわせみ」の鳥信欄等から整理したものが第2表です。1994年に1例、1995年に2例の報告がありますが、1996年に45事例と突如増え、1998年にさらに110事例と2倍以上に増加しました。これをメッシュ図に落としたのが第2図です(メッシュ図の説明は第1図を参照して下さい)。この図から平地より「山地及び丘陵部」に多いとか、1999年は1998年よりさらに分布を拡大したことが明瞭に分かります。

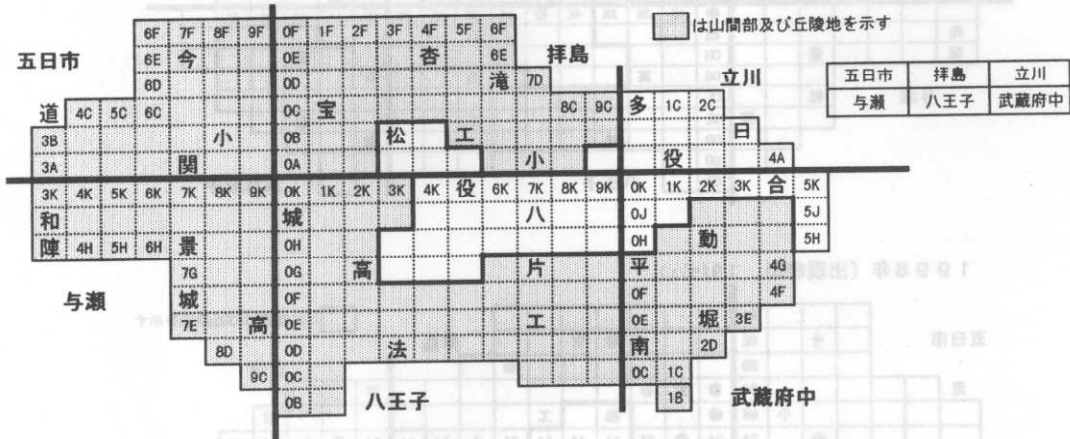
# (第1図) 浅川流域及びその周辺(八王子市、日野市)のメッシュ図

この図は2万5千分の1地形図を縦横それぞれ10等分して得られるメッシュである

(各メッシュには縦方向に下からA-J(Iを除く)、横方向に左から0-9の記号を付してある)



## 浅川流域及びその周辺(八王子市、日野市)のメッシュ図の中のランドマーク

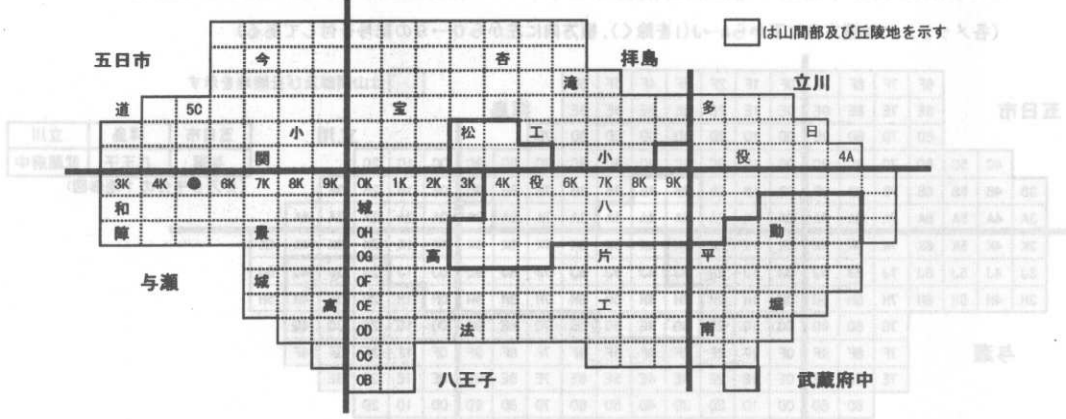


### 主なランドマーク凡例とそのメッシュ記号

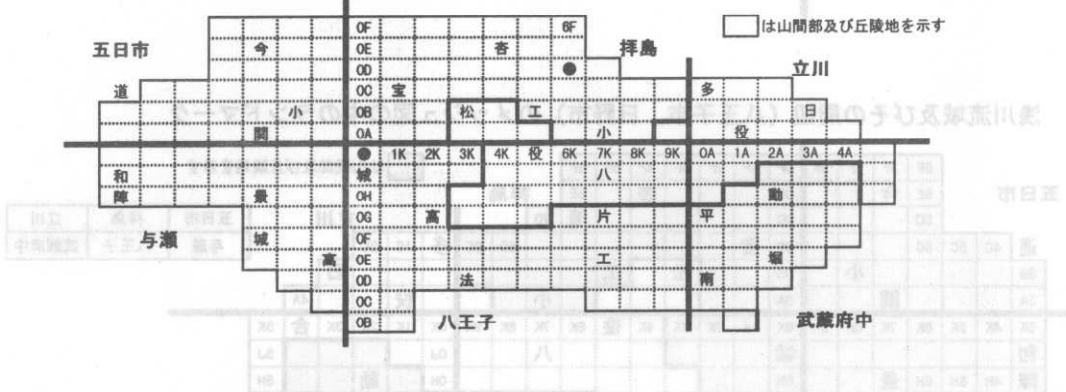
- |               |              |                  |             |
|---------------|--------------|------------------|-------------|
| <b>五日市</b>    | <b>拝島</b>    | <b>立川</b>        | <b>与瀬</b>   |
| 今: 今熊山(7E)    | 杏: 杏林大学(4E)  | 多: 多摩大橋(0C)      | 和: 和田峠(3J)  |
| 道: 市道山(3C)    | 滝: 滝山城跡(6D)  | 日: 日野橋(3B)       | 陣: 陣馬山(3H)  |
| 小: 小津バス停(8B)  | 宝: 宝生寺団地(1C) | 役: 日野市役所(1A)     | 景: 景信山(7H)  |
| 関: 関場(7A)     | 松: 松枝住宅(3B)  |                  | 城: 小仏城山(7F) |
| <b>八王子</b>    | 工: 工学院大学(5B) |                  | 高: 高尾山(9E)  |
| 役: 八王子市役所(5K) | 小: 小宮公園(7A)  | <b>武蔵府中</b>      |             |
| 城: 八王子城跡(0J)  |              | 合: 浅川・多摩川合流点(4K) |             |
| 八: JR八王子駅(7J) |              | 動: 多摩動物公園(2H)    |             |
| 高: 高尾駅(2G)    |              | 平: 平山城跡公園(0G)    |             |
| 片: 片倉城跡公園(7G) |              | 堀: 京王堀之内駅(2E)    |             |
| 工: 東京工科大学(7E) |              | 南: 京王南大沢駅(0D)    |             |
| 法: 法政大学(3D)   |              |                  |             |

(第2図) ガビチョウの年次別出現状況 広瀬の子むぎと荒川表 (国「東」)

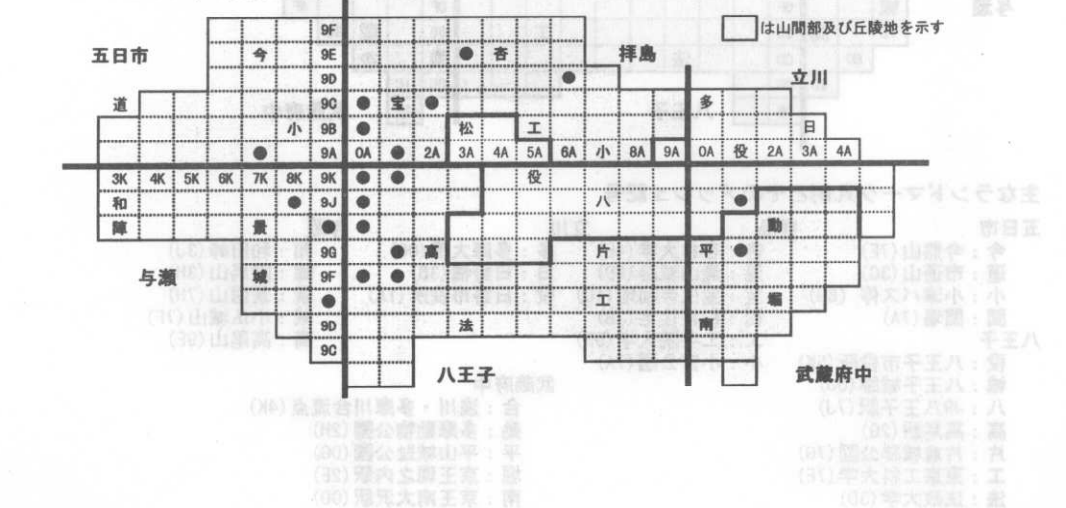
1994年 (出現●印、1メッシュ・与瀬5K)



1995年 (出現●印、2メッシュ・栢島6D、八王子0K)



1996年 (出現●印、19メッシュ)





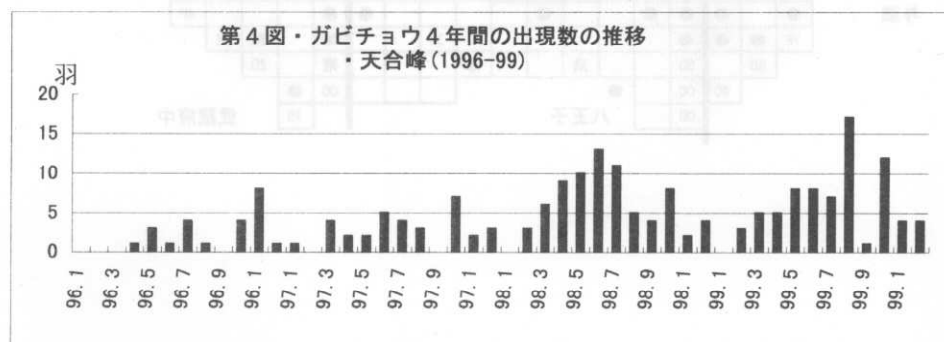
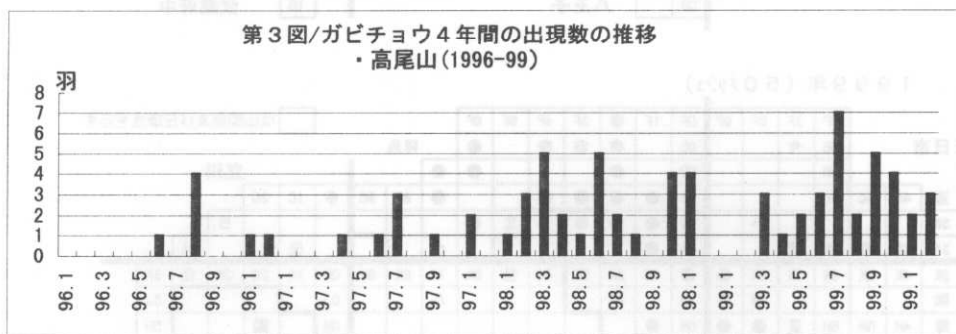


### (3) 増え続けるガビチョウ

次に数の季節変化、年次経過を図にまとめたのが第3図(高尾山)、第4図(天合峰)です。ともに1996年から4年間、毎月1回の定期カウント調査結果をまとめたものです。高尾山は「小仏川(上栲田橋→蛇滝入り口)→蛇滝登山道→4号路→5号路→1号路」のルートで八王子カワセミ会が実施したもの、天合峰は「沖の谷戸→松木入→尾根道→紙屋入」のルートで天合峰野鳥調査グループが実施したものです。冬に数が減るのは冬はあまり鳴かないので、目立たなくなるためであって、どこか他の地方へ移動するのではないと思われます。実際に真冬でも夏ほど大きな声ではないが、鳴いていることが観察されますし、数羽の群で繁みの中の地上で落ち葉を盛んにひっくり返しへ餌を探しているところを目撃されています。第3、4図からも年々数が増えていることが読みとれます。

(第2表) ガビチョウ出現情報数等の年次変化

	出現情報数	出現マッシュ数	繁殖情報数	備 考
1994	1	1	0	
1995	2	2	0	
1996	45	19	0	
1997	46	20	0	
1998	110	39	2	
1999	107	50	4	



#### (4) 繁殖、行動

第2表で繁殖情報は1998年に2件、1999年に4件とありますが、その内容は次のとおりです。ガビチョウの増加はこの地での営巣繁殖によるものと裏付けられます。

- 98.06/20 (親子連れ・天合峰、親2子3、拝島1B)
- 98.02/27~7/20 (ほぼ同じ場所の藪で長期間さえずり・下恩方町北浅川深沢橋付近、八王子0K)
- 99.05/4 (地上に降りて巣材を集めているところを確認・長沼公園、八王子9G)
- 99.06/26 (親子連れ・天合峰、拝島1C)
- 99.07/08 (親子連れ・北浅川・板当林道、与瀬9K)
- 99.09/04 (親子連れ・北浅川陵北大橋~元木橋間右岸、拝島1B)

次ぎに、会報「かわせみ」鳥信欄に報告されたガビチョウの行動の内、主なものを次ぎに掲げます。この中でも特に高尾ビジターセンター裏で、巣立ち雛連れと思われるファミリーがカラスに狙われ警戒音を発しながら逃げ回っていたのは注目されます。ガビチョウの天敵はカラスなのかも知れません。

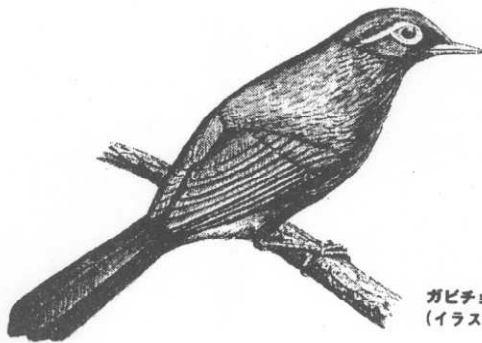
- 99.05/03 (2羽、北浅川・1羽が松枝住宅のガレージに駐車中のガラスに映る様子と喧嘩していた。2羽一緒に行動、ホッピングしながらブロック塀伝いに川の方へ戻って入った。まるで遊んでいるようであった。)
- 99.06 (数羽、八王子市内城山手、人が見えなければ開けた所で枯れ木に止まり尾を震わせて囁ります。平らの所をホッピングします。)
- 99.07/17 (5羽、高尾山頂ビジターセンター裏、ハシブトガラス2羽に狙われ、警戒音らしき声を発し、アオキの株の中等に入った)



(5) 在来種への影響とソウシチョウの侵入

ガビチョウは手入れの行き届かない雑木林や山林のブッシュを好むように見えます。大きな鳴き声を出す割には警戒心が強く、人の前に姿をなかなかみせません。今、浅川流域の丘陵や山地は里山における農業や山地の林業の衰退で手入れがされていないため、ガビチョウの天国のようになっています。このような所では、冬はシロハラ、アカハラ、トラツグミ等が、夏はクロツグミ等が餌場になっています。在来種への影響が心配されます。

また、1996年からこれも外国からの帰化種であるソウシチョウが浅川流域に侵入してきています。今のところ、ガビチョウ程の勢いでは増えていませんが、この鳥の動向も今後気になるところです。秋の鳴く虫の世界では浅川流域はアオマツムシに圧倒されてしまった感があります。鳥の世界もこのような事にならないよう願って止みません。



ガビチョウ  
(イラスト提供：府中野鳥クラブ・大重清さん)

### 1. 突然の訪問者

昨年七月初め、鳥の声で目が覚めました。窓を見れば薄暗く、まだ夜明け前の午前四時半でありました。

「キョロロロ、キョロロロ」と聞こえます。おもわずガバッと跳ね起きました。

数年前、同じように夜明けの暗い頃、鳥の声で目が覚めたことがあります。この時は「ポポ、ポポ」と聞こえていたのですが、寝ぼけまなこでツツドリが鳴いているか、と深く考えもせず、眠かったせいもあり寝てしまいました。朝、目が覚めて良く考えてみると、季節は春三月でツツドリが鳴くわけもなく、「おかしいな、夢かな」と思ってもみたのですが、その後ヤツガシラの情報を聞いて、「しまった。あれはヤツガシラだったのか。すぐ起きて確かめればよかった」と悔しい思いをした事がありました。

そこで今回はガバッと跳ね起きたわけでありました。窓を開けてみると意外と近くから聞こえてきます。慌てて一階に降りデッキに出ました。確かに近くに居る。南の木立の方から聞こえてきます。しかし、まだ夜明け前で薄暗くて見えにくいながらも双眼鏡で探してみると、葉陰の切れた空間の枝にシルエットとなって止まっていた。近くに寄ってみました。却って葉陰に隠れてしまい、姿は見えません。

そうこうしている内に北側の林に移ってしまいました。が声だけはその後も聞こえしばらく鳴いていました。

五月の白馬は泊まって皆さんと一緒に探鳥をしたかったのですが、母の看病でそれもかなわず、残念な思いでした。お目当てのアカショウビンも全員が声を聞き、また一部の方は姿も拝めたと聞いて、まずは良かったと安堵しましたが、探鳥出来なかった私に見せに来たような突然の訪問でありました。

### 2. 突然の訪問者Ⅱ

山に異変でもあったのでしょうか、昨年の秋はクマや猿があちこちに出没し、新聞を賑わしました。大町では街中で襲われることもあったそうです。穂高では山麓線沿いに数回のクマが出没し、一番近いところでは家から数百米の福田農園に出てきたそうです。私の家は山から近いといっても際ではないので、他人事のように思っていました。が、昨秋、向かいの家の垣根になにやら動くものがいて良く見ると猿がいました。過去、山沿いに幾度となく猿の群れは見ていますが、我が家の目の前では始めてです。やはり変事なのでしょうか。



## 「アホウドリ」を見た、あの瞬間

倉本 修

大海原のうねる波と一体になり、悠然と飛んでいる「アホウドリ」その姿を何としても見たいと思うようになったのは、長谷川博氏の文章に接してからだった。ミズナギドリ目アホウドリ科の鳥は世界に14種。南半球に10種、熱帯海域に1種、残り3種が北半球に生息している。和名「アホウドリ」（英名 Short-tailed Albatross）は、遠く人間世界から切り離された孤島「鳥島」で幾百世紀もの悠久の時の流れのなか、種の生命再生を繰り返してきた。

江戸時代、嵐にあって遭難した船から、この島に流れ着いたジョン万次郎などの記録によると、当時鳥島は、アホウドリで埋まっていた、遠くから見るとまるで雪が積もっているかのように、島が白く見えたという。ひとたびいっせいに鳥が舞い上がると、あたかも島全体が空中に舞い上がるようだった、と記されている。まさに、アホウドリ生誕の聖域だった。

明治21年（1888年）八丈島の大工、田崎半右衛門が羽毛を売って金儲けをしようと仲間と一緒に鳥島に上陸した。アホウドリを種の絶滅の深い淵にまで追いつめる虐殺は、この年から始まった。成長も幼鳥も問わない無差別殺りくだった。繁殖のため島に帰ってくる10月中旬から、幼鳥が巣立つ翌年6月頃までの約8ヶ月間が、羽毛採取の期間である。アホウドリ25羽で羽毛が約1貫目とれたという。

虐殺が始まってから10年目の、明治31年（1898年）その年の採取期間8ヶ月分の記録が残っている。それによると羽毛10,456貫目（約39トン）採取したとある。これはアホウドリの個体数にして実に261,400羽分になる。10年経過しても、なお1シーズンでこれだけの鳥を撲殺したのである。

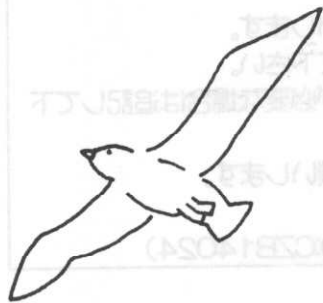
田崎半右衛門は、たちまち新興成金として、全国の長者番付に顔を出すようになった。その巨額の金銭を使って自前の帆船を所有し、鳥島から東京間を往復させた。また、撲殺した鳥の死体を運ぶために火口原をまわるレールを敷いてトロッコを走らせ、さらに解体場まで空中ケーブルを架設した。人間が現れる以前、島と海が原初のときそうであったに違いないような姿で、かつては誠に美しく、血で汚されることのなかった地は、無残な殺りくの場となっていた。

14年目の明治35年（1902年）8月上旬、鳥島が突然、火山大爆発を起こした。島に残っていた作業員とその家族125人が全員死亡した。半右衛門は東京に住んでいたのが難をのがれた。その14年間で撲殺されていた

アホウドリの数は少なく見積もっても500万羽にのぼると長谷川氏は推定している、噴火の翌年、半右衛門は29名の作業員を、地形が一変した島に送り込み虐殺を再開した。そして、羽毛採取が金儲けなる噂は広がっており、小笠原諸島や尖閣諸島でも虐殺は始まっていた。それらの地域では、数年の内にすべて殺された。

昭和8年(1933年)やっと政府が鳥島を禁猟区にした時には、もうわずか数10羽になっていた。絶滅寸前である。特に昭和7年政令が1年後には施行されるとはっきりした時期の殺りくは徹底的だった。半右衛門が上陸してから45年、人間の残酷な欲望の犠牲になって撲殺されていったアホウドリの数は、すべての島々を合計すると1千万羽近いだろうと氏は推測している。

私はこれほど心の痛む歴史を、この年齢になるまで知らなかった。受けた衝撃は深かった。この凄さまじい暴力を、どう受け止めればよいのだろう。人間社会本性の奥深いところには、まちがいに暴力の「マグマ」がひそんでいると思わざるをえない。きっかけさえあればそれは一気に噴き出してくる。同じ人間である以上、私の中にも不気味に存在しているのだろうか。私は当時のことを、少しでも詳しく知りたいと思った。(つづく)



## 訂正と投稿のお知らせ

### 訂正のお知らせ

23号(1999夏号)1998年冬鳥一斉調査結果

5ページ(表-3)

	誤	正
⑩明治橋～浅川合流	カイツブリ 16	カイツブリ 0
⑩明治橋～浅川合流	カワウ 0	カワウ 16

### 機関紙『カワセミ』投稿のご案内

機関紙『カワセミ』は、皆様からの投稿により紙面を構成しています。内容は、各種調査の結果や探鳥会の感想文などが中心となっていますが、野鳥に関することを幅広く収集する方針ですので、積極的な投稿をお待ちしています。

原稿はワープロ化したものをお願いしていますが、手書きでも結構です。原稿作成に当たり、以下のような執筆要領を作成しましたので、可能な範囲で適用して下さい。

また、パソコン通信で送って頂いても結構です。

- (1) サイズは、B5、原則縦使い横書き一列。
- (2) 両サイドの余白は、20mm以上、上下余白は、25mm以上。  
文字サイズ、行間は、下記を標準としますが、上記の枠内に納まること。
  - ・文字サイズ：10.5ポイント
  - ・1行の文字数：35文字
  - ・1頁の行数：35行(タイトル含む)
- (3) 探鳥会の感想文は、原則一人2頁以内でお願いします。
- (4) 紙面を見やすくするためにカット等を活用して下さい。
- (5) 原稿(写真も含む)はお返ししません。返却が必要な場合は追記して下さい。
- (6) 冊子に使えるカット等ありましたら提供方お願いします。

かわせみ編集局(NIFTY ID:CZB14024)

## 探鳥日誌 No.5 (福島県:五百淵)

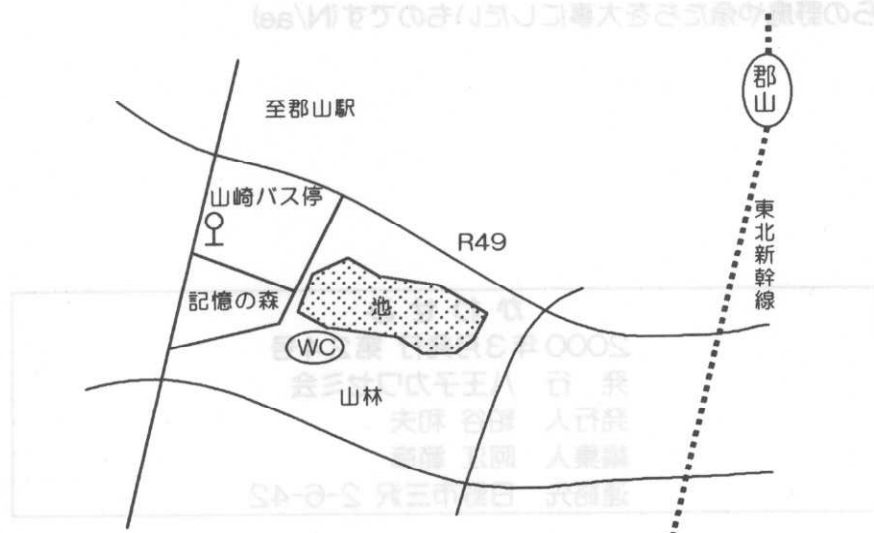
阿江範彦

五百淵は、福島県郡山市の南西に位置する都市公園です。JR 郡山駅よりバスで10分、山崎バス停で下車します。バス停より進行方向に向かって歩き直ぐ左折し右にウェディングパーク記憶の森(椿山荘)を見ながら直進すると池の西側にでます。

池は、1630年に地元小原田地区の用水池として造られ、1963年に池と周辺の山林を含む15.2Haを都市公園として決定されています。池の周囲と南側の山林には遊歩道が整備され、ベンチやトイレも設置されています。歩道はソメイヨシノが大きく育ち春先にはさくらのトンネルが見られそうです。

ここを訪れたのが1月中旬で、夕方にはみどれまじりの雪がふる寒い日の午前でした。池の水は少なく真ん中の一部を残し池全体に薄い氷がはっていました。水鳥の影は少なく、中央にコガモ、カルガモ、アヒルがからだを寄せ合って小さなかたまりとなっていました。池の西側にはアシ原が広がり、ここに群がるツバメは全国的にも有名であるとのこと。今の季節、アシ原は枯れ草のヤブ状態です。普通ならばホオジロやアオジなどが居ると思われそうですが今日は生き物の気配すら感じられませんでした。このアシ原には生活雑排水が流れ込んでいます。今はアシも緑を失い活動が停止し十分な浄化ができなのが異臭すらします。

山林にはアオジ、ツグミ、オナガが見られ、上空にはトビが舞っていました。



(編集メモ)

機関紙も 1999 年代から 2000 年代に変わり、大きなトラブルもなく 2000 年冬号の発行となりました。三好前編集長から引き継ぎ、8 冊目の発行となります。これは、三好前編集長が担当されていた 16 号までの半分、折り返し地点にあたります。毎回ながら、たくさんの調査結果の報告や探鳥会などの感想文があつまります。継続することの大変さを痛感する次第です。多くの会員からの投稿をお待ちしています。

最近、浅川の下流域でのカモが少ない気がします。毎年実施している、冬鳥一斉調査から見てみると、ふれあい橋から下流で分割調査を始めた平成 3 年と 4 年の平均ではコガモなど数の多いカモの平均が 477 羽であったのが平成 11、12 年では、9 分の 1 の 54 羽でした。また、潜水型のカモであるミコアイサも平成 7、8 年以降確認されていません。どこかでなにかが変わっているのか、もっと快適な場所があってそちらに移動したのか。いずれにしても寂しくなりました。

先日、名古屋港水族館に行ってきました。CG による深海の様子など見所がたくさんありました。スマレハナダイは、群れで生活する魚です。生まれた時は全ての個体が♂で、その中の一番大きな個体が♀に転換するそうです。その♀が亡くなると、また、群れの中の一番大きな個体が♀に転換するそうです。深海魚のアンコウの仲間は、生涯の中でみに巡り合うとその全てのみを体に付けて生活するそうです。魚の世界も驚くことがたくさんあります。身近な野鳥たちにも、私たちの知らない驚きや感動をたくさんもっていることでしょう。これらの野鳥や魚たちを大事にしたいものです(N/ae)

かわせみ

2000 年 3 月発行 第 24 号

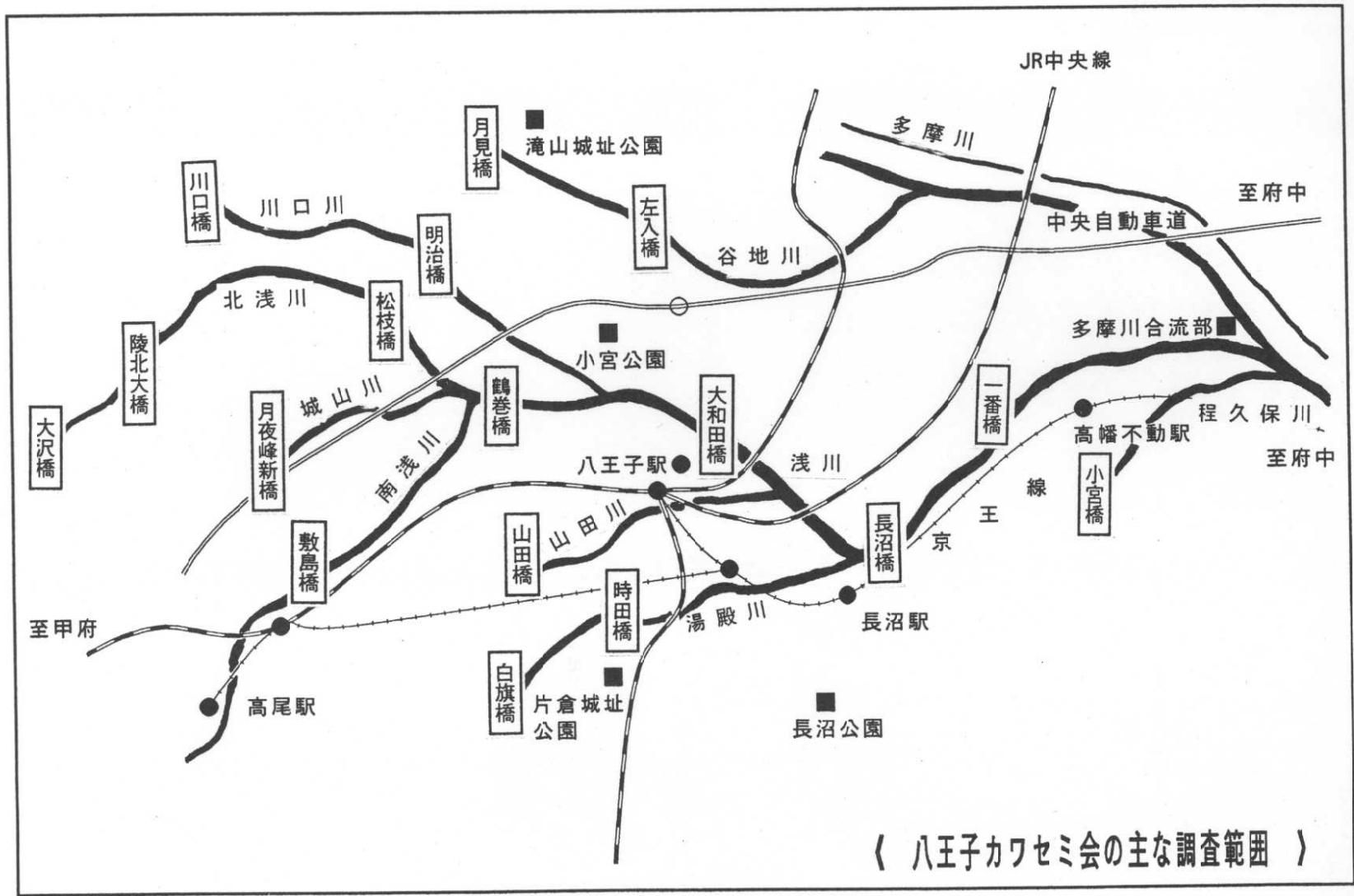
発行 八王子カワセミ会

発行人 粕谷 和夫

編集人 阿江 範彦

連絡先 日野市三沢 2-6-42









**Hachiōji  
Kawasemikai**